



Cisco IP 電話 8800 シリーズ ユーザ ガイド

初版：2015 年 11 月 25 日

最終更新：2023 年 6 月 16 日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご承知ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

FCC クラス A 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

FCC クラス B 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地で使用したときに、有害な干渉を防止する適切な保護を規定したものです。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。干渉しているかどうかは、装置の電源のオン/オフによって判断できます。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を移動します。
- 機器と受信装置の距離を広げる。
- 受信装置が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する。
- 販売業者またはラジオやテレビに詳しい技術者に連絡します。

シスコでは、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うこととなります。

Cisco が採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティングシステムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメインバージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコシステムズまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任は一切負わないものとします。

定型 このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。定型 マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークトポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

この文書の印刷されたハードコピーおよび複製されたソフトコピーは、すべて管理対象外と見なされます。最新版については、現在のオンラインバージョンを参照してください。

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所と電話番号は、当社の Web サイト www.cisco.com/jp/go/offices をご覧ください。

The documentation set for this product strives to use bias-free language. For purposes of this documentation set, bias-free is defined as language that does not imply discrimination based on age, disability, gender, racial identity, ethnic identity, sexual orientation, socioeconomic status, and intersectionality. Exceptions may be present in the documentation due to language that is hardcoded in the user interfaces of the product software, language used based on standards documentation, or language that is used by a referenced third-party product.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2015–2023 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

第 1 章

電話機 1

| | |
|---|----|
| Cisco IP 電話 8800 シリーズ | 1 |
| 機能のサポート | 3 |
| 新規および変更情報 | 3 |
| ファームウェア リリース 14.2(1) の新規および変更情報 | 3 |
| ファームウェア リリース 14.1(1)SR2 の新規および変更情報 | 4 |
| ファームウェアリリース 14.1(1) の新規および変更情報 | 4 |
| ファームウェアリリース14.0(1) の新規および変更情報 | 4 |
| ファームウェアリリース 12.8(1) の新規および変更情報 | 5 |
| ファームウェア リリース 12.7(1) の新規および変更情報 | 5 |
| ファームウェア リリース 12.1(1) の新規および変更情報 | 7 |
| ファームウェア リリース 12.5(1) SR3 の新規および変更情報 | 7 |
| ファームウェア リリース 12.5(1) SR2 の新規および変更情報 | 7 |
| ファームウェアリリース12.5 (1) SR1の新規および変更情報 | 8 |
| ファームウェアリリース 12.1(1) の新規および変更情報 | 8 |
| ファームウェア リリース 12.1(1) の新規および変更情報 | 9 |
| ファームウェアリリース12.0(1) の新規および変更情報 | 10 |
| ファームウェアリリース 11.7(1)の新規および変更情報 | 10 |
| ファームウェア リリース 11.5(1)SR1 に関する新しい情報および変更された情報 | 10 |
| ファームウェアリリース 11.5(1) の新規および変更情報 | 11 |
| ファームウェアリリース 11.0 の新機能 | 12 |
| 電話機のセットアップ | 12 |
| ハンドセット レストの調整 | 12 |
| 電話機の設置角度の調整 | 13 |

| | |
|-----------------------------------|----|
| ネットワークへの接続 | 14 |
| コンピュータとの有線ネットワーク接続の共有 | 14 |
| Wi-Fi クライアントのセットアップ | 14 |
| 事前設定済み Wi-Fi ネットワークへの接続 | 15 |
| VPN への接続 | 16 |
| VPN で使用するための電話機のセットアップ | 16 |
| アクティベーションコード オンボーディングで接続する | 17 |
| Expressway への接続 | 18 |
| サービス モードの変更 | 19 |
| ケーブルロックによる電話機の固定 | 19 |
| 既存の電話機を新しい電話機に置き換え | 20 |
| ビデオフォンのカメラの保護 | 21 |
| 電話機のアクティブ化とサインイン | 21 |
| 電話機へのサインイン | 21 |
| 別の電話機からの内線へのサインイン | 22 |
| 別の電話機で内線からログアウトする | 22 |
| Cisco ヘッドセットからエクステンションモビリティへのログイン | 23 |
| セルフケア ポータル | 24 |
| 短縮ダイヤル番号 | 25 |
| ボタンとハードウェア | 26 |
| 電話機のキーパッド文字 | 29 |
| ナビゲーション | 29 |
| ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン | 29 |
| 電話画面の機能 | 30 |
| 電話のアイコンを使用 | 31 |
| 電話画面のクリーニング | 33 |
| バッジ付きアイコン | 33 |
| 通話と回線の違い | 33 |
| USB ポート | 34 |
| モバイル デバイスの充電 | 34 |
| 中国語のサポート | 35 |

| | |
|--|----|
| 通話履歴検索 | 35 |
| 電話機から短縮ダイヤル ボタンを追加する | 35 |
| 社内またはパーソナルディレクトリへの新しい連絡先の追加 (Bluetooth と電話機) | 36 |
| Cisco IP 電話 8800 シリーズ アクセシビリティ機能 の Webex Calling | 37 |
| オンプレミス電話の Webex Calling | 40 |
| 音声フィードバック | 44 |
| Webex Calling | 45 |
| Cisco IP 電話 8800 シリーズ 壁面取り付けキット アクセシビリティ | 48 |
| 電話ファームウェアとアップグレード | 49 |
| 電話機アップグレードの延期 | 49 |
| 電話機ファームウェア アップグレードの進捗状況の確認 | 49 |
| 省電力 | 49 |
| 電話機の電源を入れる | 50 |
| 電話回線のモード | 50 |
| 通常回線モード | 51 |
| [拡張回線モード (Enhanced Line Mode)] | 51 |
| 追加のヘルプと情報 | 52 |
| アクセシビリティ機能 | 52 |
| トラブルシューティング | 52 |
| Webex Calling 電話に関する情報の検索 | 53 |
| 通話品質の問題を報告する | 53 |
| 電話機のすべての問題を報告する | 53 |
| 電話機の接続の切断 | 54 |
| Cisco 製品 (ハードウェア) に関する 1 年間の限定保証規定 | 54 |

第 2 章

| | |
|------------|-----------|
| 通話 | 55 |
| オーディオパスの選択 | 55 |
| コールの発信 | 56 |
| 電話をかける | 56 |

| | |
|--------------------------------|----|
| スピーカーフォンによるコールの発信 | 56 |
| 標準ヘッドセットを使用したコールの発信 | 57 |
| 電話またはビデオのアドレスを使用した通話 | 57 |
| 番号のリダイヤル | 57 |
| スピードダイヤル | 58 |
| 短縮ダイヤル ボタンを使用したコールの発信 | 58 |
| 短縮ダイヤル コードを使用して発信 | 59 |
| ファストダイヤル ボタンを使用したコールの発信 | 59 |
| 電話機から短縮ダイヤル ボタンを追加する | 59 |
| 電話機から短縮ダイヤル ボタンを変更する | 60 |
| 電話機から短縮ダイヤル ボタンを削除する | 60 |
| 国際番号のダイヤル | 61 |
| 連絡先が対応可能な場合の通知 | 61 |
| 課金コードまたは承認コードを必要とするコール | 62 |
| 安全なコール | 62 |
| ホットライン電話で発信する | 62 |
| コールへの応答 | 63 |
| コールに応答する | 63 |
| コール待機への応答 | 63 |
| コールの拒否 | 63 |
| コールの無視 | 64 |
| 応答不可をオンにする | 64 |
| 同僚の電話機に応答する (コール ピックアップ) | 64 |
| グループ内のコールに応答する (ピックアップ) | 65 |
| 別のグループからのコールへの応答 (グループ ピックアップ) | 65 |
| 関連するグループからのコールの応答 (その他のピックアップ) | 65 |
| ハントグループ内のコールへの応答 | 66 |
| ハントグループへのログインとハントグループからのログアウト | 66 |
| ハント グループでの通話キューの表示 | 67 |
| コールに自動応答する | 67 |
| 不審なコールのトレース | 68 |

| | |
|---------------------------------|----|
| コールをスパムとしてマークする | 68 |
| 不要なアクティブコールをマークする | 68 |
| 不要なビデオ通話をマークする | 69 |
| 不要な最近のコールをマークする | 69 |
| マークされたコールの削除または編集 | 70 |
| ビデオ通話 | 70 |
| ビデオコールの発信 | 71 |
| ビデオの停止 | 71 |
| 電話機表示とビデオ表示の切り替え | 71 |
| ピクチャーインピクチャーの位置を調整する | 72 |
| ビデオ通話とセキュリティ | 72 |
| コールのミュート | 72 |
| コールの保留 | 73 |
| コールを保留にする | 73 |
| 長時間にわたって保留されているコールに応答する | 73 |
| アクティブコールと保留コールの切り替え | 74 |
| コールパーク | 74 |
| コールパークを使用してコールを保留にする | 74 |
| コールパークを使用して保留中コールを取得する | 75 |
| 補助付きダイレクトコールパークを使用してコールを保留状態にする | 75 |
| 補助付きダイレクトコールパークを使用して保留中コールを取得する | 76 |
| 手動ダイレクトコールパークを使用してコールを保留状態にする | 76 |
| 手動ダイレクトコールパークを使用して保留中コールを取得する | 76 |
| コールの転送 | 77 |
| 別の担当者にコールを転送する | 77 |
| 電話会議とミーティング | 78 |
| コールへの別のユーザーの追加 | 78 |
| 会議を確立する前にコール間を切り替える | 79 |
| 会議参加者の表示と削除 | 79 |
| スケジュール済み電話会議（ミーティング） | 79 |
| ミーティング会議の開催 | 79 |

| | |
|--------------------------------|----|
| ミーティングへの参加 | 80 |
| インターコム コール | 80 |
| インターコム コールの発信 | 80 |
| インターコム コールへの応答 | 81 |
| 通話の監視と録音 | 81 |
| 監視されたコールの設定 | 82 |
| 通話の録音 | 82 |
| 優先コール | 82 |
| プライオリティ コールを発信する | 83 |
| プライオリティ コールに応答する | 84 |
| 別のコールで通話している間にプライオリティ コールに応答する | 84 |
| 複数の回線 | 84 |
| 最も古いコールから応答 | 84 |
| 電話機ですべてのコールを表示 | 85 |
| 重要なコールの表示 | 85 |
| 回線フィルタを使用して特定の回線のコール通知を表示する | 85 |
| 回線フィルタの作成 | 86 |
| 回線フィルタの使用 | 86 |
| 回線フィルタの変更 | 86 |
| の共有電話 | 87 |
| 共有回線のコールに参加する | 87 |
| 共有電話のコールに参加する前に通知を受け取る | 87 |
| 共有回線でのプライバシーの有効化 | 88 |
| モバイル デバイスとデスクの電話機 | 88 |
| Intelligent Proximity を使用した通話 | 89 |
| モバイル デバイスとデスク~電話機のペアリング | 89 |
| 接続されたモバイル デバイスの切り替え | 89 |
| モバイル デバイスの削除 | 90 |
| ペアリングされた Bluetooth デバイスの表示 | 90 |
| 携帯電話の Intelligent Proximity | 90 |
| タブレットの Intelligent Proximity | 93 |

| | |
|-----------------------|----|
| モバイルコネクトを使用した通話 | 94 |
| モバイルコネクトの有効化 | 95 |
| デスクフォンから携帯電話にコールを移動する | 95 |
| 携帯電話からデスクフォンにコールを移動する | 95 |
| 携帯電話からデスクフォンにコールを転送する | 96 |
| ボイスメール | 96 |
| ボイスメールメッセージの表示 | 97 |
| ボイスメールメッセージへのアクセス | 97 |
| ビジュアルボイスメール | 98 |
| 音声ボイスメールへのアクセス | 98 |
| コールをボイスメールに転送 | 98 |

第 3 章

連絡先 101

| | |
|-------------------------------|-----|
| 社内ディレクトリ(Corporate Directory) | 101 |
| 社内ディレクトリの連絡先のダイヤル | 101 |
| パーソナルディレクトリ | 101 |
| パーソナルディレクトリのサインインおよびサインアウト | 102 |
| パーソナルディレクトリに新しい連絡先を追加する | 102 |
| パーソナルディレクトリの連絡先の検索 | 103 |
| パーソナルディレクトリ内の連絡先への発信 | 103 |
| ファストダイヤルコードの連絡先への割り当て | 103 |
| ファストダイヤルコードを使用した連絡先への発信 | 104 |
| パーソナルディレクトリの連絡先を編集する | 104 |
| パーソナルディレクトリから連絡先を削除する | 105 |
| ファストダイヤルコードの削除 | 105 |
| Cisco Web Dialer | 105 |

第 4 章

通話履歴 107

| | |
|--------------|-----|
| 最近の通話リスト | 107 |
| 最近の通話履歴を表示する | 107 |
| 最近の通話履歴に戻る | 108 |

最近の通話履歴を消去する 108

コールレコードの削除 109

第 5 章

アプリケーション 111

使用できるアプリケーション 111

アクティブアプリケーションの表示 111

アクティブアプリケーションへの切り替え 112

アクティブアプリケーションの終了 112

第 6 章

設定 113

[設定 (Settings)]メニュー 113

壁紙の変更 113

呼出音の変更 114

画面の明るさの調節 114

コントラストの調整 114

フォントサイズの変更 115

電話機の名前の変更 115

ビデオ設定 116

ビデオの明るさの調節 116

ビデオ帯域幅の調節 116

ビデオ コールをコンピュータで表示する 116

ボイス通知の下位レベルをオフにする 117

音声フィードバックをアクセシビリティから有効にする 118

音声の速度を調整する 118

電力節約モードのキー LED の選択をオフにする 119

ヘッドセットとユーザ情報の関連付け 119

コール中に音量を調節する 120

着信音量の調節 120

電話機の表示言語 121

第 7 章

アクセサリ 123

| | |
|---|-----|
| サポートされるアクセサリ | 123 |
| お使いの電話モデルをチェックする | 126 |
| 電話機に関連付けられたアクセサリの表示 | 126 |
| ヘッドセット | 127 |
| ヘッドセットの安全性に関する重要な情報 | 127 |
| シスコヘッドセット 500 シリーズ | 127 |
| Cisco ヘッドセット 521 および 522 コントローラのボタンとハードウェア | 131 |
| Cisco ヘッドセット 531 および 532 USB アダプタのボタンとハードウェア | 132 |
| Cisco ヘッドセット 561 および 562 ボタンおよび LED | 133 |
| Cisco ヘッドセット 561 と 562 の標準ベース | 136 |
| シスコヘッドセット 560シリーズのマルチベース | 137 |
| シスコヘッドセット 700 シリーズ | 141 |
| シスコヘッドセット 730 ボタンとハードウェア | 141 |
| Cisco Headset 720 Buttons and Hardware | 145 |
| Bang & Olufsen Cisco 980 Buttons and Hardware | 145 |
| サードパーティ製ヘッドセット | 145 |
| Bluetooth ヘッドセット | 146 |
| 音質 | 147 |
| 有線ヘッドセット | 147 |
| ワイヤレスヘッドセット | 147 |
| ヘッドセットを電話機に接続する | 148 |
| 標準ヘッドセットの接続 | 148 |
| USB ヘッドセットの接続 | 148 |
| Cisco 標準ベースと Y 字型ケーブルの接続 | 149 |
| マルチベースを Bluetooth デバイスに接続する | 149 |
| Bluetooth デバイスからマルチベースを切断する | 150 |
| すべての Bluetooth のペアリングを削除 | 150 |
| 電話機でのヘッドセットの設定 | 150 |
| お使いの電話から Cisco ヘッドセットの設定をリセットする | 151 |
| ヘッドセット フィードバックの調整 | 151 |
| Bluetooth をオンまたはオフにする | 151 |

| | |
|--|--------------------|
| Bluetooth ヘッドセットの追加 | 152 |
| Bluetooth ヘッドセットの切断 | 152 |
| Bluetooth ヘッドセットの削除 | 152 |
| ワイドバンド標準ヘッドセットの設定 | 153 |
| 電話の電子フックスイッチコントロールを有効にする | 153 |
| Cisco ヘッドセットのカスタマイズ | 153 |
| Cisco ヘッドセット 500 シリーズのカスタマイズ | 154 |
| Cisco ヘッドセット 700 シリーズのカスタマイズ | 157 |
| ヘッドセットの呼び出し音設定の変更 | 160 |
| マイクのテスト | 160 |
| Cisco IP Phone を使用して Cisco ヘッドセットのファームウェアをアップデートする | 161 |
| 通話中にヘッドセットを切り替える | 161 |
| Cisco ヘッドセットのトラブルシューティング | 162 |
| ヘッドセットが登録されていることを確認する | 162 |
| ヘッドセットで音がしない | 162 |
| オーディオ不良 | 163 |
| マイクが音を拾わない | 163 |
| ヘッドセットが充電されない | 164 |
| ヘッドセットのバッテリーが充電しない | 165 |
| Cisco IP 電話 8800 キー拡張モジュール | 165 |
| キー拡張モジュールのボタンとハードウェア | 168 |
| キー拡張モジュールでのコールの発信 | 170 |
| キー拡張モジュール画面の明るさの調整 | 170 |
| シリコン カバー | 171 |
| Cisco IP 電話シリコン カバーの取り付け | 172 |
| Cisco IP 電話ハンドセット カバーの取り付け | 173 |
| シリコン カバーのクリーニング | 174 |
| 第 8 章 | 製品の安全性とセキュリティ 175 |
| | 安全性とパフォーマンスの情報 175 |
| | 停電 175 |

| | |
|-------------------------------|-----|
| 規制区域 | 175 |
| ヘルスケア環境 | 175 |
| 外部デバイス | 176 |
| Bluetoothワイヤレス ヘッドセットのパフォーマンス | 176 |
| 電話機への電力供給方法 | 176 |
| ネットワーク輻輳時の電話機の挙動 | 177 |
| UL 警告 | 177 |
| ENERGYSTAR | 177 |
| 製品ラベル | 178 |
| 準拠宣言 | 178 |
| EU への適合宣言 | 178 |
| CE マーク | 178 |
| EU への RF 被曝に関する宣言 | 178 |
| 適合宣言 (米国) | 178 |
| Part 15 無線デバイス | 178 |
| 適合宣言 (カナダ) | 178 |
| カナダの RF 被曝に関する声明 | 179 |
| カナダの高出力レーザーに関する声明 | 180 |
| ニュージーランドへの適合宣言 | 180 |
| 接続許可 (PTC) 一般警告 | 180 |
| 適合宣言 (台湾) | 180 |
| DGT の警告宣言 | 180 |
| 省電力およびビジュアル警告通知 | 180 |
| 適合宣言 (アルゼンチン) | 180 |
| 適合情報 (ブラジル) | 181 |
| 適合宣言 (シンガポール) | 181 |
| 適合情報 (日本) | 181 |
| FCC 準拠宣言 | 181 |
| FCC Part 15.19 宣言 | 182 |
| FCC Part 15.21 宣言 | 182 |
| FCC RF 被曝に関する宣言 | 182 |

FCC レシーバーおよびクラス B デジタル装置に関する宣言 182

シスコ製品のセキュリティの概要 182

シスコの循環型経済 183

重要なオンライン情報 184



第 1 章

電話機

- [Cisco IP 電話 8800 シリーズ \(1 ページ\)](#)
- [新規および変更情報 \(3 ページ\)](#)
- [電話機のセットアップ \(12 ページ\)](#)
- [ビデオフォンのカメラの保護 \(21 ページ\)](#)
- [電話機のアクティブ化とサインイン \(21 ページ\)](#)
- [セルフケア ポータル \(24 ページ\)](#)
- [ボタンとハードウェア \(26 ページ\)](#)
- [Cisco IP 電話 8800 シリーズ アクセシビリティ機能 \(37 ページ\)](#)
- [電話ファームウェアとアップグレード \(49 ページ\)](#)
- [省電力 \(49 ページ\)](#)
- [電話回線のモード \(50 ページ\)](#)
- [追加のヘルプと情報 \(52 ページ\)](#)

Cisco IP 電話 8800 シリーズ

Cisco IP 電話 8811、8841、8845、8851、8851NR、8861、8865、および 8865NR は、簡単に操作できるハイ セキュリティの音声通信を提供します。

図 1: Cisco IP 電話 8800 シリーズ



394033

次の表に、Cisco IP 電話 8800 シリーズの主なハードウェア機能を示します。


表 1: Cisco IP 電話 8800 シリーズの主な特徴

| 機能 | 8811 | 8841 | 8845 | 8851 | 8851NR | 8861 | 8865 | 8865NR |
|-----------------------------|-------------|------|------|------|--------|------|------|--------|
| 画面 | グレースケール (G) | 色 | 色 | 色 | 色 | 色 | 色 | 色 |
| USB ポート | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 |
| 内蔵カメラ | 不可 | 不可 | 可 | 不可 | 不可 | 不可 | 可 | 可 |
| Wi-Fi | 不可 | 不可 | 不可 | 不可 | 不可 | 可 | 可 | 不可 |
| Bluetooth | 不可 | 不可 | 可 | 可 | 不可 | 可 | 可 | 不可 |
| Cisco Intelligent Proximity | 不可 | 不可 | 可 | 可 | 不可 | 可 | 可 | 不可 |

電話機はネットワークに接続され、コール制御システムに接続するように設定されている必要があります。コール制御システムに応じて、さまざまな機能が電話機でサポートされます。管理者が電話機をセットアップする方法によっては、すべての機能を電話機で使用できるとは限りません。

ビデオ コールを発信または受信するには、Cisco IP 電話 8845、8865、または 8865NR を使用する必要があります。Cisco IP 電話 8800 シリーズのその他の電話機では、音声コールのみがサポートされます。

電話機に機能を追加した場合は、一部の機能に回線ボタンが必要になります。ただし、電話機の各回線ボタンは、1つの機能（回線、短縮ダイヤル、または機能）のみをサポートできます。お使いの電話機の手元ボタンがすでに使用されている場合は、電話機にそれ以外の追加機能は表示されません。

所有している電話機のモデルをチェックするには、[アプリケーション (Applications)]  を押して、[電話の情報 (Phone information)] を選択します。[モデル番号 (Model number)] フィールドに、電話機のモデルが表示されます。



- (注) Cisco IP 電話 8845、8865、および 8865NR では、ボックスと梱包を保存する必要があります。これらの電話機のカメらは脆弱です。電話機を移動する場合は、電話機を元のボックスにパックしてカメラを保護することを推奨します。詳細については、[ビデオフォンのカメラの保護 \(21 ページ\)](#) を参照してください。

機能のサポート

このドキュメントでは、デバイスがサポートするすべての機能について説明します。ただし、すべての機能が現在お使いの構成でサポートされているとは限りません。サポート対象機能については、管理者に連絡してください。

新規および変更情報

以下のセクションの情報を参照すると、マニュアルの変更内容を理解できます。各セクションには、主な変更点が記載されています。

ファームウェア リリース 14.2(1) の新規および変更情報

次の情報は、ファームウェアリリース 14.2(1) の新規または変更された情報です。

| 機能 | 新機能および変更情報 |
|--|--|
| シスコ ヘッドセット 730 USB アダプタを使用したエクステンションモビリティのログインの簡略化 | Cisco ヘッドセットからエクステンションモビリティへのログイン (23 ページ) ヘッドセットとユーザ情報の関連付け (119 ページ) |
| Cisco ヘッドセット 500 シリーズの Bluetooth ミュート同期 | シスコ ヘッドセット 730 ボタンとハードウェア (141 ページ) |
| Cisco ヘッドセット 500 シリーズの新しい設定 | Cisco ヘッドセット 561 と 562 の標準ベース (136 ページ) シスコヘッドセット 560 シリーズのマルチベース (137 ページ) オンドックまたはオフドックの通話動作を変更する (155 ページ) 常時オンモードを有効にする (156 ページ) |
| Cisco ヘッドセット 720 と 980 の新しいサポート | サポートされるアクセサリ (123 ページ) シスコ ヘッドセット 700 シリーズ (141 ページ) Cisco Headset 720 Buttons and Hardware (145 ページ) Bang & Olufsen Cisco 980 Buttons and Hardware (145 ページ) |

ファームウェア リリース 14.1(1)SR2 の新規および変更情報

次の情報は、ファームウェアリリース 14.1(1)SR2 の新規または変更された情報です。

| 機能 | 新機能および変更情報 |
|-----------------------|---|
| 版図の通話履歴の強化に関するトピックを更新 | 最近の通話リスト (107 ページ) 電話機ですべてのコールを表示 (85 ページ) |

ファームウェアリリース 14.1(1) の新規および変更情報

次の情報は、ファームウェアリリース 14.1(1) の新規または変更された情報です。

| 機能 | 新機能および変更情報 |
|--|---|
| 改善されたハントグループのコールアラート | ハントグループ内のコールへの応答 (66 ページ) |
| 拡張回線モードで設定可能な電話番号表示 | [拡張回線モード (Enhanced Line Mode)] (51 ページ) |
| 拡張された短縮ダイヤル | 別の担当者にコールを転送する (77 ページ) 別のグループからのコールへの応答 (グループピックアップ) (65 ページ) コールへの別のユーザーの追加 (78 ページ) |
| 設定可能な遅延 PLAR | ホットライン電話で発信する (62 ページ) |
| Cisco ヘッドセットを使用したエクステンションモビリティのログインに対する MRA サポート | Cisco ヘッドセットからエクステンションモビリティへのログイン (23 ページ) |
| Cisco ヘッドセット 730 の新しい設定 | シスコ ヘッドセット 730 イコライザの設定 シスコ ヘッドセット 730 音声通話の設定 |

ファームウェアリリース 14.0(1) の新規および変更情報

表 2: 新規および変更情報

| 機能 | 新機能および変更情報 |
|--------------|---|
| ハントグループの機能拡張 | 最近の通話リスト (107 ページ) 電話機ですべてのコールを表示 (85 ページ) |

| 機能 | 新機能および変更情報 |
|---------------------------------|--|
| Cisco ヘッドセット 500 シリーズの新しいメニュー設定 | ヘッドセットの呼び出し音設定の変更 (155 ページ) |
| ヘッドセットのアップグレードの進行状況インジケータ | Cisco IP Phone を使用して Cisco ヘッドセットのファームウェアをアップデートする (161 ページ) |
| コールパークの機能拡張 | コールパークを使用してコールを保留にする (74 ページ) |

ファームウェアリリース 12.8(1) の新規および変更情報

表 3: ファームウェアリリース 12.8(1) の新規および変更情報

| 機能 | 新しいまたは変更されたコンテンツ |
|---|---|
| 機能管理の変更 | コールをスパムとしてマークする (68 ページ) ボイス通知の下位レベルをオフにする (117 ページ) |
| 電話データの移行 | 既存の電話機を新しい電話機に置き換え (20 ページ) |
| を使用してエクステンションモビリティのログインを簡略化します シスコヘッドセット 500 シリーズ | Cisco ヘッドセットからエクステンションモビリティへのログイン (23 ページ) ヘッドセットとユーザ情報の関連付け (119 ページ) |
| シスコの循環型経済 | シスコの循環型経済 (183 ページ) |

ファームウェア リリース 12.7(1) の新規および変更情報

次の表に、ファームウェア リリース 12.7 (1) で加えられた変更を示します。

表 4: ファームウェア リリース 12.7 (1) に合わせた Cisco IP 電話 8800 ユーザ ガイドの改訂

| 改訂 | 更新されたセクション |
|-------------------------|--------------------------|
| 迷惑コールとしてマークするために更新されました | コールをスパムとしてマークする (68 ページ) |

| 改訂 | 更新されたセクション |
|---|---|
| キー拡張モジュールの壁紙のためにアップデートされました。 | 壁紙の変更 (113 ページ) |
| 音声を下げるために更新されました。 | ボイス通知の下位レベルをオフにする (117 ページ) |
| キーLEDと省電力の選択が更新されました。 | 省電力 (49 ページ) 電力節約モードのキーLEDの選択をオフにする (119 ページ) |
| 電子フック用に更新されています。 | 電話の電子フックスイッチコントロールを有効にする (153 ページ) |
| シスコヘッドセット 730 のサポート向け更新 | ヘッドセット (127 ページ) サポートされるアクセサリ (123 ページ) シスコヘッドセット 700 シリーズ (141 ページ) シスコヘッドセット 730 ボタンとハードウェア (141 ページ) Ciscoヘッドセットのカスタマイズ (153 ページ) およびサブセクション Ciscoヘッドセット 700 シリーズのカスタマイズ (157 ページ) |
| コールアラートのハントグループコール用に更新されました | ハントグループ内のコールへの応答 (66 ページ) |
| Ciscoヘッドセット 500 シリーズファームウェアリリース 1.5 の変更 | すべての Bluetooth のペアリングを削除 (150 ページ) |
| 一般的な変更 | 特定の状況において、ビジーの番号をダイヤルしたユーザが、再発注トーンを受信しました。このリリースでは、ユーザは話中音が聞こえます。 回線モードに基づいて、LEDの状態を更新しました。ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン (29 ページ) 新規セクション 電話のアイコンを使用 (31 ページ) 文字列変更のため、 [拡張回線モード (Enhanced Line Mode)] (51 ページ) が更新されました。 |

ファームウェア リリース 12.1(1) の新規および変更情報

すべての Cisco Unified Communications Manager リリースをサポートするよう Cisco Unified Communications Manager のマニュアルに対するすべての参照が更新されています。

次の表に、ファームウェアリリース 12.6 (1) に加えられた変更を示します。

表 5: ファームウェアリリース 12.0 (1) に合わせた Cisco IP 電話 8800 ユーザガイドの改訂

| 改訂 | 更新されたセクション |
|---------------------------|--|
| セッションラインモードの改善のために更新されました | 通常回線モード (51 ページ) |
| 拡張回線モードの改善のために更新されました | [拡張回線モード (Enhanced Line Mode)] (51 ページ) |

ファームウェア リリース 12.5(1) SR3 の新規および変更情報

すべての Cisco Unified Communications Manager リリースをサポートするよう Cisco Unified Communications Manager のマニュアルに対するすべての参照が更新されています。

次の表は、ファームウェアリリース 12.5 (1) SR3 に対して行われた変更を示しています。

表 6: ファームウェア リリース 11.5 (1) SR3 に合わせた Cisco IP 電話 8800 ユーザガイドの改訂

| 改訂 | 更新されたセクション |
|----------------------------|---|
| ヘッドセットリセット設定のサポートが追加されました。 | お使いの電話から Cisco ヘッドセットの設定をリセットする (151 ページ) |
| 新しいトピック | 電話機のキーパッド文字 (29 ページ) |
| 新しいトピック | コンピュータとの有線ネットワーク接続の共有 (14 ページ) |
| 新しいトピック | ビデオフォンのカメラの保護 (21 ページ) |

ファームウェア リリース 12.5(1) SR2 の新規および変更情報

ファームウェアリリース 12.5 (1) SR2 に関するユーザガイドの更新は必要ありません。

ファームウェアリリース 12.5 (1) SR2 は、ファームウェアリリース 12.5 (1) およびファームウェア 12.5 (1) SR1 に代わるものです。ファームウェアリリース 12.5 (1) およびファームウェアリリース 12.5 (1) SR1 は、ファームウェアリリース 12.5 (1) を優先して使用が延期されています。

ファームウェアリリース12.5 (1) SR1の新規および変更情報

次の表で、ファームウェア リリース 12.5(1)SR1 をサポートするために実施されたこのマニュアルへの変更について説明します。

表 7: ファームウェア リリース 11.5(1)SR1 に合わせた Cisco IP 電話 8800 ユーザ ガイドの改訂

| 改訂 | 更新されたセクション |
|---|------------------------------------|
| Cisco ヘッドセット 561 および 562 | シスコ ヘッドセット 500 シリーズ (127 ページ) |
| シスコヘッドセット 561 および562 マルチベース | シスコヘッドセット560シリーズのマルチベース (137 ページ) |
| Whisper Paging on Cisco Unified Communications Manager Express [英語] | インターコム コール (80 ページ) |
| 中国語のサポート | 中国語のサポート (35 ページ) |
| アクティベーションコードオンボーディングで接続する | アクティベーションコードオンボーディングで接続する (17 ページ) |
| ヘッドセットでオーディオパスが維持できるようにハンドセットを無効にする | オーディオパスの選択 (55 ページ) |

ファームウェアリリース 12.1(1) の新規および変更情報

次の表で、ファームウェア リリース 12.1(1)SR1 をサポートするために実施されたこのマニュアルへの変更について説明します。

表 8: ファームウェア リリース 12.1 (1) SR1 に合わせた Cisco IP 電話 8800 ユーザ ガイドの改訂。

| 改訂 | 更新されたセクション |
|-----------------------------------|--|
| 拡張ライン モードでの簡略化回線ラベルと着信コールの更新。 | [拡張回線モード (Enhanced Line Mode)] (51 ページ) |
| キー拡張モジュールのCisco壁紙のためにアップデートされました。 | Cisco IP 電話 8800 キー拡張モジュール (165 ページ) |

ファームウェア リリース 12.1(1) の新規および変更情報

次の表で、ファームウェア リリース 12.1(1) をサポートするために実施されたこのマニュアルへの変更について説明します。

表 9: ファームウェア リリース 12.1 (1) に合わせた Cisco IP 電話 8800 ユーザ ガイドの改訂

| 改訂 | 更新されたセクション |
|--|---|
| Cisco ヘッドセット 521 および 522 の更新。 | シスコ ヘッドセット 500 シリーズ (127 ページ) および Cisco ヘッドセット 521 および 522 コントローラのボタンとハードウェア (131 ページ) |
| 通話履歴のための更新 | 最近の通話履歴を表示する (107 ページ) |
| アクセシビリティ拡張機能のための追加 | Cisco IP 電話 8800 シリーズ アクセシビリティ機能 (37 ページ) また、次のようなセクションを追加: 音声フィードバック (44 ページ) 音声フィードバックをアクセシビリティから有効にする (118 ページ) 音声の速度を調整する (118 ページ) |
| 着信コール通知と着信アラートのための更新 | [拡張回線モード (Enhanced Line Mode)] (51 ページ) |
| Cisco Headset 531 および Cisco Headset 532 に関して更新 | シスコ ヘッドセット 500 シリーズ (127 ページ) マイクのテスト (160 ページ) スピーカーのサイドトーンを調整する (154 ページ) 低音と高音の調節 (154 ページ) マイク ボリュームの調節 (155 ページ) |
| 短縮ダイヤル ナビゲーションのための更新 | 短縮ダイヤル ボタンを使用したコールの発信 (58 ページ) |
| 短縮ダイヤル ボタンのための更新 | 電話機から短縮ダイヤル ボタンを追加する (59 ページ) 電話機から短縮ダイヤル ボタンを変更する (60 ページ) 電話機から短縮ダイヤル ボタンを削除する (60 ページ) |

ファームウェアリリース12.0(1)の新規および変更情報

次の表で、ファームウェア リリース 12.0(1) をサポートするために実施されたこのマニュアルへの変更について説明します。

表 10: ファームウェア リリース 12.0 (1) に合わせた Cisco IP 電話 8800 ユーザ ガイドの改訂

| 改訂 | 更新されたセクション |
|------------------|--|
| 新しいキー拡張モジュール用の更新 | Cisco IP 電話 8800 キー拡張モジュール (165 ページ) |

ファームウェアリリース 11.7(1)の新規および変更情報

次の表で、ファームウェア リリース 11.7(1) をサポートするために実施されたこのマニュアルへの変更について説明します。

表 11: ファームウェア リリース 11.7 (1) に合わせた Cisco IP 電話 8800 ユーザ ガイドの改訂

| 改訂 | 更新されたセクション |
|-----------------------|---|
| ビデオ コールの機能強化のための更新 | ビデオ通話 (70 ページ) |
| 新しいユーザ エクスペリエンスのための更新 | バッジ付きアイコン (33 ページ) 電話画面の機能 (30 ページ) [拡張回線モード (Enhanced Line Mode)] (51 ページ) |

ファームウェア リリース 11.5(1)SR1 に関する新しい情報および変更された情報

次の表で、ファームウェア リリース 11.5(1)SR1 をサポートするために実施されたこのマニュアルへの変更について説明します。

表 12: ファームウェア リリース 11.5(1)SR1 に合わせた Cisco IP 電話 8800 ユーザ ガイドの改訂

| 改訂 | 更新されたセクション |
|-----------------------------|--|
| Cisco IP 電話 8865NR サポート用の更新 | Cisco IP 電話 8800 シリーズ (1 ページ) Wi-Fi クライアントのセットアップ (14 ページ) ボタンとハードウェア (26 ページ) サポートされるアクセサリ (123 ページ) |

| 改訂 | 更新されたセクション |
|-----------------------|--|
| シャッターを閉じた状態のビデオのための更新 | ビデオの停止 (71 ページ) |
| MLPP および応答不可のサポートの更新 | 応答不可をオンにする (64 ページ) 優先コール (82 ページ) プライオリティ コールに回答する (84 ページ) |
| Wi-Fi 記号サポートのための更新 | Wi-Fi クライアントのセットアップ (14 ページ) 事前設定済み Wi-Fi ネットワークへの接続 (15 ページ) |

ファームウェアリリース 11.5(1) の新規および変更情報

次の表で、ファームウェア リリース 11.5(1) をサポートするために実施されたこのマニュアルへの変更について説明します。

表 13: ファームウェア リリース 11.5 (1) に合わせた Cisco IP 電話 8800 ユーザ ガイドの改訂

| 改訂 | 更新されたセクション |
|------------------------------|--|
| 拡張回線モードに関する次のセクションを更新 | <ul style="list-style-type: none"> • 通話と回線の違い (33 ページ) . • コールの無視 (64 ページ) . • コールの拒否 (63 ページ) . • 電話回線のモード (50 ページ) . • 通常回線モード (51 ページ) . • [拡張回線モード (Enhanced Line Mode)] (51 ページ) . |
| 電話機のアップグレードの延期に関する次のセクションを追加 | 電話ファームウェアとアップグレード (49 ページ) |
| サイレントに関する次のセクションを改訂 | 応答不可をオンにする (64 ページ) |
| 事前設定済み Wi-Fi ネットワークへの接続を追加 | 事前設定済み Wi-Fi ネットワークへの接続 (15 ページ) |

ファームウェアリリース 11.0 の新機能

次の表で、ファームウェア リリース 11.0 をサポートするために実施されたこのマニュアルへの変更について説明します。

表 14: ファームウェア リリース 11.0 に合わせた Cisco IP 電話 8800 ユーザ ガイドの改訂

| 改訂 | 更新されたセクション |
|-------------------------------------|--|
| 特定のフォントサイズについての記述を削除。 | フォント サイズの変更 (115 ページ) . |
| 割り込み/マージサポートの改善に関して次のセクションを更新。 | 共有回線のコールに参加する (87 ページ) |
| 問題報告ツール サポートの改善に関して次のセクションを改訂。 | 電話機のすべての問題を報告する (53 ページ) |
| サイレント (DND) に関して次のセクションに新しいアイコンを追加。 | 応答不可をオンにする (64 ページ) |
| ウェルカム画面に関して次のセクションを更新。 | Expressway への接続 (18 ページ) |

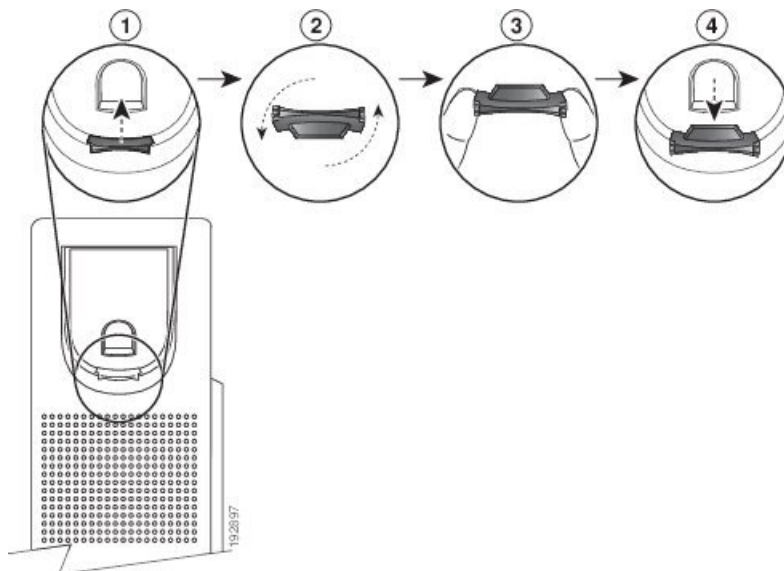
電話機のセットアップ

電話機のセットアップとネットワーク接続は管理者が行います。電話機の設定と接続が完了していない場合は、管理者に手順を問い合わせてください。

ハンドセット レストの調整

電話機が壁に取り付けられている場合、またはハンドセットが受け台からすぐに滑り落ちる場合には、受話器が受け台から滑り落ちないようにハンドセットレストを調整する必要があります。

図 2: ハンドセットレストの調整



手順

-
- ステップ 1 ハンドセットをはずし、ハンドセット受け台からプラスチックのタブを引き出します。
 - ステップ 2 タブを 180 度回します。
 - ステップ 3 コーナーのノッチを手前に向けて、2 本の指でタブを持ちます。
 - ステップ 4 タブを受け台のスロットに合わせ、タブをスロット内に均等に押し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。
 - ステップ 5 ハンドセットを受け台に戻します。
-

電話機の設置角度の調整

電話機の角度を変えることで画面のグレアを抑えることができます。お使いの電話機にビデオカメラがある場合は、角度を変えてカメラの表示を改善できます。

手順

-
- ステップ 1 一方の手で受け台の受話器を押さえます。
 - ステップ 2 もう一方の手でフットスタンドを動かして角度を変更します。
 - ステップ 3 (任意) キー拡張モジュールのフットスタンドを調節して、電話機とキー拡張モジュールを安定させます。

ステップ4 (任意) カメラの角度を確認するには、[セルフビュー (Self-view)] を押します。

ネットワークへの接続

電話機をネットワークに接続する必要があります。

- 有線ネットワーク接続：イーサネットケーブルを使用して電話機をネットワークにつなげます。
- ワイヤレス接続：Wi-Fi を使用して Cisco IP 電話 8861 および 8865 をワイヤレス アクセスポイントに接続できます。

電話機をネットワークに接続すると、次のように電話機が設定される場合があります。

- 仮想プライベートネットワーク (VPN): 電話機は、保護されたネットワークに接続されません。
- Expressway 経由モバイルおよび Remote Access : 管理者が Expressway 経由モバイルおよび Remote Access を設定していて、電話機がネットワークに接続されている場合、Expressway サーバに自動的に接続されます。

コンピュータとの有線ネットワーク接続の共有

電話機とお使いのコンピュータは、正常に機能するようにネットワークに接続する必要があります。イーサネットポートが1つしかない場合は、デバイスでネットワーク接続を共有できません。

始める前に

管理者は、使用する前に、Cisco Unified Communications Manager PC ポートを有効にする必要があります。

手順

ステップ1 イーサネットケーブルを使用して、電話機 SW ポートを LAN に接続します。

ステップ2 コンピュータをイーサネットケーブルで AP のイーサネットポートに接続します。

Wi-Fi クライアントのセットアップ

Cisco IP 電話 8861 と 8865 は Wi-Fi ネットワークへのアクセスが可能です。電話機に電力を供給する電源アダプタが必要です。Cisco IP 電話 8865NR は、Wi-Fi ネットワークでは使用できません。

Cisco IP Conference Phone 8832 は Wi-Fi ネットワークにアクセスできます。電話機に電力を供給する電源アダプタが必要です。Cisco IP Conference Phone 8832 NR は Wi-Fi ネットワークでは使用できません。




(注) 電話機で Wi-Fi を有効にすると、電話機の PC ポートが無効になります。

始める前に

Wi-Fi アクセスを有効にするには、管理者がコール制御システムで設定を行う必要があります。

手順

- ステップ 1 電話機がイーサネットに接続されている場合は、イーサネットケーブルを取り外します。
- ステップ 2 アプリケーション  を押します。
- ステップ 3 [設定 (Settings)] を押します。
- ステップ 4 [管理者設定 (Admin settings)] > [ネットワークのセットアップ (Network setup)] > [Wi-Fi クライアントのセットアップ (Wi-Fi client setup)] > [Wi-Fi ログインアクセス (Wi-Fi sign in access)] まで移動します。
- ステップ 5 [管理者設定 (Admin settings)] > [ネットワークのセットアップ (Network setup)] > [Wi-Fi クライアントのセットアップ (Wi-Fi client setup)] に移動します。
- ステップ 6 [ワイヤレス (Wireless)] に移動して、[オン (On)] を押します。
- ステップ 7 [Wi-Fi ログインアクセス (Wi-Fi sign in access)] に移動して、[オン (On)] を押します。
- ステップ 8 [適用 (Apply)] を押して変更内容を保存するか、[復元 (Revert)] を押して変更をキャンセルします。
- ステップ 9 [ネットワーク名 (Network name)] に移動します。
- ステップ 10 電話機が SSID のスキャンを終了したら、参加するネットワークを選択します。
- ステップ 11 Wi-Fi 認証情報を入力し、[接続 (Connect)] を押します。

事前設定済み Wi-Fi ネットワークへの接続

Cisco IP 電話 8861 および 8865 を使って Wi-Fi ネットワークに接続できます。しかし、Cisco IP 電話 8865NR は Wi-Fi に対応していません。

電話機の設定方法によっては、Wi-Fi ネットワークに参加したとき、または電話機が起動したときに、サインインが必要になる場合があります。

正しいユーザ名とパスワードを入力するまで、Wi-Fi サインイン ウィンドウを消すことはできません。

手順

ステップ 1 要求されたら、Wi-Fi クレデンシャルを入力します。

ステップ 2 [サインイン (Sign-in)] を選択します。

VPN への接続

次の 2 つの方法のいずれかで VPN に接続します。

- クレデンシャル（ユーザ名とパスワード、またはパスワードのみ）を入力する
- 証明書を使用する

電話機に証明書がすでにインストールされている場合は、何もする必要がありません。電話機は自動的に VPN に接続されます。

手順

ステップ 1 要求されたら、VPN 資格情報を入力してください。

ステップ 2 [サインイン (Sign-in)] を選択します。


VPN で使用するための電話機のセットアップ

始める前に

この手順を完了するには、有効な TFTP サーバアドレスが必要です。この情報が不明な場合は、管理者に問い合わせてください。

Cisco IP 電話 8865NR では Wi-Fi クライアントを使用できません。

手順

ステップ 1 アプリケーション  を押します。

ステップ 2 [管理者設定 (Admin Settings)] を選択します。

ステップ 3 次のいずれかのメニュー項目を選択します。

- イーサネットに接続されているすべての電話機 : [イーサネットのセットアップ (Ethernet setup)]
- Wi-Fi を使用する Cisco IP 電話 8861 および 8865 ユーザ : [ネットワークのセットアップ (Network Setup)] > [Wi-Fi クライアントのセットアップ (Wi-Fi client setup)]

ステップ 4 [IPv4 のセットアップ (IPv4 Setup)] を選択します。

- ステップ5 [代替 TFTP (Alternate TFTP)] に移動し、[オン (On)] を選択します。
- ステップ6 [TFTP サーバ 1 (TFTP server 1)] を選択します。
- ステップ7 [TFTP サーバ 1 (TFTP server 1)] フィールドに TFTP サーバ アドレスを入力します。
- ステップ8 [適用 (Apply)] を押します。
- ステップ9 [続行 (Continue)] を押します。
- ステップ10 [終了 (Exit)] を押します。

アクティベーションコードオンボーディングで接続する

ネットワークがこの機能をサポートするように設定されている場合、アクティベーションコードオンボーディングを使用して、会社の電話ネットワークに接続することができます。


アクティベーションコードを入力する

アクティベーションコードは、新しい電話機の設定に使用されます。1回のみ使用でき、1週間後に有効期限が切れます。コードがわからない場合や新しいコードが必要な場合は、管理者に連絡してください。

手順

- ステップ1 アクティベーション画面にアクティベーションコードを入力します。
- ステップ2 [送信 (Submit)] を押します。

QRコードで電話機をアクティブ化する

電話機にカメラが付いている場合は、QRコードをスキャンして電話機を有効化することができます。間違っても[手動で入力 (Enter manually)] を押した場合は、[戻る (Back)]  を押してQRコード画面に戻ります。

始める前に

お使いの携帯電話のQRコードが必要です。電話機に割り当てられている場合、そのコードは Self Care Portal で利用できます。ただし、管理者がこの情報の表示をブロックしている可能性があります。

コードはデフォルトで最大1週間有効で、グラフィックの一番下に有効期限があります。コードが期限切れになっている場合やコードが必要な場合は、管理者に連絡してください。

手順

- ステップ1 QRコードは、次のいずれかの方法で使用します。

- QR コードが表示されている電子メールを印刷し、電話機のカメラに QR コードをかざします。
- モバイルデバイスで QR コードを表示し、電話機のカメラの前にデバイスをかざします。

ステップ 2 カメラのリングを時計方向に回して、シャッターを開きます。

ステップ 3 QR コードをスキャンします。

スキャンが成功すると、電話機がサーバに登録され、最初のコールを開始できるようになります。

Expressway への接続

Expressway 経由でのモバイルおよび Remote Access を使用すると、オフィス外で勤務しているときでも社内ネットワークに接続できます。電話機には TFTP アドレスが設定されていないため、サインインプロセスを開始するための [ウェルカム (Welcome)] 画面が表示されます。

Expressway 経由でのモバイルおよび Remote Access を使用すると、オフィス外で勤務しているときでも社内ネットワークに接続できます。

始める前に


これまでオフィスまたは VPN で電話機を使用してきた場合は、Expressway に接続する前にサービスモードをリセットしてください。

Expressway 経由でのモバイルおよび Remote Access にオンプレミスで接続する必要がある場合、電話を再起動し、ガイダンスに従って [選択] を押します。

手順

- ステップ 1** サービスモードのリセットは、[設定 (Settings)] > [管理者設定 (Admin Settings)] > [設定のリセット (Reset Settings)] > [サービスモード (Service mode)] から行います。
- ステップ 2** サービスモードの変更を促すメッセージが表示されたら、[選択 (Select)] を押します。
- ステップ 3** [ウェルカム (Welcome)] 画面でアクティベーションコードまたはサービスドメインを入力し、[続行 (Continue)] を押します。
- ステップ 4** サービスドメインを入力し、[続行 (Continue)] を押します。
- ステップ 5** ユーザ名とパスワードを入力します。
- ステップ 6** [送信 (Submit)] を押します。
- ステップ 7** [サインイン (Sign In)] を選択します。

QR コードを使用した電話機の自動有効化

電話機にカメラが付いている場合は、QR コードをスキャンして電話機を有効化することができます。間違えて [手動で入力 (Enter manually)] を押した場合は、[戻る (Back)]  を押して QR コード画面に戻ります。

始める前に

ウェルカム メッセージにある QR コードが必要です。

ウェルカム メッセージのコードが期限切れである場合は、セルフ ケア ポータルでデバイス用のアクティベーション コードを生成するか、管理者にアクティベーション コードを要求します。

手順

ステップ 1 QR コードは、次のいずれかの方法で使します。

- QR コードが表示されている電子メールを印刷し、電話機のカメラに QR コードをかざします。
- モバイルデバイスで QR コードを表示し、電話機のカメラの前にデバイスをかざします。
- コンピュータで QR コードを表示し、コンピュータの画面の前に電話機をかざします。

ステップ 2 カメラのリングを時計方向に回して、シャッターを開きます。

ステップ 3 QR コードをスキャンします。

スキャンが成功すると、電話機がサーバに登録され、最初のコールを開始できるようになります。

サービス モードの変更

電話機が既存のサーバに接続すると、5秒間にわたってビープ音が聞こえます。サーバモードを Huron に変更できることを示すアラート メッセージ ウィンドウも表示されます。

手順

ステップ 1 サービス モードを変更するには：

- 電話機の [選択 (Select)] キーを押します。
- [設定 (Settings)] > [管理者設定 (Admin Settings)] > [設定のリセット (Reset Settings)] > [サービス モード (Service Mode)] を選択します。

電話機で VPN が非アクティブ化された後、電話機が再起動します。

ステップ 2 [リセット (Reset)] を押すと、サービスを Huron に変更できます。

ステップ 3 既存のサービスを保持するためには、[キャンセル (Cancel)] を押します。

ケーブル ロックによる電話機の固定

最大 20 mm 幅のラップトップ ケーブル ロックで Cisco IP 電話 8800 シリーズを固定できます。

手順

- ステップ1 ケーブルロックのループの端を持って折り返し、電話機の固定場所となる物の周りに巻き付けます。
 - ステップ2 ロックをケーブルのループの端まで通します。
 - ステップ3 ケーブルロックのロックを解除します。
 - ステップ4 ロック ボタンを押したままにして、ロックの歯の位置を合わせます。
 - ステップ5 ケーブルロックを電話機のロック スロットに挿入し、ロック ボタンを放します。
 - ステップ6 ケーブルロックをロックします。
-

既存の電話機を新しい電話機に置き換え

電話機モデルを変更することができます。この変更は、次のようにいくつかの理由で必要になる場合があります。

- Cisco Unified Communications Manager (ユニファイド CM) を電話機モデルをサポートしていないソフトウェアバージョンに更新しました。
- 現在のモデルからの別の電話機モデルが必要です。
- 電話機を修理または交換する必要があります。

制限 (Limitation) : 古い電話機が新しい電話よりも多くの回線または回線ボタンを使用している場合は、新しい電話機に追加回線や回線ボタンは設定されません。

設定が完了すると、電話機が再起動します。

始める前に

管理者は、電話機の移行をCisco Unified Communications Managerに設定する必要があります。ネットワークに接続されていない、または未設定の新しい電話が必要です。

手順

- ステップ1 古い電話機の電源をオフにします。
- ステップ2 新しい電話機の電源を入れます。
- ステップ3 プロンプトが表示されたら、アクティベーション コードを入力します。
- ステップ4 [既存の電話を置き換える (Replace an existing phone)] を選択します。
- ステップ5 古い電話機のプライマリ内線番号を入力します。
- ステップ6 古い電話機に暗証番号が割り当てられている場合は、暗証番号を入力します。
- ステップ7 [送信 (Submit)] を押します。

ステップ 8 デバイスが複数ある場合は、置き換えるデバイスを選択して **[続行する (Continue)]** を押しします。

ビデオフォンのカメラの保護

ビデオフォンのカメラが壊れやすく、電話機の配送中に壊れる可能性があります。

始める前に

次のいずれかが必要です。

- 元の電話箱と梱包材
- エアクッションや泡の回り込みなどのパッケージング素材

手順

ステップ 1 元のボックスを使用している場合は、次のようになります。

- a) レンズがきちんと保護されていることを示すために、カメラにエアクッションを配置します。
- b) 電話機を元のボックスに置きます。

ステップ 2 ボックスを持っていない場合は、電話機をエアクッションまたは泡の回りにして、カメラを保護します。どの方向からでもカメラを何も押しられないようにエアクッションがカメラを保護し囲むようにします。または、カメラが輸送中に破損することがあります。

電話機のアクティブ化とサインイン

場合によっては、電話機をアクティブ化したり、電話機にサインインしたりする必要があることがあります。電話機に対してアクティブ化を一度行うことで、電話機がコール制御システムに接続されます。サインインおよびアクティベーションの資格情報はシステム管理者より与えられます。

電話機へのサインイン

始める前に

ユーザ ID と PIN（暗証番号）またはパスワードを管理者から取得します。

手順

- ステップ1 [ユーザ ID (User ID)]フィールドにユーザ ID を入力します。
 - ステップ2 [PIN]または[パスワード (Password)]フィールドに PIN またはパスワードを入力して、[送信 (Submit)]を押します。
-

別の電話機からの内線へのサインイン

Cisco Extension Mobility を使用すると、ネットワーク内の別の電話機にログインして、それを自分の電話機と同じように動作させることができます。ログインした後、その電話機には、電話回線、機能、設定済みサービス、ウェブベースの設定などの自分のユーザプロファイルが適用されます。Cisco Extension Mobility サービスのセットアップは管理者が行います。

始める前に

ユーザ ID と PIN (暗証番号) を管理者から取得します。

手順

- ステップ1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ2 [アプリ (Apps)]を押します。
 - ステップ3 [エクステンション モビリティ (Extension Mobility)]を選択します (名前は異なる場合があります)。
 - ステップ4 ユーザ ID と PIN を入力します。
 - ステップ5 プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
-

別の電話機で内線からログアウトする

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [アプリ (Apps)]を押します。
 - ステップ3 [Extension Mobility] を選択します。
 - ステップ4 [はい (Yes)]を押してログアウトします。
-

Cisco ヘッドセットからエクステンションモビリティへのログイン

Cisco Extension Mobility を使用すると、ネットワーク内の別の電話機にログインして、それを自分の電話機と同じように動作させることができます。ログインした後、その電話機には、電話回線、機能、設定済みサービス、ウェブベースの設定などの自分のユーザプロフィールが適用されます。Cisco Extension Mobility サービスのセットアップは管理者が行います。

モバイルおよびリモートアクセス（MRA）ではヘッドセットサインインがサポートされています。

電話機がモバイルおよびリモートアクセスに接続されている場合は、サインイン画面が表示されません。

別のユーザの電話機にシスコ ヘッドセット 500 シリーズまたはシスコ ヘッドセット 730を接続します。ヘッドセットは、USB または Y ケーブルを使用してこの機能にアクセスする必要があります。または、シスコ ヘッドセット 560 シリーズ（スタンダードベース付き）または Cisco ヘッドセット 560 シリーズ マルチベースを介して電話機にペアリング、接続されている必要があります。シスコ ヘッドセット 730は、USB または Y ケーブルを使用して電話に接続するか、または Cisco ヘッドセット USB HD アダプタ を介して電話に接続する必要があります。

ヘッドセットがユーザー ID にマップされていない場合、最初にこの手順を実行したときに、電話機でヘッドセットを ID にマップするように求められる場合があります。それから Cisco Unified Communications Manager がヘッドセットにユーザーレコードをマップします。プロンプトは、電話機の構成設定によって異なります。お使いのヘッドセットがマップされている場合、電話機はヘッドセットのシリアル番号に基づいてユーザー ID を取得し、その ID がエクステンションモビリティのサインイン画面に表示されます。



- (注) ヘッドセットがアップグレード中またはコール中の場合は、関連付けを行うことができません。アップグレードが終了するか、またはコールが終了するのを待ってからこの手順を実行します。

ヘッドセットまたは USB アダプタを取り外すと、サインアウトを行わない限り、遅れて Extension Mobility からサインアウトされます。

ワイヤレスヘッドセットを電話機から遠くに離すと、電話機は事前に決められたアイドル時間が経過した後、内線モビリティをサインアウトします。

また、事前に決められたアイドル時間が経過すると、内線モビリティから自動的にサインアウトします。

始める前に

ファームウェア アップグレードは進行できません。

電話機はアイドル状態である必要があります。

手順

- ステップ1 ヘッドセットを電話機に接続します。
- ステップ2 プロンプトが表示されたら、ユーザ ID と暗証番号を入力して、ヘッドセットをユーザ情報にマップします。

ヘッドセットがすでに別のユーザーに関連付けられている場合は、**[はい]**をクリックしてユーザーをサインアウトします。
- ステップ3 [内線モビリティ]画面で、ユーザ ID と暗証番号を入力し、**[送信 (Submit)]**を押します。
- ステップ4 プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
- ステップ5 終了したら、ヘッドセットを取り外します。
- ステップ6 **[サインアウト (Sign out)]**を押します。

関連トピック

[ヘッドセットとユーザ情報の関連付け](#) (119 ページ)

セルフケア ポータル

コンピュータからアクセス可能なセルフ ケア ポータル Web サイトで、いくつかの電話機設定をカスタマイズできます。セルフケア ポータルは、組織の Cisco Unified Communications Manager の一部です。

セルフケア ポータルにアクセスするための URL、およびユーザー ID とパスワードが管理者から通知されます。

セルフ ケア ポータルでは、電話機の機能、回線設定、電話サービスを制御できます。

- 電話機の機能には短縮ダイヤル、サイレント機能、個人用アドレス帳などがあります。
- 回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線設定には、不在転送、ビジュアルおよびオーディオメッセージインジケータ、呼出音のパターン、その他の回線固有の設定が含まれます。
- 電話機サービスには、特別な電話機の機能、ネットワークデータ、Web ベースの情報（株式相場、映画情報など）が含まれます。電話サービスを電話機で利用するには、その前にセルフ ケア ポータルを使って電話サービスを登録する必要があります。

Cisco IP 電話 8800 キー拡張モジュールを使用している場合は、スピードダイヤルやその他の電話サービス用に設定できます。

セルフ ケア ポータルを使用して設定できるいくつかの機能を次の表に示します。詳細については、ご使用のコール制御システムに関するセルフ ケア ポータルのマニュアルを参照してください。

表 15: 自己管理ポータルで利用できる機能

| 機能 | 説明 |
|--------|---|
| コール転送 | 電話で自動転送が有効になっているときに着信を受ける番号を使用します。セルフケアポータルを使用すると、より複雑なコール転送機能（回線がビジー状態の場合の動作など）をセットアップすることができます。 |
| 追加の電話機 | <p>固定電話と同じ電話番号で電話を発信/受信するために使用する、携帯電話などの追加の電話を指定します。また、特定の番号からのコールが携帯電話に送信されるのを制限または許可するために、連絡先のブロックや選好を定義することもできます。さらに、追加の電話機をセットアップするときには、次の機能も設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • シングルナンバーリーチ：自分のデスクフォンに着信したとき、追加の電話機の着信音を鳴らすかどうかを指定します。 • モバイルコール：追加の電話機が携帯電話である場合、モバイルコールからデスクフォンに、またはデスクフォンのコールから携帯電話に転送されるようセットアップできます。 |
| 短縮ダイヤル | 短縮ダイヤル番号に電話番号を割り当てると、その相手にすばやく電話をかけることができます。 |

関連トピック

[モバイルコネクトを使用した通話](#) (94 ページ)

[スピードダイヤル](#) (58 ページ)

[コールの転送](#) (77 ページ)

短縮ダイヤル番号

電話機で番号をダイヤルする際には、一連の数字（ディジット）を入力します。短縮ダイヤル番号を設定する際には、コールに必要なすべてのディジットを短縮ダイヤル番号に含める必要があります。たとえば、外線に接続するために9をダイヤルする必要がある場合は、9番を押してからダイヤルしたい番号を押してください。

また、ダイヤルする他のディジットを番号に追加することもできます。追加のディジットの例として、会議アクセスコード、内線、ボイスメールパスワード、承認コード、課金コードなどがあります。

ダイヤル文字列に含めることができる文字はつぎのとおりです。

- 0～9
- シャープ (#)
- アスタリスク (*)

- コンマ (,) : 一時停止記号であり、ダイヤリング中に 2 秒の遅延を挿入します。複数のカンマを連続させることができます。たとえば、2 個のカンマ (,,) は、4 秒間のポーズを表します。

ダイヤル文字列の規則は次のとおりです。

- ダイヤル文字列の各部分を分離するには、カンマを使用します。
- 短縮ダイヤル文字列では、常に課金コードの前に承認コードを含める必要があります。
- 文字列内の承認コードと課金情報コードの間に1つのコンマが必要です。
- 承認コードおよび追加のディジットを含む短縮ダイヤルには、短縮ダイヤルラベルが必要です。

短縮ダイヤルを設定する前に、ディジットシーケンスを手動で少なくとも1回ダイヤルしてみ、内容が正しいことを確認してください。

短縮ダイヤルの承認コード、課金コード、および追加のディジットは、電話機の通話履歴に保存されません。短縮ダイヤルを使って宛先に接続した後に[**リダイヤル (Redial)**]を押すと、電話機に必要な承認コード、課金情報コード、または追加の数字を手動で入力するよう求められます。

例

承認コードと課金コードが必要な状況で、特定の内線の相手に電話するために短縮ダイヤル番号をセットアップするには、次の要件を考慮してください。

- 外線の **9** をダイヤルする必要があります。
- 通話先の番号は **5556543** です。
- 承認コード **1234** を入力する必要があります。
- 課金コード **9876** を入力する必要があります。
- 4 秒ほど待機します。
- 電話がつながった後、内線 **56789#** をダイヤルする必要があります。

このシナリオでは、短縮ダイヤル番号は**95556543,1234,9876,,56789#** となります。

関連トピック

[課金コードまたは承認コードを必要とするコール](#) (62 ページ)

[電話機のキーパッド文字](#) (29 ページ)

ボタンとハードウェア

Cisco IP 電話 8800 シリーズには、次に示す 2 つの異なるハードウェア タイプがあります。

- Cisco IP 電話 8811、8841、8851、8851NR、および 8861 : カメラなし。

- Cisco IP 電話 8845、8865、および 8865NR : 内蔵カメラ付き。


次の図は、Cisco IP 電話 8845 を示しています。
















図 3: Cisco IP 電話 8845 のボタンおよびハードウェア



次の表は、Cisco IP 電話 8800 シリーズのボタンについて説明しています。

表 16: Cisco IP 電話 8800 シリーズのボタン

| | | |
|---|--|---|
| 1 | ハンドセットとハンドセットライトストリップ | 着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）があるかどうかを示します。 |
| 2 | カメラ Cisco IP 電話 8845、8865、 および 8865NR のみ | ビデオ コールのためにカメラを使用します。 |
| 3 | プログラム可能な機能ボタンと回線ボタン | <p>: 電話回線、機能、およびコールセッションにアクセスします。</p> <p>電話回線キーに機能を追加する場合、使用できる回線キーの数には制限があります。使用している電話機の回線キーの数を超えて機能を追加することはできません。</p> <p>詳細については、「Cisco IP 電話ハードウェア」の章の「ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン」の項を参照してください。</p> |

| | | |
|---|------------------------|---|
| 4 | ソフトキー ボタン | <p>: 関数とサービスにアクセスします。</p> <p>詳細については、「Cisco IP 電話ハードウェア」の章の「ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン」の項を参照してください。</p> |
| 5 | 戻る、ナビゲーションクラスタ、およびリリース | <p>戻る : 前の画面またはメニューに戻ります。</p> <p>ナビゲーションクラスタ  ナビゲーションリングと [選択 (Select)] ボタン: メニューをスクロールしたり、項目を強調表示したり、強調表示されている項目を選択したりできます。</p> <p>リリース : 接続されているコールまたはセッションを終了します。</p> |
| 6 | 保留/再開、会議、および転送 | <p>保留/再開 : アクティブ コールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。</p> <p>会議 : 電話会議を作成します。</p> <p>転送 : コールを転送します。</p> |
| 7 | スピーカフォン、ミュート、およびヘッドセット | <p>[スピーカフォン (Speakerphone) ]: スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。</p> <p>[ミュート (Mute) ]: マイクフォンのオン/オフを切り替えます。マイクフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。</p> <p>ヘッドセット : ヘッドセットをオンに切り替えます。ヘッドセットがオンの場合、ボタンは点灯します。ヘッドセット モードを終了するには、ハンドセットを持ち上げるか、スピーカフォン  を選択します。</p> |
| 8 | 連絡先、アプリケーション、およびメッセージ | <p>連絡先 : 個人用ディレクトリや社内ディレクトリにアクセスします。</p> <p>[アプリケーション (Applications)] : 発着信履歴、ユーザ設定、電話機設定、および電話機モデル情報にアクセスします。</p> <p>メッセージ : ボイス メッセージング システムを自動的にダイヤルします。</p> |
| 9 | 音量 ボタン | <p>: ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの音量 (オフフック) と呼出音の音量 (オンフック) を調整します。</p> |

電話機のキーパッド文字

電話機のキーパッドでは、文字、数字、および特殊文字を入力できます。2~9キーを押して、文字と数字を取得します。特殊文字には、1、ゼロ(0)、アスタリスク(*)、およびシャープ(#)キーを使用します。次の表は、英語ロケール用の各キーの特殊文字を示しています。他のロケールにも独自の文字があります。

表 17: キーパッドの特殊文字

| キーパッドキー | 特殊文字を使用する |
|------------|------------------------|
| 1 | / . @ : ; = ? _ & % |
| 0 | (space) , ! ^ ' " |
| アスタリスク (*) | + * ~ ` < > |
| シャープ (#) | # \$ £ □ \ () { } [] |

ナビゲーション

ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用して、メニューをスクロールし、フィールド間を移動します。ナビゲーションクラスタの内側の[選択 (Select)]ボタンを使用してメニュー項目を選択します。

図 4: ナビゲーションクラスタ



メニュー項目にインデックス番号がある場合は、キーパッドでインデックス番号を入力して項目を選択できます。



ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン

電話機で対話式に機能を操作する方法がいくつかあります。

- ソフトキーは画面の下にあり、ソフトキーの上の画面に表示されている機能にアクセスできます。ソフトキーは、その時点で行っている操作に応じて変化します。[その他... (More...)]ソフトキーは、その他にも使用可能な機能があることを示しています。
- スクリーンの両側にある機能ボタンと回線ボタンを使用すると、電話機能および電話回線にアクセスできます。

- 機能ボタン：短縮ダイヤルやコールピックアップなどの機能で使われます。また、別の回線での自分のステータスを表示するために使われます。
- 回線ボタンを使用すると、コールに応答したり、保留中のコールを再開したりできます。アクティブコールに対して使われないときは、不在着信の表示などの電話機能を開始できます。

機能ボタンと回線ボタンの点灯は、次のようなステータスを示します。

| LED のカラーと状態 | 標準回線モード: 回線ボタン | 標準回線モード: 機能ボタン [拡張回線モード (Enhanced Line Mode)] |
|--|--|---|
|  緑色で一定の LED | アクティブコールまたは双方向インターコムコール、保留コール、使用中のプライバシー | アクティブコールまたは双方向インターコムコール、使用中のプライバシー |
|  緑色、LED 点滅 | なし | 保留された通話 |
|  オレンジ色、点灯 LED | ハントグループにログインした着信コール、復帰コール、一方向インターコムコール | ハントグループにログインした一方向インターコムコール |
|  オレンジ色、LED 点滅 | なし | 着信コール、復帰コール |
|  赤色、点灯 LED | 使用中のリモート回線、保留中のリモート回線、アクティブに応答不可 | 使用中のリモート回線、アクティブな応答がありません |
|  赤色、LED 点滅 | なし | リモート回線が保留中 |

管理者は、いくつかの機能をソフトキーまたは機能ボタンとして設定できます。さらに、ソフトキーや関連するハードボタンを使っていくつかの機能にアクセスすることもできます。

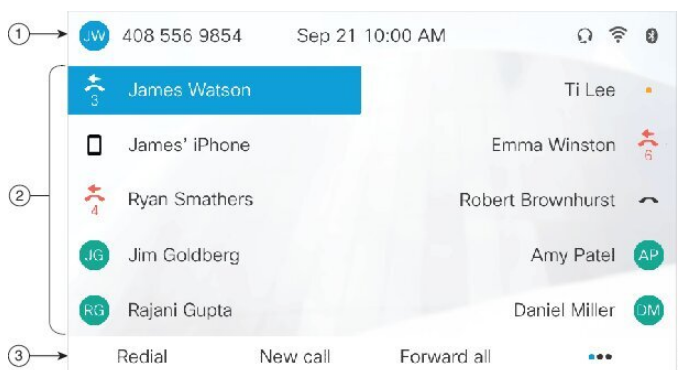
関連トピック

[電話回線のモード](#) (50 ページ)

電話画面の機能

電話スクリーンには、電話番号、アクティブコールと回線のステータス、ソフトキー、短縮ダイヤル、発信履歴、電話メニューのリストなど、その電話機に関する情報が表示されます。スクリーンにはヘッダー行、中央セクション、フッター行の3つのセクションがあります。

図 5: Cisco IP 電話 8800 の画面



以下の表では、Cisco IP 電話 の画面コンポーネントについて説明します。

表 18: Cisco IP 電話 の画面情報





| | |
|---|---|
| 1 | スクリーンの最上部にはヘッダー行があります。ヘッダー行には、電話番号と現在の日時のほかに、さまざまなアイコンが表示されます。該当する機能がアクティブであるときに、アイコンが表示されます。 |
| 2 | 電話スクリーンの中央部には、電話機の回線と機能ボタンに関連した情報が表示されます。 |
| 3 | 画面の最下行にはソフトキーのラベルが表示されます。各ラベルは、スクリーンの下にあるソフトキー ボタンのアクションを示しています。 |


電話のアイコンを使用

電話画面にたくさんのアイコンが表示されます。このセクションでは、共通アイコンの画像が提供されます。



アイコンは画面に応じて、カラーまたはグレースケールで表示されます。

線




| アイコン | 説明 |
|---|-------------|
|  | 回線/ディレクトリ番号 |
|  | 短縮ダイヤル |
|  | インターコム |
|  | 保留された通話 |

| アイコン | 説明 |
|---|----------|
|  | アクティブコール |

共有電話

| アイコン | 説明 |
|---|---------------------------|
|  | 共有回線上の着信コール。 |
|  | 別のユーザによってアクティブになっている共有回線。 |




通話履歴

| アイコン | 説明 |
|---|-------|
|  | 着信コール |
|  | 発信コール |
|  | 不在着信 |

Bluetooth アイコン

電話機モデルに Bluetooth がサポートされている場合は、これらのアイコンが表示されます。






表 19: Bluetooth アイコン

| アイコン | 説明 |
|---|---|
|  | Bluetooth がオンになっています。 |
|  | Bluetooth に接続されているデバイスがあります。 |
|  | Bluetooth の電源がオンになっていますが、接続されているデバイスがありません。 |

Wi-Fi ネットワークアイコン

電話機が Wi-fi ネットワークに接続されている場合は、これらのアイコンが表示されます。

表 20: ネットワーク アイコン

| アイコン | 説明 |
|--|------------------------------|
|     | Wi-Fi 接続中で、バーの数は信号強度を示しています。 |
|  | Wi-Fi 接続がありません。 |

電話画面のクリーニング

手順

電話機の画面が汚れた場合、乾いた柔らかい布で拭いてください。

注意 液体や粉末は電話機に対して使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

バッジ付きアイコン

不在着信があった場合は、電話機のデスクトップに不在着信アイコンと、不在着信の回数を示すカウンタが表示されます。ボイスメールを受信した場合は、メッセージを聞くまで、不在着信アイコンがボイスメールアイコンとボイスメール カウンタに変わります。

加えて、1つの回線に複数のコールがある場合は、保留アイコンまたはオフフックアイコンがコール数を示すように変化します。

通話と回線の違い

本書で電話機の使用法を説明する際に使っている回線 およびコール という用語には、かなり独特な意味合いがあります。

- **回線**：回線は、他人が自分へのコールに使用できる電話番号またはインターコム番号にそれぞれ対応しています。回線の数は、電話番号および電話回線アイコンの数と同じです。電話機の設定によっては、最大16回線持つことができます。
- **コール**：1本の回線で複数のコールをサポートできます。デフォルトで、電話機は1つの回線につき4つの接続コールをサポートしますが、管理者は必要に応じてこの数を調整できます。

アクティブとなり得るコールは常に1つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

たとえば2つの回線があり、各回線で4つのコールがサポートされる場合、一度に最大8つの接続コールが存在する可能性があります。これらのうち1つだけがアクティブで、他の7つは保留中のコールとなります。

USB ポート

電話機には1つ以上のUSBポートが搭載されていることがあります。各USBポートには、最大で5台のUSBデバイスを接続できます。デバイスの最大数には、ポートに接続された各デバイス（キー拡張モジュールを含む）が含まれます。

たとえば、ご使用の電話機は側面ポートで5台のUSBデバイス、背面ポートでさらに5台の標準USBデバイスをサポートできます。多くのサードパーティUSB製品は、USBデバイスを複数含んでおり、したがって、複数デバイスとしてカウントされます。

USBハブを使用している場合、アクティブコール中に電話機からUSBケーブルを抜くと、電話機が再起動することがあります。

関連トピック

[Cisco IP 電話 8800 シリーズ](#) (1 ページ)

モバイル デバイスの充電

デバイスがUSB接続可能な場合、電話機のUSBポートを使用してモバイルデバイスを充電できます。次のポートでUSB充電が可能です。

- 側面ポート：標準的なデバイス充電が可能です。
- 背面ポート（Cisco IP 電話 8861、8865、および8865NRのみ）：標準的なデバイス充電および高速充電が可能です。

モバイルデバイスが電力節約モードである場合、電話機は充電を続けますが、Power Save Plus モードの場合は充電を停止します。

電話機を使用してモバイルデバイスを充電する際には、次の条件が適用されます。

- 充電が始まるまで、いくらかの遅延が発生することがあります。
- 場合によっては、充電中アイコンがデバイスに表示されないことがあります。たとえば、デバイスが完全に充電されるとアイコンが表示されない場合があります。
- 電話機に複数のCisco IP 電話 8800 キー拡張モジュールが取り付けられている場合は、背面USBポートでデバイスの高速充電を行うことができません。

タブレットを取り外してすぐにUSBヘッドセットを電話機に差し込むと、電話機がUSBヘッドセットを認識するまで3秒間かかります。

関連トピック

[省電力](#) (49 ページ)

中国語のサポート

あなたは漢字を入力することができ、**拼音**を選択すると電話機に中国語が表示されます。この機能は、短縮ダイヤル、通話履歴、個人用および社内ディレクトリでサポートされています。


この機能は、電話機とキー拡張モジュールの両方でサポートされています。ただし、これはアジア諸国でのみ利用可能であり、中国語（中国）のみがサポートされています。中国語の入力は、多くのアジア諸国の PC や携帯電話に共通のピンイン入力方式に基づいています。

この機能には中国語のロケールインストーラが必要ですが、追加の設定は必要ありません。

通話履歴検索

中国語の入力は、多くのアジア諸国の PC や携帯電話に共通のピンイン入力方式に基づいています。

手順

ステップ 1 アプリケーション  を押します。

ステップ 2 [通話履歴 (Recent)] を選択します。

電話機がアイドル状態の場合、ナビゲーションクラスタを上を押すことによって通話履歴リストを表示することも可能です。

ステップ 3 [ABC] を選択します。

ステップ 4 **拼音** を選択します。

ステップ 5 ナビゲーションクラスタとキーパッドを使用して入力を選択します。

電話機から短縮ダイヤル ボタンを追加する

セルフ ケア ポータルにアクセスできない場合は、中国語のユーザが電話機から短縮ダイヤル ボタンを設定することができます。中国語の入力は、多くのアジア諸国の PC や携帯電話に共通のピンイン入力方式に基づいています。

手順

ステップ 1 回線キーを 2 秒間押し続けます。

ステップ 2 **拼音** を選択します。

ステップ 3 [名前 (Name)] フィールドに、短縮ダイヤル番号の名前を入力します。

ステップ 4 [番号 (Number)] フィールドに電話番号を入力します。発信するために必要なすべての数字を含めます。

ステップ 5 [適用 (Apply)] を選択して、短縮ダイヤル番号を保存します。

社内またはパーソナル ディレクトリへの新しい連絡先の追加

中国語のユーザーは、友人、家族、同僚などの連絡先情報を保管できます。中国語の入力は、多くのアジア諸国の PC や携帯電話に共通のピンイン入力方式に基づいています。

手順

ステップ 1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。

ステップ 2 社内ディレクトリまたはパーソナル ディレクトリを選択します。

ステップ 3 拼音を選択します。

ステップ 4 名、姓、およびオプションでニックネームを入力します。

ステップ 5 [電話 (Phones)] を押し、電話番号および必要に応じてアクセス コードを入力して、[送信 (Submit)] を押します。

Bluetooth と電話機)

電話機が Bluetooth に対応している場合、Bluetooth ヘッドセットを使用して、携帯電話やタブレットを電話機に接続できます。

Bluetooth 接続は電話機から 1~2 メートル (3~6 フィート) の範囲内で最も良く機能しますが、20 メートル (66 フィート) 離れていても機能する場合があります。接続されているデバイスと電話機との間に障害物 (壁、ドア、窓など)、大きな金属物、または他の電子機器がある場合には、Bluetooth 接続の品質が低下することがあります。

モバイルデバイスまたはヘッドセットを Bluetooth で電話機に接続するには、最初にデバイスと電話機をペアリングします。最大で 50 台のモバイル デバイスおよび Bluetooth ヘッドセットを電話機とペアリングできます。

ヘッドセットまたはモバイル デバイスがペアリングされた後、ヘッドセットまたはモバイル デバイスがオンになると、電話機はそれに接続します。

電話機で Bluetooth ヘッドセットやモバイル デバイスを使用するときには、次の点に注意してください。

- 電話機は、電話機に最後に接続された Bluetooth ヘッドセットまたはモバイル デバイスをデフォルト デバイスとして使用します。
- 1 台のモバイル デバイス (携帯電話機またはタブレット) と 1 つの Bluetooth ヘッドセットを同時に接続できます。

- 電話機は、ペアリングされたモバイルデバイスのうち一度に1台だけと接続できます。携帯電話が接続された状態でタブレットをオンにした場合、タブレットが電話機に接続され、携帯電話は切断されます。
- Bluetoothヘッドセットとモバイルデバイスが電話機に接続されている場合、Bluetoothヘッドセットを使用してデスクの電話機のコールにモバイルデバイスから応答することはできません。

関連トピック

[モバイルデバイスとデスク電話機のペアリング](#) (89 ページ)

[Cisco IP 電話 8800 シリーズ](#) (1 ページ)

Cisco IP 電話 8800 シリーズ アクセシビリティ機能

Cisco IP 電話 8800 シリーズには、視覚障がい、聴覚障がい、運動障がいを持つユーザーのためのアクセシビリティ機能があります。こうした機能の多くは標準搭載されているため、障がいを持つユーザーは特別な設定を行うことなく使用できます。

このマニュアルの電話機のサポートページという用語は、特定の機能を設定するためにユーザーがアクセスできる Web ページのことをいいます。Cisco Unified Communications Manager (リリース 10.0 以降) では、これらのページは、セルフケアポータルになっています。Cisco Unified Communications Manager (リリース 9.1 以前) では、これらのページはユーザーオプションという Web ページです。

Cisco では、組織のニーズに合った、アクセシビリティ機能搭載の製品および技術の設計や提供に取り組んでいます。Cisco および Cisco によるアクセシビリティへの取り組みに関する詳細については、次の URL を参照してください。 <http://www.cisco.com/go/accessibility>

の Webex Calling

電話機には、少しの設定または設定不要で利用できる標準のアクセシビリティ機能が搭載されています。

図 6: 聴覚障がい者向けアクセシビリティ機能—Cisco IP 電話 8861



次の表では、Cisco IP 電話 8800 シリーズの聴覚障がい者向けアクセシビリティ機能を説明しています。

表 21: 聴覚障がい者向けアクセシビリティ機能

| 項目 | アクセシビリティ機能 | 説明 |
|----|----------------------------|---|
| 1 | ビジュアルメッセージ受信インジケータ（ハンドセット） | <p>このライトストリップはあらゆる角度から見えます。また、電話には音声でのメッセージ待機インジケータも搭載されています。</p> <p>明るさまたは可聴ボイスメッセージインジケータを変更するには、電話サポートページにログインし、メッセージインジケータの設定にアクセスします。ユーザは、設定のオンとオフを変更できます。</p> <p>管理者も設定を変更できます。</p> |

| 項目 | アクセシビリティ機能 | 説明 |
|----|-------------------------------------|---|
| 2 | 電話機能の状態のビジュアル通知 | <ul style="list-style-type: none"> • [ミュート (Mute)]ボタンと[スピーカフォン (Speaker電話)]ボタンのオンとオフを切り替えて、電話の状態を表示します。 • [ミュート (Mute)]ボタンを使用してマイクフォンのオン/オフを切り替えます。マイクフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。 • [スピーカフォン (Speakerphone)]ボタンを使用してスピーカフォンのオンとオフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。 |
| 3 | 調整可能な呼出音、音の間隔、および音量 | <ul style="list-style-type: none"> • [アプリケーション (Applications)]>[設定 (Preferences)]を選択します。 • 電話機の呼出音の音量レベルを調節します。ハンドセットが受け台に置かれていて、ヘッドセットボタンとスピーカフォンボタンがオフになっている場合に、[音量 (Volume)]ボタンを押すと音量を調節できます。 <p>管理者も設定を変更できます。</p> |
| 4 | インラインアンプのサポート (ハンドセット) | Cisco IP 電話ハンドセットは、サードパーティ製インラインアンプをサポートします。アンプをハンドセットとコードに接続します。アンプはハンドセットと IP 電話の間に配置します。 |
| 5 | Hearing Aid Compatible (HAC) ハンドセット | <p>次のアクセシビリティ機能をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 補聴器対応。 • 補聴器の磁気結合。 • Americans with Disabilities Act (ADA; アメリカ障害者法) に規定された Federal Communications Commission (FCC; 連邦通信委員会) の音量要件。 • セクション 508 音量要件 (業界標準のインラインハンドセットアンプを使用することで準拠可能)。 |

| 項目 | アクセシビリティ機能 | 説明 |
|----|---------------------------------|---|
| 6 | 音響結合 TTY および TDD のサポート (ハンドセット) | <p>Cisco IP 電話は、次の TTY 機能および TDD 機能をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 業界大手メーカー製の音響結合または直接接続の TTY。 • 電話回線を介したリアルタイムのテキスト伝送。 • Hearing Carry Over (HCO) 電話機および Voice Carry Over (VCO) 電話機。 • G.711 で動作する VoIP ネットワーク。 <p>TTY の設定については、管理者にお問い合わせください。</p> |

オンプレミス電話の Webex Calling

電話機には、少しの設定または設定不要で使用できる標準のアクセシビリティ機能が搭載されています。

図 7: 視覚障がい者向けアクセシビリティ機能—Cisco IP 電話 8861



次の表では、Cisco IP 電話 8800 シリーズの視覚障がい者向けアクセシビリティ機能を説明しています。

表 22: 視覚障がい者向けアクセシビリティ機能

| 項目 | アクセシビリティ機能 | 説明 |
|----|---|--|
| 1 | 着信コールの高コントラスト ビジュアルおよびオーディオ アラート | ユーザに着信を知らせます。着信コールの間はハンドセットのライトストリップが点滅し、ボイスメッセージを受信すると点灯したままになります。 |
| 2 | Cisco IP 電話 の回線、機能およびセッション ボタン <ul style="list-style-type: none"> 回線ボタンと機能ボタンは LCD の左側にあります。セッションボタンは LCD の右側にあります。 右から左に読むロケール（アラビア語など）の場合は、セッションボタンが左側にあり、回線ボタンと機能ボタンが右側にあります。 | <p>回線ボタンを使用して、発信、応答、特定回線のコールへの切り替えを実行できます。</p> <p>短縮ダイヤル、回線ステータス、プライバシー、応答不可（DND）、サービス URL などの機能を機能ボタンに割り当てることができます。</p> <p>電話機のプログラマブル機能ボタンは管理者が設定します。</p> <p>セッションボタンを使用して、電話への応答や保留中の通話の再開などの作業を実行します。</p> <p>色による電話のステータス表示：</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑、点灯：アクティブコールまたは双方向のインターコム コール。 緑、点滅：保留中のコール。 オレンジ、点灯：プライバシーが有効、一方方向のインターコムコール、サイレントがアクティブ、またはハントグループにサインイン中。 オレンジ、点滅：着信コールまたは復帰コール。 赤、点灯：リモート回線が使用中（共有電話または回線ステータス）。 赤、点滅：リモート回線が保留中。 |
| 3 | Cisco IP 電話上のバックライト付きカラー LCD 画面 <ul style="list-style-type: none"> Cisco IP 電話 8811 にはグレースケールの LCD が搭載されており、コントラストを調節できます。 | 電話機の画面の明るさを調節できます。 |

| 項目 | アクセシビリティ機能 | 説明 |
|----|--|---|
| 4 | <p>ソフトキー</p> <ul style="list-style-type: none"> • LCD のすぐ下にある大きなボタンです。 | 特別な機能にアクセスできます。機能は LCD 上に表示されます。 |
| 5 | <p>ナビゲーションクラスタ (ナビゲーションリングと [選択 (Select)] ボタンを含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> • ナビゲーションクラスタはキーパッドのすぐ上にあります。 • ナビゲーションクラスタの左側にあるのが戻るボタン • ナビゲーションクラスタの右側にあるのが解除ボタン | <p>ナビゲーションリングを使って、電話機の LCD で上下左右に動かします。ナビゲーションクラスタの中央が [選択 (Select)] ボタンです。</p> <p>前の画面またはメニューに戻るには、戻る ボタンを使用します。</p> <p>通話またはセッションを終了するには、解除 (通話終了) ボタンを使用します。</p> |
| 6 | <p>[メッセージ (Messages)] ボタン、[アプリケーション (Applications)] ボタン、および [連絡先 (Contacts)] ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> • これらの 3 つの大きなボタンはキーパッドの左側にあります。 • このボタングループのうち、上側にある単体のボタンが [メッセージ (Messages)] ボタンです。 [メッセージ (Messages)] ボタンの下の左側が [アプリケーション (Applications)] ボタンで、右側が [連絡先 (Contacts)] ボタンです。 | メッセージ、アプリケーション、および連絡先に簡単にアクセスできます。 |

| 項目 | アクセシビリティ機能 | 説明 |
|----|--|---|
| 7 | <p>[保留 (Hold)]ボタン、[転送 (Transfer)]ボタン、および [会議 (Conference)]ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> これらの3つの大きなボタンはキーパッドの右側にあります。 このグループのうち、上側にある単体のボタンが [保留 (Hold)]ボタンです。 [保留 (Hold)]ボタンの下の左側が [転送 (Transfer)]ボタンで、右側が [会議 (Conference)]ボタンです。 | 電話機でこれらの機能を使用できます。 |
| 8 | <p>音量 キー</p> <ul style="list-style-type: none"> このキーは電話機の左下にあります。 | <p>呼出音やハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカーフォン経由の音の音量を調節できます。</p> <p>音量を上げるには、ロッカーキーの右側を押します。音量を下げるには、ロッカーキーの左側を押します。</p> |
| 9 | 標準の 12 キー レイアウト | 既存または使い慣れているキーポジションを使用できます。5 番キーには突起が付いています。 |

| 項目 | アクセシビリティ機能 | 説明 |
|----|--|--|
| 10 | <p>ヘッドセット、スピーカーフォンおよびミュートボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> これらのボタンは電話機の右下にあります。 このグループのうち、ミュートボタンが一番下の行の単一のボタンです。ミュートボタンの上には、ヘッドセットボタンが左側に、スピーカーフォンボタンが右側にあります。 | <p>電話機の状態を音声で通知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [ヘッドセット (Headset)] ボタン、[ミュート (Mute)] ボタン、および [スピーカーフォン (Speakerphone)] ボタンのオンとオフを切り替えて、電話機の状態を表示できます。 ヘッドセットをオンに切り替えるには、[ヘッドセット (Headset)] ボタンを使用します。ヘッドセットがオンの場合、ボタンが点灯します。ヘッドセットを取り上げるか、または [スピーカーフォン] を押してヘッドセットモードを終了します。 [ミュート (Mute)] ボタンを使用してマイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイクがミュートの場合、ボタンは点灯します。ミュートをオンにすると、電話機でピープ音が1回鳴ります。ミュートをオフにすると、電話機でピープ音が2回鳴ります。 [スピーカーフォン (Speakerphone)] ボタンを使用してスピーカーフォンのオンとオフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。 |

調整可能なフットスタンド

フットスタンドを調整して、電話機ディスプレイを最適な表示角度にし、ボタンやキーにアクセスしやすくなるよう設定できます。

音声フィードバック

音声フィードバックは、視覚障がい者が Cisco IP 電話を使用するのに役立ちます。有効にすると、音声プロンプトが表示され、電話ボタンをナビゲートしたり、電話機能を使用および設定したりできます。音声によっても、発信者 ID、表示された画面や設定、およびボタン機能を読み上げます。

この機能を使用する際に注意すべき重要な項目がいくつかあります。

- 音声フィードバックを有効および無効にするには、ナビゲーションクラスタの中央にある [選択 (Select)] ボタンを使用します。電話機がアイドル状態のとき、この機能をオンまたはオフにするには、[選択 (Select)] を 3 回素早くタップします。音声プロンプトにより、機能のステータスが通知されます。

- ソフトキーを1回押すと、音声フィードバックによりそのキーに関連付けられている機能が読み上げられます。機能を実行するには、ソフトキーを素早く2回押します。
- 連絡先、アプリケーション、およびメッセージのボタンなどのハードキーの扱いは異なります。ハードキーを1回押すと、音声により表示名が読み上げられ、続いて電話機上に表示されたアプリケーションまたは設定が読み上げられます。

ボリュームは **[ボリューム (Volume)]** ボタンで調整されます。ハンドセットのボリュームを調整するには、クレードルから受話器を持ち上げて **[ボリューム (Volume)]** を押します。ヘッドセットを使用する場合は、**ヘッドセット** ボタン、それから **ボリューム** を選択します。スピーカフォンを使用する場合は、**[スピーカフォン (Speakerphone)]** そして **[ボリューム (Volume)]** を選択します。

ヘッドセットボタンを選択していても、ヘッドセットが接続されていなければ音声フィードバックは聞こえません。**[スピーカフォン (Speakerphone)]** を選択して、音声フィードバックを再度聞きます。

通話中は、使用者のみに音声フィードバックが聞こえるため、プライバシーが確保されます。音声フィードバックは、英語でのみ利用できます。この機能を使用できない場合には、お使いの電話機で無効になっています。

関連トピック

[音声フィードバックをアクセシビリティから有効にする](#) (118 ページ)

[音声の速度を調整する](#) (118 ページ)

Webex Calling

電話機には、少しの設定または設定不要で利用できる標準のアクセシビリティ機能が搭載されています。


所有している電話機のモデルをチェックするには、**[アプリケーション (Applications)]**  を押して、**[電話の情報 (Phone information)]** を選択します。**[モデル番号 (Model number)]** フィールドに、電話機のモデルが表示されます。

図 8: 運動障がい者向けアクセシビリティ機能—Cisco IP 電話 8861



次の表では、Cisco IP 電話 8800 シリーズの運動障がい者向けアクセシビリティ機能を説明しています。

表 23: 運動障がい者向けアクセシビリティ機能。

| 項目 | アクセシビリティ機能 | 説明 |
|----|---|--|
| 1 | ライト付きボタン | <p>次の機能にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話回線およびインターコム回線（回線ボタン） • 短縮ダイヤル番号（短縮ダイヤル ボタン、短縮ダイヤル回線ステータス機能を含む） • Web ベースのサービス（個人アドレス帳など） • 電話機能（プライバシーなど） <p>次のように、電話機のステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑、点灯：アクティブ コールまたは双方向のインターコム コール • 緑、点滅：保留中のコール • オレンジ、点灯：プライバシーが有効、一方向のインターコム コール、サイレントがアクティブ、またはハントグループにサインイン中 • オレンジ（点滅）：着信コールまたは復帰コール • 赤、点灯：リモート回線が使用中（共有電話または回線ステータス） |
| 2 | [アプリケーション (Applications)]、[メッセージ (Messages)]、[連絡先 (Contacts)]、[保留 (Hold)]、[転送 (Transfer)]、および[会議 (Conference)]へのアクセスに使用する大きなボタン | 電話機のアプリケーション、ボイスメッセージ、会社や個人の電話帳、および各コール機能に簡単にアクセスできます。 |
| 3 | 内蔵スピーカフォン | スピーカフォンが有効になっているかどうかを示します。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。 |

| 項目 | アクセシビリティ機能 | 説明 |
|----|-----------------------------------|--|
| 4 | 触覚認識によるボタンおよび機能 (5番キーにある突起を含む) | 電話機のキーの位置が簡単にわかります。 たとえば、5番キーには突起があるため、これによって他のキーの位置がわかります。 |

Cisco IP 電話 8800 シリーズ壁面取り付けキットアクセシビリティ

Cisco IP 電話 8800 シリーズは、次のいずれかの壁面取り付けキットを使用して壁に取り付けることができます。

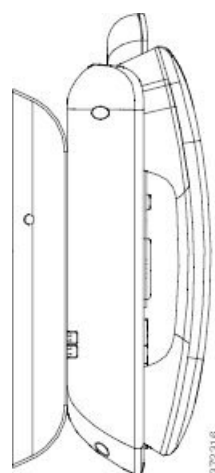
- Cisco IP 電話 8800 シリーズ向け壁面取り付けキット：単一の電話機を壁に取り付けるために使用します。
- 単一 KEM 搭載の Cisco IP 電話 8800 シリーズ向け壁面取り付けキット：キー拡張モジュールが 1 つ搭載された単一の電話機を壁に取り付けるために使用されます。
- Cisco IP 電話 8800 ビデオ シリーズ向け壁面取り付けキット：単一のビデオ電話を壁に取り付けるために使用します。

Cisco IP 電話 8800 向け壁面取り付けキットと単一の KEM を搭載した Cisco IP 電話 8800 シリーズ向け壁面取り付けキットは、電話機の壁面への取り付けについて、アメリカ障がい者法 (ADA) の ADAAG の要件「307.2 Protrusion Limits」の項に準拠しています。

Cisco IP 電話 8800 ビデオ シリーズ向け壁面取り付けキットは少し大きいため、電話機の壁面への取り付けに関するアメリカ障がい者法 (ADA) の ADAAG の要件「307.2 Protrusion Limits」の項に準拠していません。

下の図は、壁面取り付けキットを使用して取り付けられた電話機の側面図を示しています。

図 9: 壁面取り付けキットを使用して取り付けられた電話機の側面図



電話ファームウェアとアップグレード

電話機には、あらかじめファームウェアがインストールされています。これは、通話制御システムに固有のファームウェアです。

管理者が電話機のファームウェアをアップグレードする場合があります。電話機をご使用中の場合でも、このアップグレードがバックグラウンドで行われます。

電話機アップグレードの延期

新しいファームウェアが利用可能になると、電話機に **[アップグレード準備完了 (Ready to upgrade)]** ウィンドウが表示され、タイマーが 15 秒のカウントダウンを開始します。何も操作しなければ、アップグレードが続行されます。

ファームウェアアップグレードは、1 時間延期できます。延期は 11 回まで可能です。また、アップグレードは、コールを発信または着信している際にも延期されます。


手順

電話機のアップグレードを延期するには、**[遅延 (Delay)]** を押します。

電話機ファームウェアアップグレードの進捗状況の確認

電話ファームウェアのアップグレード中に、アップグレードの進行状況を表示できます。

手順

-
- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
 - ステップ 2** **[設定 (Settings)]** を押します。
 - ステップ 3** **[電話の情報 (Phone information)]** > **[詳細の表示 (Show detail)]** の順に選択します。
 - ステップ 4** **[システム情報 (System information)]** を選択して、**[詳細の表示 (Show details)]** を押します。
 - ステップ 5** **[終了 (Exit)]** を押します。
-

省電力

管理者は、次のオプションを使用してユーザの電話機の画面で使用する電力量を減らすことができます。

- 省電力：電話機が一定時間非アクティブ状態になるとバックライトや画面がオフになります。
- Power Save Plus：勤務スケジュールに基づいて設定された時間で、電話スクリーンのオン/オフが切り替わります。勤務時間や勤務日が変更になった場合は、電話機を再設定するよう管理者に依頼してください。

たとえば、管理者は電話スクリーンをオフする 10 分前にアラートを発行するように設定できます。電話機がすぐにオフになり、次の間隔で通知を受信したことを示すメッセージが表示されます。

- 電源オフの 10 分前に 4 回の呼出音
- 電源オフの 7 分前に 4 回の呼出音
- 電源オフの 4 分前に 4 回の呼出音
- 電源オフの 30 秒前に 15 回の呼出音

電話機がアクティブな場合は、電源シャットダウンの通知は電話機が非アクティブになってから設定時間が過ぎた後に実行されます。

電話機の電源を入れる

電話機が省エネのためにオフになっている場合、電話画面は空白になっていて、[選択 (Select)] ボタンが点灯します。

手順

[選択 (Select)] を押して電話機を再度オンにします。

電話回線のモード

電話機は、次のいずれかのモードでセットアップできます。

- 通常回線モード：このモードでは、画面の右と左でボタンの機能が異なります。通常、左側のボタンは回線ボタンで、右側のボタンは機能ボタンです。回線ボタンと機能ボタンの位置は、読み方向が右から左のロケールの場合は左右が逆になります。このモードはセッション回線モードとも呼ばれます。
- 拡張回線モード：このモードでは、画面の左右のボタンをどちらも回線ボタンとして設定できます。拡張回線モードでは、表示して使用できる電話回線が増えます。着信コールに対してアラートが表示されます。

関連トピック

[ソフトキー](#)、[回線ボタン](#)、[機能ボタン](#) (29 ページ)

通常回線モード

電話機を通常（セッション）回線モードに設定した場合は、次の方法で電話機を操作します。

- [発信（New Call）] ウィンドウからコールを発信します。
- 着信アラートが設定されている場合を除き、[応答（Answer）]を押してコールに応答します。着信アラートが設定されている場合は、[応答（Answer）]、[拒否（Decline）]、または[無視（Ignore）]を選択します。
- 5つの回線キーを使用できます。電話機とモバイルデバイスまたはタブレットが Bluetooth で接続されている場合は、4つの回線キーのみを使用できます。

ファームウェアリリース 12.6(1) 導入されたセッションラインモードが向上しました。別の回線を選択しない限り、すべての発信コールがプライマリ回線で処理されるようになります。複数の回線でコールを使用している場合、コールは順番に処理されます。最後のコールが終了すると、電話機はプライマリ回線に戻ります。

[拡張回線モード（Enhanced Line Mode）]

電話機を拡張回線モードに設定した場合は、次の方法で電話機を操作します。

- 電話回線を1つ選択して、電話番号を入力して発信します。履歴リストには、ダイヤルされた番号に類似した電話番号が表示されます。
- コールに対して、[応答（Answer）]、[拒否（Decline）]、または[無視（Ignore）]を押します。
- 10個の回線キーを使用できます。

回線キーを選択することにより、その回線の不在着信を通話ウィンドウで確認することができます。アイドル画面に戻ると、不在着信カウンタがクリアされます。

拡張回線モードの設定方法にもよりますが、通話接続ステータスと回線ラベルが次のいずれかの組み合わせで表示されます。

- 通話をしているユーザの名前と、通話を受信している回線。
- 通話をしているユーザの電話番号と、通話を受信している回線。
- 通話をしているユーザの名前と、ユーザの電話番号。
- 通話をしているユーザの電話番号。

転送されたコールも識別されます。

追加のヘルプと情報

電話機で利用可能な機能について不明な点がある場合は、管理者にお問い合わせください。

シスコ Web サイト (<https://www.cisco.com>) には、電話機およびコール制御システムについての詳細情報が掲載されています。

- クイック スタート ガイドおよびエンドユーザー ガイド (英語) については、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-8800-series/products-user-guide-list.html>

- 英語以外のガイドについては、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-8800-series/tsd-products-support-translated-end-user-guides-list.html>

- ライセンス情報については、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-8800-series/products-licensing-information-listing.html>

アクセシビリティ機能

Cisco IP 電話は、視覚障がい者、聴覚障がい者、身体障がい者のために、ユーザ補助機能を備えています。

これらの電話機のアクセシビリティ機能の詳細については、<http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-8800-series/products-technical-reference-list.html>を参照してください。

アクセシビリティの詳細については、次のシスコ ウェブ サイトにも記載されています。

<http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html>

トラブルシューティング

次のシナリオに関連した問題が発生する可能性があります:


- 電話機が通話制御システムと通信できない。
- 通話制御システムで通信または内部の問題が発生している。
- 電話機内部で問題が発生している。

問題が発生した場合は、管理者の支援のもとで問題の根本原因をトラブルシューティングすることができます。

Webex Calling 電話に関する情報の検索

管理者から、電話機についての情報を提供するように求められることがあります。この情報は、トラブルシューティングの目的で電話機を一意に識別します。

手順

- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
- ステップ 2 [システム情報 (System information)] を選択します。
- ステップ 3 [電話の情報 (Phone information)] を選択します。
- ステップ 4 (任意) [詳細の表示 (Show detail)] を押すと、アクティブなロード情報が表示されます。
- ステップ 5 [終了 (Exit)] を押します。

通話品質の問題を報告する

パフォーマンスに関する問題のトラブルシューティングに役立てるために、管理者により一時的に、電話機に品質レポートツール (QRT) が設定されることがあります。設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールの音声に関する問題をすぐにレポートします。
- カテゴリのリストから一般的な問題を選び、理由コードを選択します。


手順

- ステップ 1 [品質のレポート (Report quality)] を押します。
- ステップ 2 スクロールして発生した問題に最も近い項目を選択します。
- ステップ 3 選択ソフトキーを押すと、システム管理者に情報が送信されます。

電話機のすべての問題を報告する

Cisco Collaboration Problem Report Tool (PRT) を使用すると、通話記録を収集および送信し、管理者に問題を報告できます。PRT アップロードが失敗したというメッセージが表示された場合、問題レポートが電話機に保存されるため、管理者に連絡する必要があります。

手順

- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
- ステップ 2 [電話の情報 (Phone information)] > [問題の報告 (Report problem)] を選択します。

- ステップ3 [設定 (Settings)] > [システム情報 (System information)] > [問題の報告 (Report problem)] を選択します。
- ステップ4 [問題の発生日付 (Date of problem)] および [問題の発生時刻 (Time of problem)] フィールドに、問題が発生した日時を入力します。
- ステップ5 [問題の説明 (Problem description)] を選択します。
- ステップ6 表示されるリストから説明を選択して、[送信 (Submit)] を押します。
-

電話機の接続の切断

電話機が電話のネットワークと接続していない場合があります。この接続が失われると、電話機にメッセージが表示されます。

アクティブコール中に接続が失われた場合、その通話は継続します。ただし、一部の電話機の機能は通話制御システムからの情報を必要とするため、通常の全ての機能にアクセスできるわけではありません。たとえば、想定どおりにソフトキーが機能しないことがあります。

電話機が通話制御システムに再接続すると、電話機を再び通常どおりに使用できるようになります。

Cisco 製品 (ハードウェア) に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、[製品保証](#)で提供しています。







第 2 章

通話



- オーディオパスの選択 (55 ページ)
- コールの発信 (56 ページ)
- ホットライン電話で発信する (62 ページ)
- コールへの応答 (63 ページ)
- コールをスパムとしてマークする (68 ページ)
- ビデオ通話 (70 ページ)
- コールのミュート (72 ページ)
- コールの保留 (73 ページ)
- コールの転送 (77 ページ)
- 別の担当者にコールを転送する (77 ページ)
- 電話会議とミーティング (78 ページ)
- インターコム コール (80 ページ)
- 通話の監視と録音 (81 ページ)
- 優先コール (82 ページ)
- 複数の回線 (84 ページ)
- モバイル デバイスとデスクの電話機 (88 ページ)
- ボイスメール (96 ページ)

オーディオパスの選択

コールを発信または受信すると、オーディオパスは、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンのいずれかで最後に使用されたデバイスに移動します。次のリストは、各シナリオを説明しています。

- 電話をかけたり電話に出るときにハンドセットを持ち上げると、**ヘッドセット**  または **スピーカフォン**  を選択するまで、すべての通話がハンドセットにルーティングされます。
- 電話をかけるときや電話に出るときに**ヘッドセット**  を選択すると、ハンドセットを持ち上げたり、**スピーカフォン**  を選択するまで、すべてのコールがヘッドセットにルーティングされます。

管理者がヘッドセットを電話機のオーディオパスとして設定している場合には、ハンドセットを取り外してヘッドセットを使用することができます。これは、ヘッドセットの利便性を好む人にとって理想的です。ただし、初めてコールを処理するときには、引き続き**ヘッドセット**を選択する必要があります。

- 電話をかけるときや電話に出るときに**スピーカーフォン**  を選択すると、ハンドセットを持ち上げたり、**ヘッドセット**  を選択するまで、すべてのコールがスピーカーフォンにルーティングされます。

関連トピック

[ボタンとハードウェア](#) (26 ページ)

コールの発信

電話機は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話を発信できます。

電話をかける

お使いの電話機を他の電話機と同じように使用して電話します。


手順

-
- ステップ 1** 番号を入力してハンドセットを持ち上げます。
 - ステップ 2** 電話番号を入力して、**[通話 (Call)]** を押します。
-

スピーカーフォンによるコールの発信

ハンズフリー通話にはスピーカーフォンを使用してください。同僚達にもあなたの通話が聞こえる可能性がある事ことに注意してください。


手順

-
- ステップ 1** キーパッドを使用して番号を入力します。
 - ステップ 2** **[スピーカーフォン (speakerphone)] ボタン**  を押します。
-

標準ヘッドセットを使用したコールの発信

ハンズフリー通話にヘッドセットを使用すると、同僚の邪魔にならず、プライバシーも確保できます。

手順

- ステップ1 ヘッドセットを差し込みます。
- ステップ2 キーパッドを使用して番号を入力します。
- ステップ3 [ヘッドセット (Headset)]  を押します。

電話またはビデオのアドレスを使用した通話

電話番号だけではなく、電話またはビデオのアドレスを使用してコールを発信することもできます。

このアドレスは、**username1@example.com** のように電子メールアドレスに似ているか、**username2@209.165.200.224** のように数字が含まれている場合もあります。

発信元と通話相手の両方でビデオ電話機を使用すれば、互いの顔を見ながら通話できます。

手順

- ステップ1 [発信 (New Call)] を押します。
- ステップ2 [ABC] を押すと、キーパッドを使用してテキストを入力できます。
- ステップ3 キーパッドのいずれかの数字を押して使用可能なオプションを表示し、再度その数字を押してオプションから選択します。
たとえば、[1] を 3 回押すと @ 記号を入力できます。
- ステップ4 [通話] を押します。

番号のリダイヤル

最後にダイヤルした電話番号をもう一度発信できます。

手順

- ステップ1 (任意) 回線を選択します。

ステップ2 [リダイヤル (Redial)] を押します。

スピードダイヤル

頻繁に通話する相手の番号をすばやくダイヤルするために、ボタンまたはコードを割り当てることができます。短縮ダイヤル機能を使用する前に、セルフケアポータルまたはお使いの電話機で短縮ダイヤルボタンを構成してください。電話機から構成された短縮ダイヤルボタンは、セルフケアポータルには表示されません。

頻繁に通話する相手の番号をすばやくダイヤルするために、コードを割り当てることができます。短縮ダイヤル機能を電話機で使用する前に、セルフケアポータルで短縮ダイヤルを設定してください。短縮ダイヤルコードを使用すると、コードを入力して電話番号をダイヤルできます（「短縮ダイヤル」と呼ぶ場合もあります）。

電話機の設定に応じて、次のような機能がサポートされます。

- 短縮ダイヤルボタン：短縮ダイヤル用に設定された1つ以上の回線ボタンから、すばやく電話番号をダイヤルできます。
- 短縮ダイヤルコード：コード（短縮ダイヤルとも呼ぶ）から電話番号をダイヤルできます。

関連トピック


[セルフケアポータル](#) (24 ページ)

[短縮ダイヤル番号](#) (25 ページ)

短縮ダイヤル ボタンを使用したコールの発信

電話機の各モデルには、電話機の機能で利用可能な特定の回線数があります。各機能が1つの回線で機能する必要があるため、すべての回線を短縮ダイヤル番号で利用できるわけではありません。一部の回線は他の機能に使用されている場合があります。利用できる回線以上の短縮ダイヤル番号を追加した場合、残りの短縮ダイヤル番号は電話機に表示されません。


たとえば、10個の短縮ダイヤル番号を追加した場合、利用できる電話機の回線が7回線だとすれば、電話機には、7個の短縮ダイヤル番号しか表示されません。

所有している電話機のモデルをチェックするには、[アプリケーション (Applications)]  を押して、[電話の情報 (Phone information)] を選択します。[モデル番号 (Model number)] フィールドに、電話機のモデルが表示されます。

始める前に

セルフ ケア ポータルで短縮ダイヤル コードを設定します。

手順

短縮ダイヤル ボタン  を押します。

関連トピック

[セルフケア ポータル](#) (24 ページ)

短縮ダイヤルコードを使用して発信

始める前に

セルフ ケア ポータルで短縮ダイヤル コードを設定します。

手順

ステップ 1 [短縮ダイヤル (Speed Dial)] コードを入力し、[短縮ダイヤル (Speed Dial)] を押します。

ステップ 2 短縮ダイヤルコードを入力し、[短縮ダイヤル (Abbr dial)] を押します。

関連トピック

[セルフケア ポータル](#) (24 ページ)

ファストダイヤル ボタンを使用したコールの発信

始める前に

パーソナル ディレクトリでファストダイヤル コードを設定する必要があります。

手順

ステップ 1 [ファスト ダイヤル (FastDial)] を押します。

ステップ 2 [パーソナル ディレクトリ] にログインします。

ステップ 3 [個人ファストダイヤル (Personal Fast Dials)] を選択します。

ステップ 4 ファストダイヤルコードを選択して、[ダイヤル (Dial)] ソフトキーを押します。

関連トピック

[ファスト ダイヤル コードの連絡先への割り当て](#) (103 ページ)

電話機から短縮ダイヤル ボタンを追加する

セルフケアポータルに加えて、電話機から短縮ダイヤル ボタンを設定することができます。ただし、電話機から設定された短縮ダイヤルボタンはセルフケアポータルに表示されません。

この機能は、Cisco IP 電話 8800 シリーズおよび次のキー拡張モジュールでサポートされています。

- Cisco IP 電話 8800 キー拡張モジュール
- Cisco IP 電話 8851、8861 キー拡張モジュール
- Cisco IP 電話 8865 キー拡張モジュール

[すべてリセット (Reset All)] は、電話機から作成した短縮ダイヤル ボタンをすべて消去します。

手順

- ステップ 1 回線キーを 2 秒間押し続けます。
- ステップ 2 [名前 (Name)] フィールドに、短縮ダイヤル番号の名前を入力します。
- ステップ 3 [番号 (Number)] フィールドに電話番号を入力します。発信するために必要なすべての数字を含めます。
- ステップ 4 [適用 (Apply)] を選択して、短縮ダイヤル番号を保存します。

関連トピック

[セルフケア ポータル \(24 ページ\)](#)

電話機から短縮ダイヤル ボタンを変更する

セルフケアポータルにアクセスできない場合、電話機を使用して短縮ダイヤルボタンを変更または編集できます。セルフケアポータルで作成した短縮ダイヤル ボタン、または管理者により Cisco Unified Communications Manager で作成された短縮ダイヤル ボタンには適用されません。

手順

- ステップ 1 回線キーを 2 秒間押し続けます。
- ステップ 2 [名前 (Name)] フィールドに、必要に応じて短縮ダイヤル番号の新しい名前を入力します。
- ステップ 3 [番号 (Number)] フィールドに、必要に応じて新しい電話番号を入力します。発信するために必要なすべての数字を含めます。
- ステップ 4 [適用 (Apply)] を選択して、短縮ダイヤル番号を保存します。

電話機から短縮ダイヤル ボタンを削除する

電話機を使用して、短縮ダイヤル ボタンを削除できます。この方法は、短縮ダイヤル ボタンを電話機から追加した場合のみ機能します。セルフケアポータルから追加した短縮ダイヤル

ボタン、または管理者により Cisco Unified Communications Manager から追加された短縮ダイヤル ボタンには適用されません。

手順

-
- ステップ1 回線キーを2秒間押し続けます。
 - ステップ2 [削除 (Delete)] を選択します。
 - ステップ3 [はい (Yes)] を選択して、選択内容を確定します。
-

国際番号のダイヤル

電話番号の前にプラス記号 (+) を付けると、国際電話をダイヤルできます。

手順

-
- ステップ1 アスタリスク (*) を1秒間以上押したままにします。
電話番号の先頭にプラス (+) 記号が表示されます。
 - ステップ2 電話番号を入力します。
 - ステップ3 [通話 (Call)] を押す、または最後にキーを押した後に10秒待つ事で自動的に通話を挿入します。
-

連絡先が対応可能な場合の通知

コールを発信しても相手の回線がビジー状態の場合、または相手が応答しない場合、相手が通話可能になったときに特殊な呼出音とメッセージで通知を受け取ることができます。

手順

-
- ステップ1 話中音または呼出音が聞こえているときに、[コールバック (Callback)] を押します。
 - ステップ2 確認画面を終了するには、[終了 (Exit)] を押します。
 - ステップ3 相手が通話可能になったことを示す呼出音が聞こえてメッセージが表示されたら、[コール (Call)] を押して再びコールを発信します。
-

課金コードまたは承認コードを必要とするコール

電話番号をダイヤルした後に課金コードまたは承認コード（または両方のコード）を入力するよう、管理者が要求する場合があります。クライアント識別コードと呼ばれる課金コードは、アカウントリングや請求の目的で使用されます。強制承認コードと呼ばれる承認コードは、特定の電話番号へのアクセスを制御します。

課金コードが必要な場合、電話に「クライアント識別コードの入力」というメッセージが表示され、ダイヤルした番号が「*****」に変更されて、特殊なトーンが聞こえます。

請求コードが必要な場合、電話機に「クライアント識別コードの入力」というメッセージが表示されます。請求コードを入力します。電話機に入力した請求コードが表示され、特殊なトーンが聞こえます。

承認コードが必要な場合、電話に「承認コードを入力してください」というメッセージが表示され、ダイヤルした番号が「*****」に変更されて、特殊なトーンが聞こえます。セキュリティ上の理由から、入力した番号の代わりに「*」が電話機に表示されます。

課金コードと承認コードの両方が必要な場合、まず承認コードを入力するよう求められます。次に、課金コードを入力するよう求められます。

関連トピック

[短縮ダイヤル番号](#) (25 ページ)

安全なコール

社外の人物による不正な改ざんからコールを保護するために、管理者は措置を講じることができます。通話中にロックアイコンが表示されている場合、通話は安全です。電話機の設定によっては、発信する前またはハンドセットからセキュリティトーンが流れる前にサインオンする必要があります。

ホットライン電話で発信する

一部の職場には、緊急通話やホットライン通話を目的とした電話機があります。これらの電話機は、受話器を持ち上げたときに指定された番号に自動的に発信し、エレベーター、ホテルのロビー、セキュリティブースなどに一般的に使用されています。

多くのホットライン電話では、電話番号をダイヤルできません。それらは、単一の電話番号に発信するための専用電話機です。ただし、一部のホットライン電話では、発信することができます。この機能が設定されている場合、発信するまでの時間が最大 15 秒あります。発信しなければ、自動的にホットライン番号につながります。

手順

ステップ 1 受話器を持ち上げ、発信音が鳴るのを待ちます。

ステップ2 (任意) 電話番号をダイヤルします。

コールへの応答

Cisco 電話は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話に応答できます。

コールに応答する

手順

呼出音が鳴ったら、点滅している回線ボタンを押して応答します。

コール待機への応答

アクティブコール中に別のコールがあると、ビープ音が1回鳴り、回線ボタンが点滅します。

手順

ステップ1 回線ボタンを押します。

ステップ2 (任意) 複数のコール ウェイティングが発生した場合は、着信コールを選択します。

コールの拒否

呼び出し中の着信コールをボイスメールシステム（設定されている場合）に送信できます。設定されていないと、コールは拒否され、発信者にはビジー トーンが再生されます。

手順

ステップ1 次のいずれかの操作を実行して、コールを拒否します。

- [拒否 (Decline)] を押します。
- 複数の着信がある場合、該当の着信を強調表示して、[拒否 (Decline)] を押します。

ステップ2 [拒否 (Decline)] を押します。

コールの無視

電話に出たくない場合に、着信コールを無視する機能があります。その場合、コールはボイスメールに転送されます。

手順

次のいずれかの操作を実行して、コールを無視します。

- [無視 (Ignore)] を選択します。
 - [音量 (Volume)] を下に一度押すと、呼び出し中の着信コールがサイレントになり、着信コールはボイスメールまたは設定済み電話番号に転送されます。
-

応答不可をオンにする

電話に出たくない場合は、サイレント (DND) を使用して電話機をサイレントにし、着信コール通知を無視します。

DND をオンにすると、着信コールはボイスメールなどの別の番号 (設定されている場合) に転送されます。

DND がオンの場合、電話画面のヘッダーセクションの色が変わり、[サイレント (Do not disturb)] が電話画面に表示されます。

DND をオンにすると、その電話機のすべての回線が対象となります。ただし、DND がオンになってもインターコムコールと緊急通話は常に受信します。

Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) が電話機に設定されている場合、DND がオンになっても、プライオリティコールは特殊な呼出音で電話を呼び出します。

手順

- ステップ 1** [応答不可 (Do not disturb)] を押すと、DND がオンになります。
 - ステップ 2** 再び [応答不可 (Do not disturb)] を押すと、DND がオフになります。
 - ステップ 3** DND をオフにするには、[DND をオフにする (Turn off DND)] を押します。
-

同僚の電話機に応答する (コール ピックアップ)

同僚との間でコール処理タスクを共有している場合、同僚の電話機に着信しているコールに応答することができます。まず、管理者が少なくとも1つのコールピックアップグループにユーザを割り当てる必要があります。

グループ内のコールに应答する（ピックアップ）

自分のコールピックアップグループ内の別の電話機で鳴っているコールに应答することができます。ピックアップ対象のコールが複数ある場合、呼び出し時間が最も長いコールに应答することになります。

手順

- ステップ1** （任意） 回線ボタンを押します。
- ステップ2** 自分のピックアップグループ内の着信コールを自分の電話機に転送するには、[ピックアップ (PickUp)] を押します。
- ステップ3** コールが鳴ったら [应答 (Answer)] を押してコールに接続します。

別のグループからのコールへの应答（グループピックアップ）

グループピックアップを使用すれば、コールピックアップグループ以外の電話機でコールに应答することができます。グループピックアップ番号を使ってコールをピックアップすることも、鳴っている電話回線の番号を使用することもできます。

手順

- ステップ1** （任意） 回線ボタンを押します。
- ステップ2** [グループピックアップ (Group PickUp)] を押します。
- ステップ3** 次のいずれか1つの処理を実行します。
 - ピックアップしたいコールがある電話回線の番号を入力します。
たとえば、コールが回線 12345 で鳴っている場合は、**12345** を入力します。
 - グループピックアップ番号を入力します。
 - [短縮ダイヤル (Speed dials)] を押し、短縮ダイヤル番号を選択します。ナビゲーションクラスタを使用して、短縮ダイヤルウィンドウ内を上下に移動し、短縮ダイヤル番号を選択します。
- ステップ4** コールが鳴ったら [应答 (Answer)] を押してコールに接続します。

関連するグループからのコールの应答（その他のピックアップ）

手順

- ステップ1** （任意） 回線ボタンを押します。

ステップ2 [ピックアップ (PickUp)]を押して、ピックアップグループ内または電話機に関連付けられたグループ内のコールに応答します。

ステップ3 コールが鳴ったら、[応答 (Answer)]を押してコールに接続します。

ハントグループ内のコールへの応答

ハントグループにより、多数の着信通話がある組織は通話の負荷を分配できます。管理者はいくつかの電話番号を含むハントグループを設定します。ハントグループに対して管理者が指定したハントシーケンスに基づいて、呼出音が鳴ります。ハントグループのメンバーは、コールを受けるときにハントグループにサインインします。電話機でコールの着信音を鳴らさないようにするには、グループからサインアウトします。

ハントグループの設定方法に応じて、次の情報がコールアラートに表示される場合があります。

- 通話を受信する回線。
- 着信用の電話番号。
- ハントグループ名またはパイロット番号。

始める前に

ハントグループコールを受信するには、ハントグループにサインインする必要があります。

手順

手元の電話機でハントグループの通話が鳴ったら、応答します。

ハントグループへのログインとハントグループからのログアウト

ハントグループからログアウトして、ハントグループからのコールの着信を停止します。直接かかってくるコールについては、引き続き着信できます。

手順

ステップ1 [ハントグループ (Hunt Group)]を押してログインします。

ステップ2 [ハントグループ (Hunt Group)]をもう一度押してログアウトします。

ハントグループでの通話キューの表示

ハントグループキューのステータスを確認するには、キュー統計情報を使用できます。キューステータス表示には、次の情報が含まれます。

- ハントグループが使用する電話番号
- 各ハントグループのキューに入っている発信者数
- 最大待機時間

手順

-
- ステップ 1** [キューのステータス (Queue Status)] を押します。
 - ステップ 2** 統計情報の表示を更新するには、[更新 (Update)] を押します。
 - ステップ 3** [終了 (Exit)] を押します。
-


コールに自動応答する

コールに自動応答するよう電話機がセットアップされている場合は、電話機が鳴ったときに何も操作をする必要はありません。呼出音が1回鳴った後に、スピーカーフォンを使用してコールに自動的に接続されます。

ヘッドセットを使用してコールに応答したい場合は、先にヘッドセットのセットアップを行ってください。

スピーカーフォンでコールに自動応答していて、コールをヘッドセットに変更すると、次の着信コールはヘッドセットで自動応答します。ヘッドセットでコールに自動応答していて、コールをスピーカーフォンに変更すると、次の着信コールはスピーカーフォンで自動応答します。自動応答により、コールに確実に応答できます。以前のコールに使用した場所は変更されません。

手順

-
- ステップ 1** ヘッドセットを電話機に取り付けます。
 - ステップ 2** [ヘッドセット (Headset)] ボタン  が点灯することを確認します。
 - ステップ 3** 電話機が着信コールに自動応答したら、ヘッドセットを使用して相手と通話します。

ヘッドセットをもう使用したくない場合には、ハンドセットを持ち上げると、ヘッドセットモードが終了します。

不審なコールのトレース

迷惑電話や嫌がらせ電話を受信した場合、迷惑呼ID (MCID) を使用して管理者に通知することができます。コールについての情報を含むサイレント通知メッセージが電話機から管理者に送られます。

手順

[発信者のレポート (Report caller)]を押します。

コールをスパムとしてマークする

スパムのマーク機能を使用すると、受信した不要な電話コールの数を減らすことができます。この機能を使用して、電話番号を不正なコールまたは電話勧誘業者のコールのいずれかとして指定します。コールを不正としてマークした場合、そのコールは拒否され、その番号は再度のコールによってブロックされます。コールを電話勧誘業者としてマークした場合、以降、そのコールはユーザに着信します。ただし、この番号からのコールは、最近の履歴の着信コールアラートに電話勧誘業者 (Telemarketer) という用語を表示し、その隣にアイコンを表示します。

管理者はこの機能を有効または無効にできます。無効にすると、ソフトキーは表示されず、スパムリストは空になり、表示や追加はできません。この機能が有効な状態で、管理者が無効にした場合、電話機はスパムリストを削除します。

設定 (Settings) メニューからスパムコールリストの表示や編集ができます。スパムコールリストには最大 150 コールまで表示できます。

不要なアクティブコールをマークする

最近のコールを不正なコールとしてマークしたり、電話勧誘業者コールとしてマークできます。これにより、不要なコールの数を減らすことができます。スパムコールリストには最大 150 コールまで表示できます。150 以上のコールを追加することはできませんが、リストには表示されません。

手順

ステップ 1 通話中に**スパムをマーク** を押します。

ステップ 2 電話番号に対するステータスを選択します。

- 潜在的詐欺: この番号からの着信コールは拒否され、再度コールされるとブロックされます。

- 電話勧誘業者 (Telemarketer): この番号からの着信コールの呼び出し音が鳴ります。ただし、この番号からのコールは、最近の履歴の着信コールアラートに電話勧誘業者 (Telemarketer) という用語を表示し、その隣にアイコンを表示します。

ステップ3 [適用 (Apply)] を押します。

不要なビデオ通話をマークする

アクティブなビデオコールを、詐欺または電話勧誘業者 (telemarketer) としてマークできます。これにより、不要なビデオ通話の数を減らすことができます。

手順

ステップ1 ビデオ通話中はコールリストを押します。

ステップ2 スпамをマークを押します。

ステップ3 電話番号に対するステータスを選択します。

- 潜在的詐欺: この番号からの着信コールは拒否され、再度コールされるとブロックされます。
- 電話勧誘業者 (Telemarketer): この番号からの着信コールの呼び出し音が鳴ります。ただし、この番号からのコールは、最近の履歴の着信コールアラートに電話勧誘業者 (Telemarketer) という用語を表示し、その隣にアイコンを表示します。


ステップ4 [適用 (Apply)] を押します。

不要な最近のコールをマークする

最近のコールを不正なコールとしてマークしたり、電話勧誘業者コールとしてマークできます。次回のコール着信時には、不正なコールはブロックされます。電話勧誘業者コールの呼び出し音が鳴ります。ただし、この番号からのコールは、最近の履歴の着信コールアラートに電話勧誘業者 (Telemarketer) という用語を表示し、その隣にアイコンを表示します。

スパムコールリストには最大 150 コールまで表示できます。150 以上のコールを追加することはできませんが、リストには表示されません。

手順

ステップ1 アプリケーション  を押します。

ステップ2 受信者を選択します。

電話機がアイドル状態の場合、ナビゲーションクラスタを押し上げることによって最近の通話リストを表示できます。

ステップ 3 ナビゲーションクラスタを使用して、最近のコールのリストから電話番号を選択します。

ステップ 4 **スパムをマーク**を押します。

ステップ 5 電話番号のフラグを選択します。


- 潜在的詐欺: この番号からの着信コールがブロックされます。
- [電話勧誘業者 (Telemarketer)]: この番号からの着信コールには、着信コールアラートに電話勧誘業者という用語が表示され、その横にアイコンが表示されます。

ステップ 6 [適用 (Apply)] を押します。

マークされたコールの削除または編集

ステータスを変更する場合は、マークされているコールを編集します。また、スクリーニングまたはブロックされないようにスパムコールリストのコールを削除できます。

手順

ステップ 1 アプリケーション  を押します。

ステップ 2 **設定 > 迷惑メールリスト**を選択します。

ステップ 3 ナビゲーションクラスタを使用して、コールに移動して選択します。

ステップ 4 コールステータスを変更します。

- **スパムのアンマーク**を押して発信を削除します。[警告 (warning)] ウィンドウで、**削除 (Delete)**を押します。
- **編集 (Edit)**を押してフラグを変更します。[適用 (Apply)] を押します。

ビデオ通話

Cisco IP 電話 8845、8865、および 8865NR は、内蔵ビデオカメラを使ったビデオ コールをサポートします。

カメラのシャッターを開くことにより、音声コールをビデオ コールにすることができます。

関連トピック

[ビデオ設定](#) (116 ページ)

ビデオコールの発信



(注) MPP デバイス間 Webex Calling ビデオコールは、社内のコールに制限されます。自分のサイト内の他の人への通話や他の場所への通話が含まれます。

Cisco IP 電話 8845、8865、および 8865NR は、ビデオ コールをサポートします（ただし、通話相手もビデオ電話機を持っている場合）。カメラ外側のリングでシャッターを制御します。

手順

- ステップ 1** カメラのリングを時計方向に回して、シャッターを開きます。
- ステップ 2** （任意）[セルフビュー（Self-view）] を押してカメラを上下に動かし、視野を改善します。
- ステップ 3** コールを発信します。

ビデオの停止

ビデオ コール中に、カメラによるビデオ送信を停止することができます。カメラ外側のリングでシャッターを制御します。シャッターを閉じると通話相手から見えなくなりますが、音声は引き続き聞こえます。

シャッターを閉じても、通話相手からのビデオの受信は継続されます。

通話中の 2 人がカメラのシャッターを閉じると、通話が音声通話になります。

手順

- ステップ 1** シャッターリングを反時計方向に回してカメラのシャッターを閉じ、ビデオの共有を停止します。
- ステップ 2** シャッターリングを時計方向に回してカメラのシャッターを開き、ビデオを再度共有します。

電話機表示とビデオ表示の切り替え

ビデオコール中に電話機のデスクトップを表示する場合は、ビデオとデスクトップを簡単に切り替えることができます。ビデオを非表示にすると、ぼやけた状態になりバックグラウンドに移動します。

手順

ステップ1 ビデオを非表示にするには、[ビデオの非表示 (Hide video)] を押します。

ステップ2 ビデオを表示にするには、[ビデオの表示 (Show video)] を押します。

ピクチャーインピクチャーの位置を調整する

ビデオコール中は、着信ビデオと送信ビデオを同時に見ることができます。これはピクチャーインピクチャー (PiP) と呼ばれます。通常、着信ビデオは全画面で表示され、はめ込み画面にお使いのカメラのビデオが表示されます。

PiPがオンの場合、はめ込みピクチャを画面の他の場所に移動できます。カメラの映像が画面全体に表示され、はめ込み画面に着信ビデオが表示されるように変更することもできます。

手順

ステップ1 [PiP] を押すと PiP がオンになります。

ステップ2 再び [PiP] を押すと、電話画面で PiP (ピクチャーインピクチャー) ウィンドウが反時計回りに移動します。

ウィンドウがデフォルトの右下の位置に戻ると、PiP は自動的にオフになります。

ステップ3 (任意) [切替 (Swap)] を押すと、全画面表示と PiP 表示が切り替わります。

ビデオ通話とセキュリティ

社外の人物による不正な改ざんからビデオコールを保護するために、管理者は措置を講じることができます。ビデオコール中に[保護済み (Secure)] アイコンが表示される場合、プライバシーを保護するよう管理者が操作を行ったことを示しています。

関連トピック

[安全なコール](#) (62 ページ)


コールのミュート


通話中に音声をミュートすると、自分の声が相手に聞こえず、相手の声だけを聞くことができます。

ビデオ電話の場合は、音声をミュートしても、カメラはビデオを送信し続けます。

通話音声がミュートになっているとき、LED バーは赤色に点灯します。

手順

ステップ1 [ミュート (Mute)]  を押します。

ステップ2 電話機の [ミュート (Mute)]  を押すか、拡張マイクの [ミュート (Mute)]  を押します。

拡張マイクのミュート (Mute) を押すと、電話とすべてのマイク音がミュートになります。

ステップ3 再度 [ミュート (Mute)] を押すと、ミュートはオフになります。

コールの保留

コールを保留にする

アクティブ コールを保留にして、いつでも再開できます。

アクティブ コールを保留にして、いつでも再開できます。ビデオ コールを保留にした場合は、コールを再開するまで、ビデオ伝送がブロックされます。

手順

ステップ1 [保留]  ボタンを押します。

ステップ2 [保留] ボタンを押します。

ステップ3 保留中の通話を再開するには、もう一度 [保留 (Hold)] を押します。

ステップ4 保留中の通話を再開するには、[再開 (Resume)] を押します。

長時間にわたって保留されているコールに応答する

保留状態が長くなると、次のようなキューによる通知が表示されます。

- 1 回の呼出音 (一定間隔で繰り返す)
- オレンジ色に点滅する回線ボタン
- 受話器上で点滅するメッセージ インジケータ
- 点滅するLEDバー
- 電話スクリーン上の視覚的な通知

手順

オレンジ色に点滅している回線ボタンを押すか、[応答]を押して、保留中の通話を再開します。

アクティブコールと保留コールの切り替え

アクティブコールと保留中の通話の間を簡単に切り替える事ができます。

手順

[切替 (Swap)] を押して、保留コールに切り替えます。

コールパーク

電話を使用して通話をパーク保留にすることができます。その後、自身の電話機または別の電話機（同僚のデスクや会議室にある電話機など）からその通話を受けられます。

コールをパークするには、コールパークとダイレクトコールパークの2つの方法があります。電話機で使用可能なコールパークの種類は1つのみです。

電話を使用して通話をパーク保留にすることができます。

パーク保留された通話は、忘れないようにネットワークによって監視されます。コールがパーク保留状態になっている時間が長すぎる場合、アラートが発せられます。その後、元の電話で応答、拒否、または無視することができます。引き続き、別の電話機から通話を受けることもできます。

所定の時間内にコールに応答しない場合、管理者が設定した別の接続先（ボイスメールまたはその他の宛先）に通話がルーティングされます。

パークされたコールが1回線を占有するかを設定できます。

コールパークを使用してコールを保留にする

電話機で応答したアクティブコールをパークした後、コール制御システム内の他の電話機を使ってそのコールを取得することができます。

コールパーク番号にパークできるコールの数は1つだけです。

管理者は、次の2つの方法のいずれかを使用してコールパークを設定できます。

- パークコールが電話機画面に表示され、[再開 (Resume)] を押すと通話を再開できます。パークコールの回線番号が回線に表示されます。

- パーク コールの回線番号がポップアップ ウィンドウに表示されます。回線がアイドル状態になります。この場合、回線をダイヤルして、パーク コールをピックアップします。

始める前に

コールがアクティブでなければなりません。

手順

ステップ 1 [パーク (Park)] を押した後、電話を切ります。

ステップ 2 (任意) パークされた番号を、コールに応答すべき担当者に伝達します。

コールパークを使用して保留中コールを取得する

コールパークは、次の 2 つの方法で設定できます。

- パークされた通話は電話機に表示され、ユーザが応答できます。
- ユーザは通話に応答するために表示された番号をダイヤルする必要があります。

Cisco Unified Communications Manager の [コールパーク (Call Park)] の [専用 1 回線 (Dedicated one line)] フィールドを設定して、この機能を有効または無効にします。デフォルトでは、この機能は有効です。

始める前に

コールのパークに使用された番号が必要です。

手順

通話がパークされたときの番号を入力して通話を取得します。

補助付きダイレクト コールパークを使用してコールを保留状態にする

専用のコールパーク番号を使用してアクティブコールをパークしたり、取得したりできます。補助付きダイレクトコールパークでは、ボタンを使用してアクティブコールをパークします。管理者は、ボタンを短縮ダイヤル回線として設定します。このタイプのダイレクト コールでは、回線ステータスインジケータを使って回線のステータス (使用中またはアイドル状態) をモニタできます。

手順

アイドル回線ステータスインジケータを示す回線に対して[BLFダイレクトコールパーク (BLF Directed Call Park)]を押すと、補助付きダイレクトコールパークになります。

補助付きダイレクトコールパークを使用して保留中コールを取得する


手順

[BLFダイレクトコールパーク (BLF Directed Call Park)]を押します。

手動ダイレクトコールパークを使用してコールを保留状態にする

専用のコールパーク番号を使用してアクティブコールをパークしたり、取得したりできます。手動ダイレクトコールパークを使用すると、管理者が設定したダイレクトコールパーク番号にアクティブコールを転送できます。

手順

- ステップ1 [転送]  を押します。
 - ステップ2 必須: ダイレクトコールパーク番号を入力します。
 - ステップ3 必須: もう一度 [転送 (Transfer)] を押して、コールをパークします。
-

手動ダイレクトコールパークを使用して保留中コールを取得する

専用のコールパーク番号にパークされたコールをピックアップできます。

始める前に

ダイレクトコールパーク番号およびパーク取得プレフィックスを知っておく必要があります。

手順

- ステップ1 パーク取得プレフィックスをダイヤルします。
 - ステップ2 ダイレクトコールパーク番号をダイヤルします。
-


コールの転送


電話機の回線にかかってきたコールを別の番号に転送することができます。コール転送は、電話回線ごとに設定します。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。

コールをお使いの電話機から別の番号に転送することができます。

コールを転送するには、次の2つの方法があります。

- 不在転送
- 電話機がビジー状態の場合、または応答がない場合など、特殊な状況でコールを転送する。

回線が転送されると、その回線に [不在転送 (Forward all)]  アイコンが表示されます。

電話が転送されると、画面に [不在転送 (Forward all)]  アイコンが表示されます。

手順

ステップ1 転送する回線がアクティブでない場合は、[不在転送 (Fwd All)] を押します。

ステップ2 電話機がアクティブでない場合は、[不在転送 (Forward All)] を押します。

ステップ3 自分の電話機からダイヤルするのとまったく同じ方法で転送先番号を入力するか、最近の通話履歴からエントリを選択します。

関連トピック


[セルフケア ポータル](#) (24 ページ)

別の担当者にコールを転送する

コールを転送した場合、他の担当者が応答するまでは、元のコールに接続した状態を保つことができます。これにより、コールから自分を切断する前に、相手と個別に話をできます。話す必要がない場合は、他の担当者が応答する前に通話を転送します。

また、通話から自分を切断する前に、両方の通話者の間で切り替えて、両者とそれぞれ個別に話し合うこともできます。

手順

ステップ1 保留中ではないコールで、[転送 (Transfer)]  を押します。

ステップ2 保留中ではないコールで、[転送 (Transfer)] を押します。

ステップ3 別の担当者の電話番号を入力します。

ステップ4 (任意) **[短縮ダイヤル (Speed dials)]** を押し、短縮ダイヤル番号を選択します。

ナビゲーションクラスタを使用して、短縮ダイヤルウィンドウ内を移動し、短縮ダイヤル番号を選択します。

ステップ5 (任意) 着信音が鳴るか、相手がコールに応答するまで待ちます。

ステップ6 再度 **[転送 (Transfer)]** を押します。

電話会議とミーティング

1つのコールで複数の相手と話し合うことができます。別のユーザにダイヤルして、そのユーザをコールに追加することができます。複数の電話回線を使用している場合は、2つの回線をまたいで2つのコールに参加できます。

1つのコールで複数の相手と話し合うことができます。別のユーザにダイヤルして、そのユーザをコールに追加することができます。


会議コールに複数の参加者を追加する場合は、それぞれ数秒の間隔を空けて追加します。

会議ホストとして、会議から個々の参加者を削除できます。参加者全員が電話を切ると、会議は終了します。

コールへの別のユーザの追加

コールに複数の参加者を追加する場合は、それぞれ数秒の間隔を空けて追加します。

手順

ステップ1 アクティブコールで、**[電話会議]**  を押します。

ステップ2 次のいずれかの方法で他のユーザを会議に追加します。

- **[アクティブ コール (Active calls)]** を押し、保留中のコールを選択します。
- 電話番号を入力して、**[コール (Call)]** を押します。
- **[短縮ダイヤル (Speed dials)]** を押し、短縮ダイヤル番号を選択します。ナビゲーションクラスタを使用して、短縮ダイヤルウィンドウ内を移動し、番号を選択します。

ステップ3 **[会議 (Conference)]** を押します。

会議を確立する前にコール間を切り替える

通話相手を会議に追加する前に、その相手と会話することができます。また、その相手とのコールと会議コールとの間で切り替えることもできます。

手順

- ステップ 1** 新しいコール参加者にコールしますが、その参加者を会議には追加しないでください。コールが接続されるまで待機します。
- ステップ 2** 参加者と会議の間で切り替えるには、[切替 (Swap)] を押します。

会議参加者の表示と削除

会議を作成した場合、会議に参加した最新の 16 人の参加者についての詳細を表示できます。また、参加者を削除することもできます。

手順

- ステップ 1** 会議中に [詳細の表示 (Show Details)] を押すと、参加者のリストが表示されます。
- ステップ 2** (任意) いずれかの参加者を強調表示して [コールの終了 (End Call)] を押すと、コールが終了してその参加者が会議から削除されます。
- ステップ 3** (任意) いずれかの参加者を強調表示して [削除] を押すと、その参加者が電話会議から削除されます。

スケジュール済み電話会議 (ミートミー)

スケジュールされた時間に電話会議を主催したり、会議に参加したりすることができます。

電話会議は主催者がダイヤルインするまでは開始しません。また、すべての参加者が電話を切ると会議が終了します。主催者が電話を切っても、会議は自動的に終了しません。

ミートミー会議の開催

始める前に

管理者からミートミー電話番号を入手し、会議参加者にその番号を配布します。

手順

- ステップ1** ハンドセットを取り上げて、ダイヤルトーンが聞こえたら [ミートミー (Meet Me)] を押し
ます。
- ステップ2** [ミートミー (Meet Me)] を押し
ます。
- ステップ3** ミートミー電話番号をダイヤル
します。
-

ミートミー会議への参加

会議の主催者がダイヤルインするまでは、ミートミー会議に参加できません。ビジー音が聞こえる場合は、主催者がまだ会議にダイヤルインしていません。コールを終了して、再び試行してください。

会議の主催者がダイヤルインするまでは、ミートミー会議に参加できません。ビジー音が聞こえる場合は、主催者がまだ会議にダイヤルインしていません。コールを終了し、コールを再試行してください。

手順

会議の主催者から提供されたミートミー電話番号をダイヤル
します。

インターコム コール

インターコム回線を使用して一方向のコールを発信および受信できます。

インターコム コールを発信すると、受信者の電話機はミュートが有効 (ウィスパー モード) になって自動応答し、受信者のスピーカフォン、ヘッドセット、またはハンドセット (このいずれかのデバイスを使用中の場合) からメッセージがブロードキャストされます。

ただし、通話中にインターコムコールが拒否されることがあります。これは、会社の電話ネットワークの設定方法によって異なります。詳細については、管理者に問い合わせてください。

インターコムコールを受信した後、受信者は双方向オーディオ (接続モード) を開始して会話を続けることができます。

インターコム コールの発信

インターコム コールを発信した場合、受信者がインターコム コールを受け入れるまでは、電話機がウィスパー モードになります。ウィスパー モードでは、こちらの声が相手に聞こえますが、相手の声はこちらに聞こえません。アクティブ コールがある場合、そのコールは保留されます。

手順

-
- ステップ1 [インターコム (Intercom)] を押します。
 - ステップ2 (任意) インターコム コードを入力します。
 - ステップ3 インターコムのアラート トーンが聞こえたら、話し始めます。
 - ステップ4 コールを終了するには、[インターコム (Intercom)] を押します。
-

インターコム コールへの応答

インターコム コールに応答して、相手と会話することができます。

始める前に

電話スクリーンにメッセージが表示され、警報が聞こえます。電話機は、インターコム コールにウィスパー モードで応答します。

手順

-
- ステップ1 [インターコム (Intercom)] を押して接続モードに切り替える。接続モードでは、インターコム発信者と会話ができます。
 - ステップ2 コールを終了するには、[インターコム (Intercom)] を押します。
-

通話の監視と録音

コールを監視し、録音することができます。ただし、回線には発信者、監察者、着信者の少なくとも3人が必要です。

監察者はコールに応答し、電話会議を開始し、会話を監視および録音します。

監察者は次のタスクを実行します。

- コールを録音する。
- 最初の参加者だけで会議する。他の参加者が必要に応じて参加者を追加します。
- コールを終了する。

監察者が電話を切ると、会議は終了します。

監視されたコールの設定

手順

ステップ 1 着信コールに応答します。

コールの監察および録音が必要であるとシステムが判断した場合、[録音 (Record)]が表示されます。

ステップ 2 [会議 (Conference)] ボタン  を押して、会議コールを開始します。

ステップ 3 [会議 (Conf)] を押して、会議コールを開始します。

ステップ 4 スーパーバイザの電話番号を入力して、[コール (Call)] を押します。

ステップ 5 スーパーバイザが応答したら、[会議 (Conference)] を押します。

ステップ 6 スーパーバイザが応答したら、[会議 (Conf)] を押します。

ステップ 7 コールを終了するには、[通話終了 (End Call)] を押します。

通話の録音

コールを録音することができます。コールの録音時に、通知トーンが聞こえることがあります。

手順

録音を開始または停止するには、[録音 (Record)] を押します。

優先コール

業務中に、電話機を使って緊急または重大な要件を扱う必要が生じることがあります。特定のコールを「非常に重要」と識別することができます。これにより、通常のコールよりも優先順位が高くなります。優先度の範囲はレベル 1 (低) ~ レベル 5 (高) です。この優先度システムを **Multilevel Precedence and Preemption (MLPP)** と呼びます。

管理者は、使用可能な優先順位をセットアップして、特別なサインイン情報が必要になるかどうかを決定します。

優先順位の高いコールの呼出音が電話機で鳴ると、優先順位レベルが電話スクリーンに表示され、そのコールがコールリストの先頭に示されます。通話中に優先順位が高いコールが電話機に着信した場合、優先順位が高いコールが現在のコールに取って代わることを示す特殊なプ

エンプシオン呼出音が聞こえます。現在のコールを終了して、優先順位が高いコールに回答してください。






サイレント（DND）をオンにしている場合でも、プライオリティ コールは特別な呼出音で電話機を鳴らします。

優先順位が高いコールで通話している間は、次の操作を行ってもコールの優先順位は変更されません。

- コールを保留にする
- コールを転送する
- コールを3者会議に追加する
- コールピックアップを使用して応答する

次の表では、複数レベルの優先順位およびプライオリティのプリエンプシオンアイコンと対応するレベルについて説明します。

表 24 : *Multilevel Precedence and Preemption* の優先度レベル

| MLPP アイコン | 優先度レベル |
|---|------------------------------|
|  | レベル 1 : プライオリティ コール |
|  | レベル 2 : 中程度のプライオリティの（即時）コール |
|  | レベル 3 : プライオリティの高い（フラッシュ）コール |
|  | レベル 4 : フラッシュ オーバーライド |
|  | レベル 5 : エクゼクティブ オーバーライド |

プライオリティ コールを発信する

プライオリティ コールを発信するには、特殊なクレデンシャルを使ってサインインする必要があります。これらのクレデンシャルを入力する機会は3回あり、間違っても入力した場合には通知されます。

手順

- ステップ 1 ハンドセットを取り上げます。
- ステップ 2 [優先レベル（PrecLevel）]を押します。
- ステップ 3 コールの優先度レベルを選択します。
- ステップ 4 （任意） 認証画面にクレデンシャルを入力します。
- ステップ 5 接続先の番号を入力します。

優先度レベル アイコンが電話機スクリーンに表示され、優先リングバックトーンが聞こえます。

プライオリティ コールに応答する

通常よりも速い特殊な呼出音が聞こえる場合は、プライオリティ コールを受信しています。


手順

- ステップ 1** 優先度の高いコールの特殊な呼出音が聞こえたら、オレンジ色に点滅しているセッションボタンを押してください。
- ステップ 2** 優先度の高いコールの特殊な呼出音が鳴ったら、[応答 (Answer)] を押します。

別のコールで通話している間にプライオリティ コールに応答する

コールに割り込む連続トーンが流れたら、自分または同僚がプライオリティコールを受信しています。すぐに電話を切って、より優先度の高いコールが目的の受話者につながるようにしてください。

手順

- ステップ 1** [リリース (Release)]  を押すか、ハンドセットを置きます。それまでのコールが終了し、優先度の高いコールの着信音が適切な電話機で鳴ります。
- ステップ 2** [コールの終了 (End Call)] を押します。それまでのコールが終了し、優先度の高いコールの着信音が適切な電話機で鳴ります。

複数の回線

他のユーザと電話番号を共有する場合、複数の回線を電話機で使用できます。複数の回線を使用するときには、より多くのコール機能を利用できます。

最も古いコールから応答

電話機のすべての回線における最も古いコールに応答できます。これには、アラート状態の保留復帰およびパーク復帰コールも含まれます。着信コールは、保留またはパーク復帰コールよりも常に優先されます。

複数の回線を操作しているときには、通常、応答したい着信コールの回線ボタンを押します。回線に関係なく最も古い着信に応答する場合は、[応答 (Answer)] を押します。

電話機ですべてのコールを表示

全てのアクティブコール（全ての電話回線から）のリストを、古いものからの順番に表示できます。

リストは、全ての通話がまとめて表示されるため、複数の回線を使用している場合や他のユーザと回線を共有している場合に便利です。リストには、すべての通話と一緒に表示されます。

また、プライマリ回線でのアクティブコールを表示することもでき、1つの画面にすべてのコールを表示させたい場合にはこれが便利です。

アクティブな版図コールがある場合、[すべてのコール] リストに、[版図] : の後に版図名、番号またはその両方が表示されます。この改善は、ハントグループ コールを識別するのに役立ちます。

ハントグループ名が管理者によって設定されている場合、ハントグループの名前と番号の両方がすべてのコールの一覧に表示されます。名前の設定がなければ、ハントグループ番号だけが表示されます。

手順

プライマリ回線の [すべてのコール (All Calls)] またはセッション ボタンを押します。

重要なコールの表示

すべてのアラート コールのリストを古いものから順番に表示できます。アラート コールは、重要な番号として指定する電話番号です。この番号から着信があった場合、またはこの番号にコールを発信した場合に、アラートを受けるようにします。

手順

[アラートコール (Alert call)] を押します。


回線フィルタを使用して特定の回線のコール通知を表示する

優先度の高い電話番号や回線にコールが着信したときに通知を受け取るよう、電話機を設定できます。たとえば、シニア エグゼクティブの電話回線やカスタマー ヘルプ回線がこれに該当します。このツールは、複数の電話回線や多数のコールを扱う場合に便利です。

また、管理者による電話機の設定方法によっては、1日の特定の時間帯に回線フィルタを使用できることもあります。

回線フィルタの作成

手順

ステップ1 アプリケーション  を押します。

ステップ2 [設定 (Settings)] > [コール通知 (Call notifications)] > [フィルタの新規追加 (Add new filter)] の順に選択します。

カスタムフィルタの最大数は20です。すでに最大数のカスタムフィルタを作成している場合は、この手順を進める前に、フィルタを削除してください。

ステップ3 [選択 (Select)] を押して、テキストを編集可能にします。

ステップ4 新しいフィルタにデフォルト名を受け入れるか、新しい名前を入力します。

ステップ5 新しいフィルタに追加する回線を選択します。


使用可能なすべての回線がリストに表示されます。リストにない回線が必要な場合は、管理者にお問い合わせください。

ステップ6 [適用 (Apply)] をクリックします。

ステップ7 フィルタを表示するには、[戻る (Back)] ボタンを押します。

回線フィルタの使用

手順

ステップ1 アプリケーション  を押します。


ステップ2 [設定 (Settings)] > [コール通知 (Call notifications)] を選択します。

ステップ3 適用するフィルタを強調表示して、[選択] を押します。

回線フィルタの変更

制御する回線フィルタを変更できます。管理者は、「すべてのコール」フィルタおよび日次スケジュールフィルタを制御します。

手順

ステップ1 アプリケーション  を押します。

ステップ2 [設定 (Settings)] > [コール通知 (Call notification)] を選択します。

ステップ3 フィルタを強調表示して [編集 (Edit)] を押し、既存のフィルタを変更します。

の共有電話

同じ電話番号を1人または複数の同僚と共有できます。たとえば、重役補佐の場合は、サポートしている人物のコールを取り次ぐ必要があります。

電話番号を共有しても、一般の回線と同様に使用できます。共有電話では、これらの特殊文字に注意してください。

- 共有された電話番号は、その番号を共有しているすべての電話機に表示されます。
- 同僚がコールに応答した場合、手元の電話機の共有電話ボタンとセッションボタンが赤色に点灯します。
- 自分がコールを保留にした場合、自分の回線ボタンが緑色に点灯し、セッションボタンが緑色に点滅します。しかし同僚の回線ボタンは赤色に点灯し、セッションボタンは赤色に点滅します。

共有回線のコールに参加する

自分または同僚は、共有電話上のコールに参加できます。管理者が電話機の機能を有効にする必要があります。

共有回線上の通話に参加を試みたときに、参加できないというメッセージが表示されたら、もう一度やり直してください。

回線を共有しているユーザがプライバシーをオンにしている場合、その回線設定は表示されず、自分の電話に自分自身を追加することはできません。

手順

ステップ1 共有回線の回線ボタンを押すか、回線を選択して [割り込み (Barge)] を押します。


共有回線上の通話に自分を追加するには、[通話 (Calls)] を押す必要があります。

ステップ2 (任意) 確認メッセージが表示されたら、[はい (Yes)] を押して自身を通話に追加します。

共有電話のコールに参加する前に通知を受け取る

コールに割り込んだらアラートを受け取るよう、電話機をセットアップできます。デフォルトでは、アラートプロンプトがオフになっています。

手順

ステップ1 アプリケーション  を押します。

ステップ2 [設定 (Settings)] > [割り込みアラート (Barge Alert)] を選択します。

ステップ3 [オン (On)] をクリックすると、アラートが有効になります。

共有回線でのプライバシーの有効化

プライバシーを使用すると、回線を共有する他のユーザから自分の通話情報を隠すことができます。

プライバシーは、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。複数の共有回線を使用していて、プライバシーが有効になっている場合、他の通話者にはこれらの共有回線は表示されません。

回線を共有している電話機でプライバシーが有効になっている場合は、共有回線を通常通り使用して通話を発信および受信できます。

この機能が有効な場合は、電話画面に視覚的な通知が表示されます。

手順

ステップ1 この機能を有効にするには、[プライバシー (Privacy)] を押します。

ステップ2 この機能をオフにするには、[プライバシー (Privacy)] をもう一度押します。

モバイル デバイスとデスクの電話機

モバイル デバイス (電話機またはタブレット) を所有している場合、モバイル デバイスとデスクの電話機を接続できます。この接続により、モバイル デバイスまたはデスク電話機のどちらでもコールを発信したり応答したりできるようになります。

Cisco IP 電話 8851および8861は、この機能をサポートしています。

複数のCisco IP 電話 8800シリーズ デスク フォンをペアリングしないでください。



(注) モバイルデバイスがデスクフォンに接続されている場合、モバイルデバイスはデスクフォンの連絡先にアクセスすることも使用することもできません。デスクフォンの連絡先をモバイルデバイスに移動したり、コピーしたりすることはできません。

Intelligent Proximity を使用した通話

Bluetoothを使用すると、モバイルデバイス（電話機またはタブレット）とデスク フォンをペアリングできます。モバイル デバイスをペアリングおよび接続した後、電話機には追加の電話回線が表示され、これはモバイル回線（携帯電話番号）を示しています。デスクの電話機からこのモバイル回線のコールを発信/受信することができます。このようにデスクの電話機でモバイル回線を使用できる機能を、Intelligent Proximity といいます。

モバイル デバイスとデスク~電話機のペアリング

モバイル デバイスをデスク フォンにペアリングすると、モバイル デバイスが範囲内にあるときに電話機がモバイル デバイ스에接続します。モバイル デバイスが範囲外にあるときには、デバイスから接続解除されます。


Bluetoothヘッドセットとモバイル デバイスの両方が接続されているときは、モバイル デバイスからの音声に応答するためにBluetoothヘッドセットを使用することはできません。

モバイルデバイスと電話機が接続された後、モバイルの連絡先と通話履歴をデスクの電話機に保存できます。

始める前に

お使いのモバイルデバイスでBluetoothがオンになっていて検出可能であることを確認します。ヘルプについては、モバイル デバイ스에添付されているマニュアルを参照してください。

手順

-
- ステップ 1** デスクの電話機で、[アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ 2** [Bluetooth] > [Bluetooth デバイスを追加 (Add Bluetooth device)] を選択します。
 - ステップ 3** 使用可能なデバイスのリストからペアリングするモバイル デバイスを選択します。
 - ステップ 4** モバイルデバイスでパスキーを確認します。
 - ステップ 5** デスクの電話機でパスキーを確認します。
 - ステップ 6** (任意) モバイル デバイスの連絡先と通話履歴をデスクの電話機で利用可能にするかどうかを選択します。

関連トピック


[Bluetooth と電話機](#) (36 ページ)

[Cisco IP 電話 8800 シリーズ](#) (1 ページ)

接続されたモバイル デバイスの切り替え

ご使用の Cisco IP 電話 の圏内に 2 台以上のペアリングされたモバイル デバイスが存在する場合は、接続するモバイル デバイスを選択できます。


手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [Bluetooth] を選択します。
 - ステップ3 使用可能なデバイスのリストからモバイル デバイスを選択します。
-

モバイル デバイスの削除

モバイル デバイスを削除すると、Bluetooth を使って自動接続されなくなります。


手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [Bluetooth] を選択します。
 - ステップ3 使用可能なデバイスのリストにあるモバイル デバイスを選択します。
 - ステップ4 [削除 (Delete)]を選択します。
-

ペアリングされた Bluetooth デバイスの表示

ペアリングされたモバイル デバイスは、ペアリング済みデバイス一覧に表示されます。このデバイスは、デスク フォンからペアリングを解除されるまでリストに表示されます。

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [Bluetooth] を選択します。
-

携帯電話の Intelligent Proximity

携帯電話の連絡先および通話履歴をデスクの電話機と共有し、携帯電話とデスクの電話機の間でコールを移動できます。また、デスクの電話機でモバイル デバイスの電波強度と電池残量を表示することもできます。

モバイル コール着信の処理

始める前に

携帯電話をデスクの電話機にペアリングします。

手順

携帯電話でコールが鳴ったときに、デスク電話機で次のいずれかの操作を行います。

- コールに応答するには [応答 (Answer)]を押します。
 - コールを拒否してボイスメールに送るには、[拒否 (Decline)]を押します。
 - 着信音を止めてコールを拒否するには、[無視 (Ignore)]を押します。
-

モバイル コールの発信

始める前に

携帯電話をデスクの電話機にペアリングします。

手順

ステップ 1 デスクの電話機でモバイル回線を選択します。

ステップ 2 電話番号を入力します。

ステップ 3 [通話]を押します。

デスクの電話機とモバイル デバイスの間でのコールの移動

デスクの電話機を使用して、アクティブ コールをモバイル デバイスに移動したり、デスクの電話機に戻したりすることができます。

始める前に

携帯電話をデスクの電話機にペアリングします。

手順

デスクの電話機からモバイル デバイスに（または逆方向に）コールを移動するには、[音声を移動 (Move audio)]を押します。

モバイル デバイスの音量の調整

電話機とモバイル デバイスの音量コントロールが同期されます。アクティブ コールを実行している場合は、同期のみが実行されます。


デスクフォンでのモバイル連絡先の表示

始める前に

携帯電話をデスクの電話機にペアリングします。

手順

次のオプションのいずれかを実行します。

- デスクフォンで、[音量 (Volume)]  を押します。[+]を押して音量を上げるか、[-]を押して音量を下げます。
- モバイルデバイスの [音量 (Volume)] ボタンを押します。

デスクフォンでのモバイル連絡先の表示

デスクフォンを使って、携帯電話の連絡先リストを表示します。これは、携帯電話を操作しなくても連絡先を表示する便利な方法です。

始める前に

デスクフォンでモバイルデバイスを使用するには、事前にBluetoothを使って2つの電話機をペアリングします。モバイルの連絡先を共有するためのオプションを選択します。

手順

ステップ 1 [連絡先 (Contacts)] ボタン  を押します。

ステップ 2 一覧から携帯電話を選択します。


モバイルデバイスの連絡先をデスクフォンに保存する

モバイルデバイスの連絡先リストをデスクフォンに保存できます。モバイルデバイスの接続やペアリングを解除しても、このモバイル連絡先リストはデスクフォンに残ります。

始める前に

携帯電話をデスクの電話機にペアリングします。

手順

ステップ 1 [連絡先 (Contacts)] ボタン  を押します。

ステップ 2 自分の携帯電話を選択します。


モバイル デバイス連絡先リストでの連絡先の削除

モバイルの連絡先リストをデスク フォンから削除できます。携帯電話の連絡先リストは変更されません。

始める前に

携帯電話をデスクの電話機にペアリングします。

手順

- ステップ 1** [連絡先 (Contacts)] ボタン  を押します。
- ステップ 2** ディレクトリの一覧から携帯電話を選択します。
- ステップ 3** [削除 (Delete)] にチェックマークを付けます。

デスクの電話機でのモバイル通話履歴の表示

携帯電話で発着信された最近のコールをデスク フォンで表示できます。

始める前に

デスク フォンでモバイル通話履歴を表示するには、Bluetooth を使って携帯電話とデスク フォンをペアリングする必要があります。モバイル通話履歴をデスク フォンと共有するためのオプションを選択します。

手順

デスクの電話機で、[発信 (New Call)] を押します。

タブレットの Intelligent Proximity

タブレットを持っている場合、Bluetooth を使用してタブレットをデスク フォンにペアリングできます。ペアリング後に、タブレットの電話アプリの音声をデスクの電話機で再生することができます。タブレットで使用できるコール機能の数は、携帯電話で使用できるコール機能ほど多くはありません。

デスクの電話機は Android および iOS タブレットからの接続をサポートしています。

タブレットからデスクの電話機への音声の移動

始める前に

タブレットがデスクの電話機にペアリングされ、タブレットにコールが着信します。

手順

ステップ1 タブレットで、Bluetooth を使用するようオーディオパスを設定します。

ステップ2 ヘッドセット、ハンドセット、またはスピーカーフォンを使用して、電話機で音声を聞きます。

デスクフォンからタブレットへの音声の移動

始める前に

タブレットがデスクの電話機にペアリングされ、タブレットで通話中に音声デスクの電話機から聞こえます。

手順

次のいずれか1つの処理を実行します。

- 受話器を置きます。
 - [リリース (Release)] を押します。
 - デスクの電話機で別のコールに応答します。
-

モバイルコネクトを使用した通話

携帯電話を使用して、デスクの電話番号にかかってきたコールを処理することができます。このサービスをモバイルコネクトといいます。

セルフケアポータルで、携帯電話を追加の電話機としてデスクの電話機に関連付けます。どのコールを携帯電話に送るかを制御できます。

追加の電話機を有効にした場合の動作は次のとおりです。

- デスクの電話機と追加の電話機がコールを同時に受信します。
- デスクの電話機でコールに応答すると、追加の電話機の着信音が止まってコールが切断され、不在着信メッセージが表示されます。
- いずれか1つの追加の電話機でコールに応答すると、それ以外の追加の電話機とデスクの電話機の着信音が止まってコールが切断されます。他の追加の電話機には不在着信メッセージが表示されます。
- 追加の電話機でコールに応答した後、その回線を共有するデスク電話機にコールを切り替えることができます。その場合、同じ回線を共有するデスクフォンには「リモートで使用 (Remote In Use)」というメッセージが表示されます。

関連トピック

[セルフケア ポータル](#) (24 ページ)

モバイル コネクトの有効化

手順

ステップ 1 [モビリティ (Mobility)]を押して、リモート接続先の現在のステータス (有効または無効) を表示します。

ステップ 2 [選択 (Select)]を押して、ステータスを変更します。

デスク フォンから携帯電話にコールを移動する

自分のデスク フォンから携帯電話にコールを移動することができます。そのコールは引き続きデスク フォンの回線に接続されたままになるため、その回線を他のコールに使用することはできません。コールが終了するまで、回線は使用中になります。

始める前に

デスク フォンでモバイル コネクトを有効にする必要があります。

手順

ステップ 1 [モビリティ (Mobility)]を押します。

ステップ 2 [選択 (Select)]を押すと、コールが携帯電話に送信されます。

ステップ 3 アクティブなコールに携帯電話で応答します。

携帯電話からデスク フォンにコールを移動する

携帯電話から自分のデスク フォンにコールを移動することができます。そのコールは引き続き携帯電話に接続されたままになります。

始める前に

デスク フォンでモバイル コネクトを有効にする必要があります。

手順

ステップ 1 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。

ステップ 2 5 ~ 10 秒以内にデスク フォンの回線を押すと、デスク フォンでコールが再開します。

ステップ3 5～10秒以内に会議用電話で[応答 (Answer)]を押すと、デスクフォンでコールが再開します。

携帯電話からデスクフォンにコールを転送する

携帯電話から自分のデスクフォンにコールを転送することができます。

始める前に

デスクフォンでモバイルコネクトを有効にする必要があります。

管理者からアクセスコードを入手します。

手順

ステップ1 携帯電話で、ハンドオフ機能のアクセスコードを入力します。

ステップ2 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。

ステップ3 デスクフォンで10秒以内に[応答 (Answer)]を押して、デスクフォンで会話を開始します。

ボイスメール

電話機からボイスメッセージに直接アクセスすることができます。ボイスメールシステムにアクセスできるようにするには、管理者がボイスメールアカウントをセットアップし、さらに電話機をセットアップする必要があります。

電話機の[メッセージ (Messages)]ボタンは、ボイスメールシステムへの短縮ダイヤルとして機能します。

電話機の[メッセージ (Messages)]ソフトキーは、ボイスメールシステムへの短縮ダイヤルとして機能します。



(注) 会議用電話が、会議室で使われる共有電話である場合は、[メッセージ (Messages)]ソフトキーが表示されないことがあります。

着席していない場合は、ボイスメールシステムを呼び出してボイスメールにアクセスすることができます。ボイスメールシステムの外部電話番号については、管理者に問い合わせてください。



- (注) ボイスメールは電話機の機能ではないため、このドキュメントでは、ボイスメールの情報は限定的です。この機能は、会社が購入する、サーバとファームウェアを含む別個のコンポーネントです。ボイスメールのセットアップと使用の詳細については、『*User Guide for the Cisco Unity Connection Phone Interface* (Cisco Unity Connection 電話インターフェイス ユーザ ガイド)』 (<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unity-connection/products-user-guide-list.html>) を参照してください。

ボイスメールメッセージの表示

新しいボイスメールメッセージが届いているかどうか確認するには、次のいずれかの表示を調べます。

- ハンドセットのライトストリップが赤色に点灯している。
- 不在着信の数とボイスメールメッセージの数が画面上に表示されている。新しいメッセージの数が 99 を超えると、プラス (+) 記号が表示されます。

また、電話回線の使用中に、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンから断続トーンが聞こえます。この断続トーンは回線によって異なります。断続トーンは、ボイスメッセージがある回線を使用しているときにのみ聞こえます。

関連トピック

[セルフケア ポータル](#) (24 ページ)


ボイスメールメッセージへのアクセス

現在のボイスメールメッセージを確認したり、古いメッセージを再度聞くことができます。

始める前に

各ボイスメールシステムは異なるため、管理者または IT 部門に問い合わせ、会社が使用しているシステムを確認してください。このセクションは、多くのお客様がその製品をボイスメールシステムに使用しているため、Cisco Unity Connection が対象です。ただし、会社が別の製品を使用している場合があります。

手順

- ステップ 1** 複数の回線がある場合は、適切な回線キーを押します。
- ステップ 2** [メッセージ (Messages)] ボタン  を押します。
- ステップ 3** [メッセージ (Messages)] ボタンを押します。
- ステップ 4** 音声プロンプトに従います。

ビジュアルボイスメール

ビジュアルボイスメールは音声ボイスメールに代わる機能で、利用が可能かどうかはボイスメールシステムの設定によります。音声指示に応答する代わりに、電話機の画面を使用してメッセージを操作します。メッセージのリストを表示したり、メッセージを再生したりすることができます。また、メッセージの作成、応答、転送および削除を行うことができます。

ボイスメールシステムの設定によっては、音声受信箱を選択することによって音声ボイスメールを利用できる場合があります。音声ガイダンスを操作することもあるが、デフォルトとしてビジュアルガイダンスを設定している場合には、この機能を使用してください。

詳細については、『*Quick Start Guide for Visual Voicemail for Unity Connection*』

(<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unity-connection/products-user-guide-list.html>) を参照してください。

音声ボイスメールへのアクセス

管理者による電話機のセットアップ方法によっては、メッセージ一覧を確認しなくてもボイスメールを取得できる可能性があります。ボイスメールメッセージの一覧を使用するものの、ビジュアルガイダンスなしでメッセージにアクセスすることもある場合には、このオプションが便利です。

手順

ステップ1 スクリーン上で、[音声 (Audio)] ソフトキーを押します。

ステップ2 要求されたら、ボイスメール資格情報を入力します。

コールをボイスメールに転送

コールを上司または同僚のボイスメールに直接転送することができます。これは、発信者がメッセージを残すことができても、オフィスの人を煩わせない便利な方法です。

始める前に

管理者は、内線の前の*プレフィックスがコールをボイスメールに直接転送することを意味するように、電話システムを設定する必要があります。

同僚の内線番号を確認します。

手順

ステップ1 [転送 (Transfer)]  を押します

ステップ2 [*] の後に相手の内線番号をダイヤルします。

ステップ 3 [転送 (Transfer)]  を押します



第 3 章

連絡先


- [社内ディレクトリ \(Corporate Directory\)](#) (101 ページ)
- [パーソナルディレクトリ](#) (101 ページ)
- [Cisco Web Dialer](#) (105 ページ)

社内ディレクトリ (Corporate Directory)

電話機で同僚の番号を検索して簡単に電話をかけることができます。管理者がこのディレクトリを設定し、保守します。

社内ディレクトリの連絡先のダイヤル

手順

- ステップ 1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。
 - ステップ 2 [連絡先] を押します。
 - ステップ 3 [社内ディレクトリ (Corporate Directory)] を選択します。
 - ステップ 4 検索条件を選択します。
 - ステップ 5 検索条件を入力し、[送信 (Submit)] を押します。
 - ステップ 6 連絡先を選択し、[ダイヤル (Dial)] を押します。
-

パーソナルディレクトリ

パーソナルディレクトリを使用して、友人、家族、同僚などの連絡先情報を保管できます。パーソナルディレクトリに独自の連絡先を追加できます。よく通話する相手用の特別な短縮ダイヤルコードを追加できます。

パーソナルディレクトリは、電話機またはセルフケアポータルから設定できます。電話機を使用して、短縮ダイヤルコードをディレクトリ エントリに割り当てます。

関連トピック


[セルフケアポータル](#) (24 ページ)

パーソナルディレクトリのサインインおよびサインアウト

始める前に


パーソナルディレクトリにログインする前に、ユーザ ID と PIN (暗証番号) が必要です。これらの情報が不明な場合は、管理者にお問い合わせください。

手順

- ステップ 1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。
 - ステップ 2 [連絡先] を押します。
 - ステップ 3 [パーソナルディレクトリ (Personal directory)] を選択します。
 - ステップ 4 ユーザ ID と PIN を入力して、[送信 (Submit)] を押します。
 - ステップ 5 サインアウトするには、[ログアウト (Log out)] を選択し、[選択 (Select)] を押してから [OK] を押します。
-


パーソナルディレクトリに新しい連絡先を追加する

手順

- ステップ 1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。
 - ステップ 2 [連絡先] を押します。
 - ステップ 3 パーソナルディレクトリにサインインします。
 - ステップ 4 [個人用アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択して、[送信 (Submit)] を押します。
 - ステップ 5 [新規 (New)] を押します。
 - ステップ 6 名、姓、およびオプションでニックネームを入力します。
 - ステップ 7 [電話 (Phones)] を押し、電話番号および必要に応じてアクセスコードを入力して、[送信 (Submit)] を押します。
-


パーソナル ディレクトリの連絡先の検索

手順

-
- ステップ1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。
 - ステップ2 [連絡先] を押します。
 - ステップ3 パーソナル ディレクトリにサインインします。
 - ステップ4 [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択します。
 - ステップ5 検索条件を選択します。
 - ステップ6 検索条件を入力し、[送信 (Submit)] を押します。
-

パーソナル ディレクトリ内の連絡先への発信


手順

-
- ステップ1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。
 - ステップ2 [連絡先] を押します。
 - ステップ3 パーソナル ディレクトリにサインインします。
 - ステップ4 [パーソナル ディレクトリ (Personal directory)] を選択して、エントリを検索します。
 - ステップ5 ダイアルする個人アドレス帳のエントリを選択します。
 - ステップ6 目的のファスト ダイアル コードを選択して、[コール (Call)] を押します。
-

ファスト ダイアル コードの連絡先への割り当て

ファスト ダイアル コードを使うと、連絡先へのコールが簡単になります。

手順

-
- ステップ1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。
 - ステップ2 [連絡先] を押します。
 - ステップ3 パーソナル ディレクトリにサインインします。
 - ステップ4 [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択します。
 - ステップ5 検索条件を選択します。
 - ステップ6 検索条件の情報を入力して [送信 (Submit)] を押します。


- ステップ7 連絡先を選択します。
- ステップ8 [ファストダイヤル (FastDial)]を押します。
- ステップ9 番号を選択し、[選択 (Select)]を押します。
- ステップ10 割り当てられていないファストダイヤルインデックスまでスクロールし、[送信 (Submit)]を押します。

関連トピック

[ファストダイヤルボタンを使用したコールの発信](#) (59 ページ)


ファストダイヤルコードを使用した連絡先への発信

手順

- ステップ1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。
- ステップ2 [連絡先] を押します。
- ステップ3 パーソナルディレクトリにサインインします。
- ステップ4 [個人ファストダイヤル (Personal Fast Dials)]を選択し、ファストダイヤルコードまでスクロールします。
- ステップ5 目的のファストダイヤルコードを選択して、[コール (Call)]を押します。


パーソナルディレクトリの連絡先を編集する

手順

- ステップ1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。
 - ステップ2 [連絡先] を押します。
 - ステップ3 パーソナルディレクトリにサインインします。
 - ステップ4 [個人アドレス帳 (Personal address book)]を選択し、エントリを検索します。
 - ステップ5 [選択 (Select)]、[編集 (Edit)]の順に押します。
 - ステップ6 エントリの情報を変更します。
 - ステップ7 [電話 (Phones)]を押して、電話番号を変更します。
 - ステップ8 [更新 (Update)]を押します。
-


パーソナルディレクトリから連絡先を削除する

手順

- ステップ1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。
- ステップ2 [連絡先] を押します。
- ステップ3 パーソナルディレクトリにサインインします。
- ステップ4 [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択し、エントリを検索します。
- ステップ5 [選択 (Select)]、[編集 (Edit)]、[削除 (Delete)] の順に押します。
- ステップ6 [OK] を押して、削除を確認します。

ファストダイヤルコードの削除

手順

- ステップ1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。
- ステップ2 [連絡先] を押します。
- ステップ3 パーソナルディレクトリにサインインします。
- ステップ4 [個人ファストダイヤル (Personal Fast Dials)] を選択し、ファストダイヤルコードを検索します。
- ステップ5 必要なコードを選択して、[削除 (Remove)] を押します。
- ステップ6 インデックスを選択して、[削除 (Remove)] を押します。

Cisco Web Dialer

Cisco Web Dialer、Web ブラウザおよび Cisco IP 電話を使用して、Web アプリケーションやデスクトップアプリケーションから電話を発信できます。Web ブラウザを使って Web サイトまたは社内ディレクトリに移動し、ハイパーリンクの付いた電話番号をクリックするとコールが開始します。

コールを発信するにはユーザ ID とパスワードが必要です。これらの情報は管理者から与えられます。初めて使用するユーザは、通話開始前に個人設定を行う必要があります。

詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-installation-and-configuration-guides-list.html> で「Cisco Web Dialer」に関するドキュメントを参照してください。



第 4 章

通話履歴

- [最近の通話リスト](#) (107 ページ)
- [最近の通話履歴を表示する](#) (107 ページ)
- [最近の通話履歴に戻る](#) (108 ページ)
- [最近の通話履歴を消去する](#) (108 ページ)
- [コールレコードの削除](#) (109 ページ)

最近の通話リスト

履歴リストを使用すると、最近の 150 件の個別コールおよびコールグループを確認できます。履歴リストが最大サイズに到達すると、次の新しいエントリによりリスト内の最も古いエントリが上書きされます。

コール履歴リストに含まれるコールのうち、同じ番号の発信先/着信元が連続している場合はグループにまとめられます。また、同じ番号からの不在着信もグループにまとめられます。

ハントグループを使用する場合は、次の点に注意してください。


- お使いの電話機がブロードキャストハントグループの一部である場合、ハントグループの他のメンバーが出た通話は、通話履歴に [受信された通話 (Received call)] と表示されません。
- 通話履歴の一覧で、[ハントグループ (Hunt group)] の後にハントグループの番号または名前が表示されます。この改善は、ハントグループ コールを識別するのに役立ちます。

ハントグループ名が管理者によって設定されている場合、ハントグループの名前と番号の両方が通話履歴の一覧に表示されます。名前が設定がなければ、ハントグループ番号だけが表示されます。

最近の通話履歴を表示する

最近誰からコールがあったかを確認できます。

手順

ステップ1 アプリケーション  を押します。

ステップ2 [通話履歴 (Recent)] を選択します。

電話機がアイドル状態の場合、ナビゲーションクラスタを上を押すことによって通話履歴リストを表示することも可能です。


ステップ3 複数の回線がある場合は、表示する回線を選択します。

電話機で1つの番号に対して2つの回線を構成している場合、コールを受信する回線のみ、通話履歴に通話詳細が表示されます。

最近の通話履歴に戻る

一度コールがあった発信元には簡単にコールできます。

手順

ステップ1 アプリケーション  を押します。

ステップ2 [通話履歴 (Recent)] を選択します。

ステップ3 (任意) [すべての回線 (All lines)] または目的の回線を選択します。

ステップ4 ダイヤルする番号を選択します。


ステップ5 (任意) 番号を編集するには [ダイヤルの編集 (EditDial)] を押します。

ステップ6 [通話] を押します。

最近の通話履歴を消去する

電話機の履歴リストをクリアすることができます。

手順

ステップ1 アプリケーション  を押します。

ステップ2 [通話履歴 (Recent)] を選択します。

ステップ3 (任意) [すべての回線 (All Lines)] または目的の回線を選択します。


ステップ4 [クリア (Clear)] を押します。

ステップ5 [削除 (Delete)] を押します。

コールレコードの削除

[通話履歴 (Recents)] を編集して、1つのコールを履歴から削除できます。[通話履歴 (Recents)] には150コールしか保持できないので、こうすることで重要な連絡先情報を保持できます。

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [通話履歴 (Recent)] を選択します。
 - ステップ3 (任意) [すべての回線 (All Lines)] または目的の回線を選択します。
 - ステップ4 削除する個々のレコードまたはコールグループを強調表示します。
 - ステップ5 [削除 (Delete)] を押します。
 - ステップ6 もう一度 [削除 (Delete)] を押して確定します。
-



第 5 章

アプリケーション

- [使用できるアプリケーション \(111 ページ\)](#)
- [アクティブアプリケーションの表示 \(111 ページ\)](#)
- [アクティブアプリケーションへの切り替え \(112 ページ\)](#)
- [アクティブアプリケーションの終了 \(112 ページ\)](#)


使用できるアプリケーション

デフォルトでは、シスコの電話機にこれらのアプリケーションは含まれていません。天気、株式情報、社内ニュース、行うべき作業のリストなどの情報やサービスを提供するアプリケーションが企業によって追加される場合があります。

アクティブアプリケーションの表示


すでに開いているアプリケーションを簡単に確認できます。

手順

-
- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ 2 [設定 (Settings)] を押します。
 - ステップ 3 [実行中のアプリケーション (Running applications)] を選択します。
 - ステップ 4 [終了 (Exit)] を押します。
-


アクティブアプリケーションへの切り替え

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [設定 (Settings)] を押します。
 - ステップ3 [実行中のアプリケーション (Running applications)] を選択します。
 - ステップ4 実行中のアプリケーションを1つ選択して [切り替え (Switch to)] を押すと、選択したアプリケーションを開いて使用できます。
 - ステップ5 [終了 (Exit)] を押します。
-

アクティブアプリケーションの終了

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [設定 (Settings)] を押します。
 - ステップ3 [実行中のアプリケーション (Running applications)] を選択します。
 - ステップ4 実行中のアプリケーションを1つ選択し、[閉じる (Close app)] を押してアプリケーションを閉じます。
 - ステップ5 [閉じる (Close)] を押して、[終了 (Exit)] を押します。
-



第 6 章

設定

- [設定 (Settings)] メニュー (113 ページ)
- コール中に音量を調節する (120 ページ)
- 着信音量の調節 (120 ページ)
- 電話機の表示言語 (121 ページ)

[設定 (Settings)] メニュー


電話機での[設定 (Settings)]メニューからいくつかの属性と機能を管理できます。

壁紙の変更

管理者は、壁紙またはバックグラウンド画像を変更することを許可する場合があります。

電話機が接続されている場合は、Cisco IP 電話およびキー拡張モジュールの両方で壁紙がサポートされています。

手順

ステップ 1 アプリケーション  を押します。

ステップ 2 [設定 (Setting)] > [壁紙 (Wallpaper)]に進みます。

ステップ 3 壁紙オプションを選択して、次の任意の手順を実行します。


- [プレビュー (Preview)] を押して、電話画面の壁紙を確認します。
- [設定 (Set)] を押して、壁紙を電話機に適用します。

ステップ 4 [終了 (Exit)]を押します。

呼出音の変更

電話機が着信コールに使用する音を変更できます。


手順

-
- ステップ1 [設定 (Settings)] > [初期設定 (Preferences)] > [呼出音 (Ringtone)] を選択します。
 - ステップ2 アプリケーション  を押します。
 - ステップ3 [設定 (Settings)] > [呼出音 (Ringtone)] を選択します。
 - ステップ4 回線を選択します。
 - ステップ5 呼出音のリストをスクロールし、[再生]を押してサンプルを聞きます。
 - ステップ6 [設定 (Set)] を押して、呼出音を使用します。
-

画面の明るさの調節


電話画面の明るさを変更して、画面を見やすくすることができます。

手順


-
- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [設定 (Settings)] > [明るさ (Brightness)] を選択します。
 - ステップ3 ナビゲーションクラスタを左に押すと暗くなり、右に押すと明るくなります。
 - ステップ4 [保存]を押します。
-

コントラストの調整

Cisco IP 電話 8811 のコントラストを変更して、画面を見やすくすることができます。

所有している電話機のモデルをチェックするには、[アプリケーション (Applications)]  を押して、[電話の情報 (Phone information)] を選択します。[モデル番号 (Model number)] フィールドに、電話機のモデルが表示されます。

手順

-
- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [設定 (Settings)] > [コントラスト (Contrast)] を選択します。
 - ステップ3 コントラストを選択します。

ステップ4 ナビゲーション クラスタを左に押すと暗く、右に押すと明るくなります。

ステップ5 コントラストを設定するには、[保存 (Save)] を押します。


フォント サイズの変更

電話機のフォント サイズを変更して、画面を見やすくすることができます。ただし、フォント サイズを大きくすると、一部のメッセージが欠ける場合があります。

フォント サイズは次のラベルに影響します。

- コール画面（発信者名と機能キー ラベル）
- 通話履歴内の発信者名
- 電話画面の回線ラベル

手順

ステップ1 アプリケーション  を押します。

ステップ2 [設定 (Settings)] > [フォント サイズ (Font Size)] を選択します。


ステップ3 フォント サイズを選択して、[設定 (Set)] を押します。

ステップ4 [終了 (Exit)] を押して、[アプリケーション (Applications)] ウィンドウに戻ります。

電話機の名前の変更

電話機の名前をデフォルト名から変更できます。モバイルデバイスをデスクフォンとペアリングすると、モバイルデバイスにこの名前が表示されます。

手順

ステップ1 アプリケーション  を押します。

ステップ2 [設定 (Settings)] > [電話機の名前 (Phone name)] を選択します。

ステップ3 キーボードを使用して名前を入力します。

ステップ4 [適用 (Apply)] を押します。

ステップ5 [終了 (Exit)] を押します。


ビデオ設定

ビデオ電話機を使用している場合、設定によってビデオを制御できます。

ビデオの明るさの調節

オフィスの照明の影響でビデオが見にくい場合は、明るさを調節できます。

手順


- ステップ1 カメラのリングを時計方向に回して、シャッターを開きます。
- ステップ2 アプリケーション  を押します。
- ステップ3 [設定 (Settings)] > [ビデオ (Video)] > [露出 (Exposure)] を選択します。
- ステップ4 ナビゲーションクラスタを左に押すと暗くなり、右に押すと明るくなります。
- ステップ5 [保存]を押します。

ビデオ帯域幅の調節

ビデオ コール中に、ビデオが突然停止したり、音声より遅延してタイムラグが発生したりすることがあります。このラグは、しばしばネットワークがビジー状態であるために引き起こされます。

デフォルトでは、音声とビデオのネットワーク要件のバランスを考慮した帯域幅設定が電話機で自動的に選択されます。ビデオのタイムラグが頻繁に発生する場合は、固定帯域幅を選択できます。最初は最小値に設定し、ビデオのラグが解消されない場合にのみ設定値を大きくすることをお勧めします。

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [設定 (Settings)] > [ビデオ (Video)] > [帯域幅 (Bandwidth)] を選択します。
- ステップ3 帯域幅の設定を1つ選びます。
- ステップ4 [保存 (Save)]を押すと、帯域幅が設定されます。

ビデオ コールをコンピュータで表示する

電話画面の代わりにコンピュータ上で、コールのビデオ部分を表示することができます。コールの音声部分は引き続き電話機から聞こえます。

Cisco IP 電話 8845 または 8865 などのビデオカメラが接続されている場合、電話機でデスクフォンのビデオ機能を使用することはできません。

始める前に

イーサネット ケーブルを使ってコンピュータを電話機の PC ポートに接続し、Cisco Jabber for Windows または Cisco Jabber for Mac にログインします。電話機は、コンピュータで最初のネットワーク インターフェイス カード (NIC1) に接続されている必要があります。

電話機で Wi-Fi を有効にすると、電話機の PC ポートが無効になります。


Cisco Media Services Interface (MSI) の最新バージョンと、次のいずれかの製品が必要です。

- Windows 版 Cisco Jabber 9.7(5) 以降
- Cisco Jabber for Mac 10.8.1 以降

Cisco Jabber または MSI の最新バージョンを持っていない場合は、管理者に問い合わせてください。ハードウェアとソフトウェアの要件の一覧については、次を参照してください。

- Windows 版 Cisco Jabber リリース ノート : <http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/jabber-windows/products-release-notes-list.html>
- Mac 版 Cisco Jabber リリース ノート : <http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/jabber-mac/products-release-notes-list.html>

手順

-
- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ 2 [設定 (Settings)] > [ビデオ (Video)] を選択します。
 - ステップ 3 [コンピュータ経由のビデオ (Video through computer)] を選択します。
 - ステップ 4 [オン (On)] を選択して、ビデオを有効にします。
-

ボイス通知の下位レベルをオフにする


ユーザが大きな声で話す場合は、適切なレベルで話すように電話機でリマインダ設定ができません。大きな声で話す (事前に定義されたしきい値を超える) 、電話画面に警告メッセージが表示されます。最初の警告の後に大きな声で話す、音が鳴ります。

声を小さくするか、[無視 (Ignore)] を選択してメッセージを閉じてください。

管理者はこの機能を有効または無効にできます。無効にした場合、[設定 (Settings)] メニューにメッセージや項目は表示されません。

管理者によって有効にされた場合、[声を小さくしてください (Lower Your Voice)] が電話機のデフォルトで有効になりますが、これをオンにすることができます。ハンドセットおよびヘッドセットにのみ使用できます。

手順


- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 設定 > 音声音量を下げるに移動します。
 - ステップ3 [オフ (Off)] を押します。
 - ステップ4 ポップアップウィンドウでOKを押します。
-

音声フィードバックをアクセシビリティから有効にする

ナビゲーションリングの選択ボタンを3回押して、音声フィードバック機能を有効または無効にできます。この機能には、電話機のアクセシビリティ設定からもアクセスできます。

音声フィードバックが有効な状態では、ソフトキーボタンを2回押して機能を使用または設定します。

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [アクセシビリティアクセシビリティ (Accessibility)] > [音声フィードバック (Voice Feedback)] を選択します。
 - ステップ3 [オン (On)] を選択して、機能を有効にします。
 - ステップ4 [終了 (Exit)] を2回押して設定を保存し、[アプリケーション (Applications)] に戻ります。
-


関連トピック

[音声フィードバック \(44 ページ\)](#)

音声の速度を調整する

音声フィードバックの読み上げ速度が速すぎる、または遅すぎる場合は、速度をカスタマイズできます。音声の速度を選択するには、音声フィードバックが有効になっている必要があります。

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [アクセシビリティ (Accessibility)] > {音声速度 (Voice Speed)} を選択します。
- ステップ3 ナビゲーションクラスタを上下に押して移動します。[選択 (Select)] をクリックして速度を選択します。
- ステップ4 [保存 (Save)] を2回押して設定を保存し、[アクセシビリティ (Accessibility)] に戻ります。

ステップ5 [終了 (Exit)]を2回選択して[アプリケーション (Applications)]に戻ります。

関連トピック


[音声フィードバック](#) (44 ページ)

電力節約モードのキー LED の選択をオフにする

電力節約モードでは、**選択 (Select)**ボタンのLEDをオフにすることができます。これにより、ワークスペースでの視覚的な注意散漫を低減させることができます。

選択ボタンは、電話機のナビゲーションクラスタの中央にあります。**選択 (Select)**ボタンのLEDが、電力節約モードでは、デフォルトでオンになっています。

手順

ステップ1 アプリケーション  を押します。

ステップ2 [設定 > 電力節約 (Power save)] インジケータを選択します。

ステップ3 オフを押してLEDをオフにします。

ステップ4 [警告 (warning)] ウィンドウで、**OK**を押します。

ヘッドセットとユーザ情報の関連付け

お使いの電話機から、お使いのサインイン ID にヘッドセットを関連付けることができます。このアソシエーションは、エクステンションモビリティを使用するのに役立ちます。

ヘッドセットの関連付けを解除する必要がある場合は、管理者に問い合わせてください。[電話 (phone)] メニューからヘッドセットの関連付けを変更または更新することはできません。



(注) ヘッドセットがアップグレード中またはコール中の場合は、関連付けを行うことができません。アップグレードが終了するか、またはコールが終了するのを待ってからこの手順を実行します。

始める前に


- シスコヘッドセット 500 シリーズは、USB または Y 字型ケーブルを使用して電話に接続するか、シスコヘッドセット 560 シリーズ (スタンダードベース付き) またはCisco ヘッドセット 560 シリーズ マルチベースを介して電話に接続します。

[シスコヘッドセット 730 は、USB を使用して電話に接続するか、またはCisco ヘッドセット USB HD アダプタ でペアリングされます。

- ファームウェア アップグレードは進行できません。

- 電話機はアイドル状態である必要があります。

手順

- ステップ1 デスクフォンで、[アプリケーション]  を押します。
- ステップ2 [アクセサリ (Accessories)] > [Cisco ヘッドセット (Cisco Headset)] > [設定 (Setup)] > [ユーザの関連付け (Associate user)] を選択します。
- ステップ3 ユーザ ID と PIN を入力します。
- ステップ4 [送信 (Submit)] を押します。

関連トピック


[Cisco ヘッドセットからエクステンションモビリティへのログイン](#) (23 ページ)

コール中に音量を調節する

ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカーフォンの音量が大きすぎるか小さすぎる場合は、相手の声を聞きながら音量を調節できます。コール中に音量を変更すると、その変更はその時点で使用しているスピーカーのみに影響します。たとえば、ヘッドセットの使用時に音量を調整すると、ハンドセットの音量は変化しません。

手順

- ステップ1 通話中に [音量 (Volume)]  を右または左に押すと、音量を調節できます。

- ステップ2 通話中に [音量 (Volume)]  を上または下に押すと、音量を調節できます。

着信音量の調節

コールの着信音量が大きすぎるか小さすぎる場合は、音量を調節できます。着信音量の変更は、コール中の通話音量には影響しません。

手順

- ステップ1 電話機の着信音が鳴っているときに音量  を右または左に押すと、着信音量を調節できます。



ステップ 2 電話機を使用していないときに**音量**を上または下に押すと、音量を調整できます。

電話機の表示言語

電話機は、多くの言語でテキストを表示できます。管理者が電話機で使用される言語を設定します。言語を変更する場合は、管理者に問い合わせてください。



第 7 章

アクセサリ

- サポートされるアクセサリ (123 ページ)
- お使いの電話モデルをチェックする (126 ページ)
- 電話機に関連付けられたアクセサリの表示 (126 ページ)
- ヘッドセット (127 ページ)
- Cisco IP 電話 8800 キー拡張モジュール (165 ページ)
- シリコンカバー (171 ページ)

サポートされるアクセサリ

ヘッドセット、マイク、スピーカーなど、さまざまな種類のアクセサリと一緒に電話機を使用できます。このセクションの表は、お使いの電話機でサポートされているアクセサリを示しています。

次の表では、Cisco IP 電話 8800 シリーズ で使用できる Cisco アクセサリを説明しています。

表 25: Cisco 製アクセサリ Cisco IP 電話 8800 シリーズ

| アクセサリ | タイプ (Type) | 8811 | 8841 | 8845 | 8851 | 8851NR | 8861 | 8865 | 8865NR |
|-------------------------------|---------------|---------|---------|---------|------|--------|------|------|--------|
| Cisco IP 電話 8800 キー拡張モジュール | アドオン モジュール | サポート対象外 | サポート対象外 | サポート対象外 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 |

サポートされるアクセサリ

| アクセサリ | タイプ (Type) | 8811 | 8841 | 8845 | 8851 | 8851NR | 8861 | 8865 | 8865NR |
|---------------------------------------|---------------|---------|---------|---------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| Cisco IP Phone 8851/8861 キー拡張モジュール | アドオンモジュール | サポート対象外 | サポート対象外 | サポート対象外 | サポートされる 最大2つの同じタイプの拡張モジュールをサポート。 | サポートされる 最大2つの同じタイプの拡張モジュールをサポート。 | サポートされる 最大3つの同じタイプの拡張モジュールをサポート。 | サポート対象外 | サポート対象外 |
| Cisco IP 電話 8865 キー拡張モジュール | アドオンモジュール | サポート対象外 | サポート対象外 | サポート対象外 | サポート対象外 | サポート対象外 | サポート対象外 | サポートされる 最大3つの同じタイプの拡張モジュールをサポート。 | サポートされる 最大3つの同じタイプの拡張モジュールをサポート。 |
| 壁面取り付けキット | アドオンモジュール | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる |
| ケーブルロック | アドオンモジュール | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる |
| フットスタンド | アドオンモジュール | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる |
| シリコンケース | 電話機のケース | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる |
| シスコヘッドセット 520シリーズ | USB | サポート対象外 | サポート対象外 | サポート対象外 | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる |
| シスコヘッドセット 530シリーズ | スタンド | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる |

| アクセサリ | タイプ (Type) | 8811 | 8841 | 8845 | 8851 | 8851NR | 8861 | 8865 | 8865NR |
|-----------------------------|---------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| シスコヘッドセット 530シリーズ | USBアダプタ | サポート対象外 | サポート対象外 | サポート対象外 | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる |
| シスコヘッドセット 560シリーズ | スタンド | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる |
| シスコヘッドセット 560シリーズ | USBアダプタ | サポート対象外 | サポート対象外 | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる |
| シスコヘッドセット 720シリーズ | USBアダプタ | サポート対象外 | サポート対象外 | サポート対象外 | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる |
| シスコヘッドセット 720シリーズ | Bluetooth | サポート対象外 | サポート対象外 | サポートされる | サポートされる | サポート対象外 | サポートされる | サポートされる | サポート対象外 |
| シスコヘッドセット 730 | USBアダプタ | サポート対象外 | サポート対象外 | サポート対象外 | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる |
| シスコヘッドセット 730 | Bluetooth | サポート対象外 | サポート対象外 | サポートされる | サポートされる | サポート対象外 | サポートされる | サポートされる | サポート対象外 |
| Bang & Olufsen Cisco 980 | USBアダプタ | サポート対象外 | サポート対象外 | サポート対象外 | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる |
| Bang & Olufsen Cisco 980 | Bluetooth | サポート対象外 | サポート対象外 | サポートされる | サポートされる | サポート対象外 | サポートされる | サポートされる | サポート対象外 |

次の表では、Cisco IP 電話 8800 シリーズ で使用できるサードパーティアクセサリを説明しています。


表 26: サードパーティ製アクセサリ Cisco IP 電話 8800 シリーズ

| アクセサリ | タイプ (Type) | 8811 | 8841 | 8845 | 8851 | 8851NR | 8861 | 8865 | 8865NR |
|---------|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| ヘッドセット | アナログ | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる |
| ヘッドセット | アナログ ワイドバンド | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる |
| ヘッドセット | Bluetooth | サポート対象外 | サポート対象外 | サポートされる | サポートされる | サポート対象外 | サポートされる | サポートされる | サポート対象外 |
| ヘッドセット | USB | サポート対象外 | サポート対象外 | サポート対象外 | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる | サポートされる |
| マイクロフォン | 外部 PC | サポート対象外 | サポート対象外 | サポート対象外 | サポート対象外 | サポート対象外 | サポートされる | サポートされる | サポートされる |
| スピーカー | 外部 PC | サポート対象外 | サポート対象外 | サポート対象外 | サポート対象外 | サポート対象外 | サポートされる | サポートされる | サポートされる |

お使いの電話モデルをチェックする

各電話機が異なるアクセサリセットをサポートしているため、お使いの電話機のモデルを知ることが重要です。

手順


ステップ 1 アプリケーション  を押します。

ステップ 2 [電話の情報 (Phone information)] を選択します。[モデル番号 (Model number)] フィールドに、電話機のモデルが表示されます。

電話機に関連付けられたアクセサリの表示

ヘッドセットジャック、Bluetooth、または USB ポートを使用して、電話機に外部ハードウェアを接続できます。アクセサリ リストには、アナログヘッドセットがデフォルトで含まれています。このヘッドセットは、ワイドバンドを有効にするように設定できます。

手順

ステップ 1 アプリケーション  を押します。

ステップ 2 次のオプションのいずれかを選択します。

- アクセサリ
- Bluetooth

ステップ 3 (任意) アクセサリを選択して、[詳細の表示 (Show detail)] を押します。

ステップ 4 [終了 (Exit)] を押します。

ヘッドセット

Cisco IP 電話 およびデバイスで使用できる Cisco およびサードパーティ製ヘッドセットが多数用意されています。Cisco ヘッドセットのその他の詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collaboration-endpoints/headsets/index.html>を参照してください。

関連トピック

[サポートされるアクセサリ](#) (123 ページ)

ヘッドセットの安全性に関する重要な情報



高音圧：聴覚の障害を防ぐため、長時間大音量で聴き続けることは避けてください。

ヘッドセットを接続する際は、ヘッドセットのスピーカーの音量を下げてからヘッドセットを着用してください。ヘッドセットを外す前に音量を下げるようにすれば、再度ヘッドセットを接続する際に音量は最初から低い状態になります。

周りに注意してください。ヘッドセットを使用すると、特に緊急事態や騒音の多い環境で、外部の重要な音が遮断される可能性があります。運転中にヘッドセットを使用しないでください。人やペットが横切る可能性がある場所にヘッドセットまたはヘッドセット ケーブルを放置しないでください。ヘッドセットまたはヘッドセットケーブルの近くに子供がいる場合は、常に目を離さないようにしてください。

シスコ ヘッドセット 500 シリーズ

次の Cisco ヘッドセットを使用できます。

- Cisco ヘッドセット 521 - インライン USB コントローラが付いた単一のイヤピースを備えたヘッドセット。

- Cisco ヘッドセット 522 - インライン USB コントローラが付いたデュアルイヤピースを備えたヘッドセット。
- Cisco ヘッドセット 531 - 標準のヘッドセットまたは USB アダプタを使用した USB ヘッドセットとして使用できる単一のイヤピースを備えたヘッドセット。
- Cisco ヘッドセット 532 - 標準のヘッドセットまたは USB アダプタを使用した USB ヘッドセットのいずれかとして使用できるデュアルイヤピースを備えた標準のヘッドセット。
- Cisco ヘッドセット 561 - ベースに付属の単一のイヤホンを備えたワイヤレスヘッドセット。
- Cisco ヘッドセット 562 - ベースに付属のデュアルイヤホンを備えたワイヤレスヘッドセット。

Cisco ヘッドセット 521 および 522

Cisco ヘッドセット 521 および 522 は、Cisco IP 電話 およびデバイスで使用するために開発された 2 つの有線ヘッドセットです。Cisco ヘッドセット 521 には、着用と快適性を向上させるための単一のイヤピースが装備されています。Cisco ヘッドセット 522 には、騒々しい職場で使用するための 2 つのイヤピースが装備されています。

両方のヘッドセットには、ラップトップやモバイル機器用の 3.5mm コネクタが付いています。インライン USB コントローラは、Cisco IP 電話 8851、8851NR、8861、8865、および 8865NR でも使用できます。このコントローラは、通話に簡単に応答し、ホールドやレジューム、ミュート、ボリュームコントロールなどの基本的な電話機能にアクセスするための簡単な方法です。

これらのヘッドセットが正しく機能するには、電話機ファームウェアのリリース 12.1(1) 以降が必要です。

図 10: Cisco ヘッドセット 521



図 11: Cisco ヘッドセット 522



Cisco ヘッドセット 531 および 532

Cisco Headset 531 および 532 は、電話機の標準ヘッドセットとして使用できます。RJ コネクタを使用して、ヘッドセットポートにヘッドセットを接続します。

Cisco ヘッドセット USB アダプタは、Cisco IP 電話 8851、8851NR、8861、8865、および 8865NR でも使用できます。アダプタは、Cisco ヘッドセット 531 および 532 を USB ヘッドセットに変換し、いくつかの追加機能を提供します。通話を処理したり、マイクをテストしたり、低音や高音、ゲイン、サイドトーンの設定をカスタマイズする便利な方法を提供します。

ヘッドセットが正しく機能するには、電話機ファームウェアのリリース 12.1(1) 以降が必要です。

図 12: Cisco ヘッドセット 531



図 13: Cisco ヘッドセット 532



Cisco ヘッドセット 561 および 562

Cisco ヘッドセット 561 および 562 は、今日のオフィスで使用するために開発された 2 つのワイヤレスヘッドセットです。Cisco ヘッドセット 561 には、着用と快適性を向上させるための単一のイヤピースが装備されています。Cisco ヘッドセット 562 には、騒々しい職場で使用するための 2 つのイヤピースが装備されています。

両方のヘッドセットには、ヘッドセットを充電したり、LEDディスプレイでヘッドセットの電力レベルを監視するための標準ベースまたはマルチベースが付属しています。両方のベースには、着信コール、アクティブコール、ミュート時の通話など、通話ステータスも表示されます。ヘッドセットがファームウェアをアップグレードしている場合には、LEDにアップグレードの進捗状況が表示されます。

ベースは、お使いの携帯電話のモデルと個人の好みに応じて、USB コネクタまたは Y ケーブルのいずれかを使用して電話機に接続します。Y ケーブルは電話機の AUX ポートとヘッドセットポートに差し込まれます。

ベースをコンセントに接続するための AC プラグが付属しています。電源アダプタを接続する前に、地域で使用する電源クリップを取り付ける必要があります。

時折、Cisco ヘッドセット 561 または 562 からトーン音が再生されることがあります。これらのトーン音の中には、ボタンを押すなどのアクションを実行するときに警告するものもあります。他のトーンは、バッテリーの充電が必要な場合や、ベースステーションから離れすぎている場合など、ヘッドセットに注意が必要であることを警告します。

Cisco ヘッドセット 561 および 562 が Cisco Unified Communications Manager 12.5(1) 以前と正しく機能するための電話機ファームウェアのリリース 12.5(1) 以降および defaultheadsetconfig.json ファイル。

図 14: Cisco ヘッドセット 561



図 15: Cisco ヘッドセット 562



Cisco Headset 500 シリーズのサポート

Cisco IP 電話 8800 シリーズには、ヘッドセットとベースを電話機に接続するための RJ 形式のコネクタと USB ポートの両方があります。ただし、接続のタイプはお使いの電話機モデルによって異なります。次の表では、Cisco IP 電話 8800 シリーズのヘッドセット接続と電話機モデルのサポートを説明しています。

表 27: Cisco IP 電話 8800 シリーズでのヘッドセットのサポート。

| | | |
|--------------------------------------|---|---|
| シスコ ヘッドセット 500 シリーズ | Cisco IP 電話 8811 Cisco IP 電話 8841 Cisco IP 電話 8845 | Cisco IP 電話 8851 Cisco IP 電話 8851NR Cisco IP 電話 8861 Cisco IP 電話 8865 Cisco IP 電話 8865NR |
| Cisco ヘッドセット 521 Cisco ヘッドセット 522 | サポート対象外 | サポートされる (USB インラインコントローラ付) |
| Cisco ヘッドセット 531 Cisco ヘッドセット 532 | サポートされる (RJ コネクタ) | サポートされる (RJ コネクタまたは USB アダプタ付) |
| Cisco ヘッドセット 561 Cisco ヘッドセット 562 | サポートされる (Y 字型ケーブル) | サポートされる (Y 字型ケーブルまたは USB ケーブル) |

関連トピック

[Cisco ヘッドセットのカスタマイズ](#) (153 ページ)

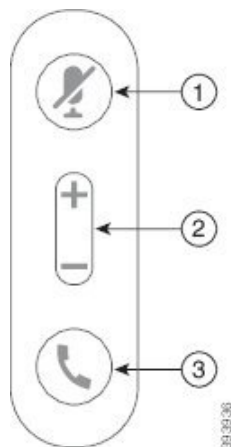
[ヘッドセットを電話機に接続する](#) (148 ページ)

[電話機でのヘッドセットの設定](#) (150 ページ)

Cisco ヘッドセット 521 および 522 コントローラのボタンとハードウェア

コントローラのボタンは、基本的な通話機能に使用されます。

図 16: Cisco ヘッドセット 521 および 522 コントローラ



次の表は、Cisco ヘッドセット 521 および 522 コントローラのボタンについて説明しています。

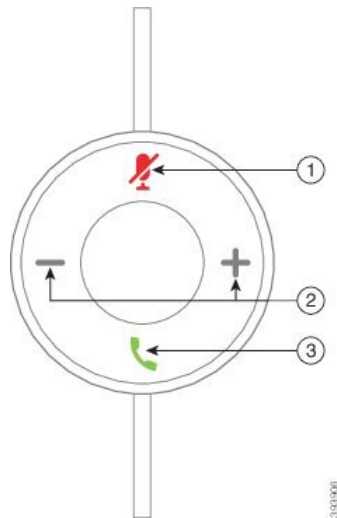
表 28: Cisco ヘッドセット 521 および 522 コントローラ ボタン

| 番号 (Number) | 名前 | 説明 |
|-------------|---------|---|
| 1 | ミュートボタン | マイクフォンのオン/オフを切り替えます。 |
| 2 | 音量ボタン | ヘッドセットの音量を調整します。 |
| 3 | コール | <p>次は通話の管理に使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 着信コールに応答するには 1 回押します。 通話を終了するには、長押しします。 着信コールを拒否するには、2 回押します。 アクティブコールを保留にするには、1 回を押します。もう一度押すと、保留中の通話を取得します。 1 回押すと、アクティブな通話を保留にし、着信コールに応答します。 |

Cisco ヘッドセット 531 および 532 USB アダプタのボタンとハードウェア

アダプタは基本的な通話機能に使用されます。

図 17: Cisco ヘッドセット USB アダプタ



次の表は、シスコ ヘッドセット USB アダプタのボタンについて説明しています。

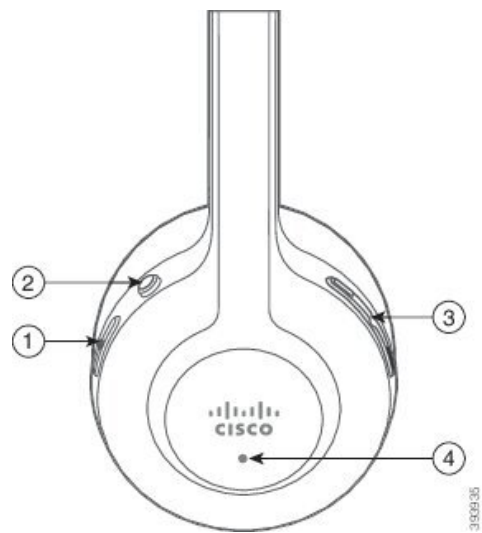
表 29: Cisco USB アダプタのボタン

| 番号 (Number) | 名前 | 説明 |
|-------------|---------|---|
| 1 | ミュートボタン | マイクروفオンのオン/オフを切り替えます。 |
| 2 | 音量ボタン | ヘッドセットの音量を調整します。 |
| 3 | 通話ボタン | <p>次はコールの発信、応答、および管理に使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールを発信するには1回を押します。 • 着信コールに応答するには1回押します。着信コールを拒否するには、2回押します。 • 1回押すと、アクティブな通話を保留にし、着信コールに応答します。 • アクティブコールを保留にするには、1回を押します。 • 通話を終了するには、長押しします。 |

Cisco ヘッドセット 561 および 562 ボタンおよび LED


ヘッドセットのボタンは、基本的な通話機能に使用されます。

図 18: Cisco ヘッドセット 561 および 562 ヘッドセットのボタン



次の表は、Cisco ヘッドセット 561 および 562 ヘッドセットのボタンについて説明しています。

表 30: Cisco ヘッドセット 561 および 562 ヘッドセットのボタン

| 番号 (Number) | 名前 | 説明 |
|----------------|------------|---|
| 1 | 電源および通話ボタン | <p>ヘッドセットの電源のオン/オフに使用します。</p> <p>ヘッドセットの電源を入れたり切ったりするには4秒間押し続けます。</p> <p>着信およびアクティブコールの管理は1回の通話か複数の通話かによって異なります。</p> <p>1つの通話：</p> <ul style="list-style-type: none"> 着信通話に応答するには1回押します。 アクティブコールを保留にするには、1回を押します。もう一度押すと、保留中の通話を取得します。 着信コールを拒否するには、2回押します。 アクティブコールを終了するには、長押しします。 <p>複数の通話:</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回押すと、アクティブコールを保留にし、2番目の着信通話に応答します。 現在のコールを保留にするには1回押します。もう一度押すとコールが再開され、現在の通話を終了して保留中の通話を再開するには2秒間押し続けます。 長押しすると、アクティブコールを終了し、別の着信コールに応答します。 2回押すと、現在の通話に留まり、2番目の通話を拒否します。 |
| 2 | ミュートボタン | <p>マイクロフォンのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットのミュートが有効になっている場合には、電話機のミュート  が点灯します。</p> |
| 3 | 音量ボタン | <p>ヘッドセットの音量を調整します。</p> |

| 番号 (Number) | 名前 | 説明 |
|----------------|-----|--|
| 4 | LED | <p>次のようにヘッドセットのステータスを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 赤の高速点滅: 着信通話。 • 赤く点灯: アクティブコール。 • 白く点滅: ファームウェアのアップグレードが進行中です。 |

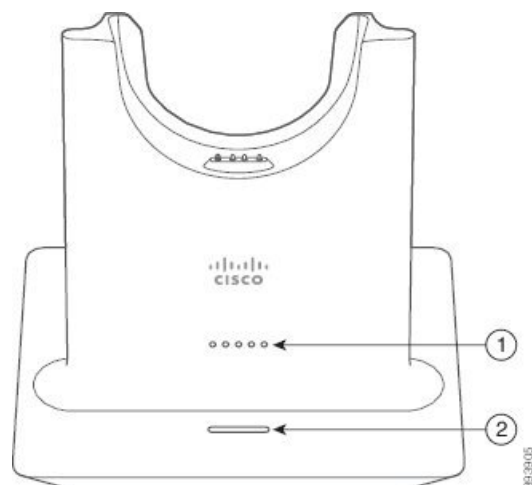
Cisco ヘッドセット 561 と 562 の標準ベース

Cisco ヘッドセット 561 および 562 には、ヘッドセットを充電するためのスタンダードベースが付属しています。ベースの LED ディスプレイには、現在のバッテリー残量と通話状態が表示されます。

ヘッドセットのコール制御ボタンを使用することに加えて、ヘッドセットを持ち上げたり、ベースに置いたりしても、コールに回答したり終了したりできます。この機能を利用するには、[ドックで通話を終了]および[オフドックで通話に回答]が電話で有効になっていることを確認します。詳細については、[オンドックまたはオフドックの通話動作を変更する \(155 ページ\)](#) を参照してください。

ベースとヘッドセットの接続は、DECT (Digital Enhanced Cordless Telecommunications) を使用して行われます。

図 19: Cisco 561 および 562 ヘッドセット用スタンダードベースの LED ディスプレイ



次の表は、Cisco 561 および 562 ヘッドセットのスタンダードベースについて説明しています。

表 31: Cisco 561 および 562 ヘッドセットの標準ベース

| 番号 (Number) | 名前 | 説明 |
|----------------|-----------------|--|
| 1 | バッテリーのステータス LED | ヘッドセットのバッテリー充電量を示します。 |
| 2 | 通話ステータス LED | 次のように通話状態を通知します。 <ul style="list-style-type: none"> • コール着信：緑の点滅。 • アクティブ コール: 緑色で点灯。 • ミュート コール - 赤色で点灯。 |

シスコ ヘッドセット 560シリーズ のマルチベース

マルチベースは、Bluetooth®、USB コネクタ、または Y 字型ケーブルを介して最大 3 つの発信元に接続できます。マルチベースでは、最大 4 つの Bluetooth デバイスを保存できます。マルチベースのボタンを使用して発信元を切り替えることができます。

ヘッドセットのコール制御ボタンを使用して、コールの応答と終了を行います。デフォルトでは、ヘッドセットがベースにある場合、ヘッドセットをベースから取り外すと、自動的に通話に応答します。そしてヘッドセットをベースに戻して通話を終了することができます。通話の動作を変更する場合は、「[オンドックまたはオフドックの通話動作を変更する \(155 ページ\)](#)」を参照してください。

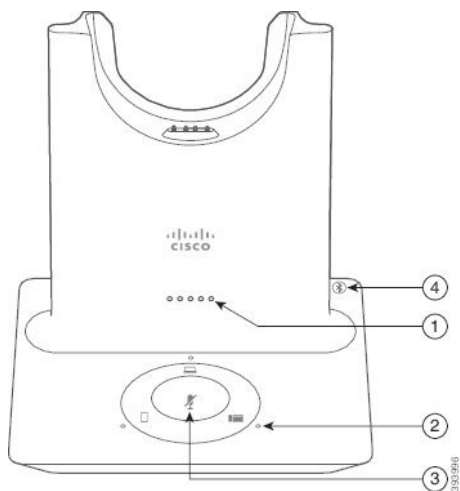
マルチベースには、次のコネクタケーブルが付属しています。

- USB - USB ケーブル：USB 接続のある Cisco IP 電話 用
- USB Y 字型ケーブル：USB ポートがない Cisco IP 電話 用
- ミニ USB ケーブル：PC または Mac 用。
- PC または Mac デバイスで個別に使用できる小型 USB を USB-C ケーブルに接続していません。



(注) シスコヘッドセット 560シリーズ のマルチベースは、Power over Ethernet (PoE) を使用した Cisco IP Phone 7800シリーズ 電話と互換性がありません。マルチベースを接続する場合は、外部電源を使用します。

図 20: マルチベース LED



次の表で、シスコ ヘッドセット 560 シリーズのマルチベース LED について説明します。

表 32: マルチベース LED

| 番号 (Number) | 名前 | 説明 |
|----------------|-----------------|--|
| 1 | バッテリーのステータス LED | <p>ヘッドセットのバッテリー充電量およびベースのステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘッドセットのバッテリー強度 - バッテリーが充電されるにつれ、LED が点滅から点灯に変化します。 更新中のヘッドセット - LED が左から右へ順番に点滅します。 ヘッドセットとベースがペアになっていない - すべての LED が点滅します。 省電力モード - 中央の LED が点灯します。 <p>10分間発信元に接続できないと、ベースは省電力モードに入ります。</p> |

| 番号 (Number) | 名前 | 説明 |
|----------------|--------------------|--|
| 2 | 通話ステータス LED | 次のように各ソースの通話状態を通知します。 <ul style="list-style-type: none"> • アクティブな発信元 - 白色に点灯 • 選択したソースでの着信通話 - 緑で点滅 • 選択されていないソースでの着信通話 - 緑で点滅 • アクティブコール: 緑色に点灯。 • 非アクティブソースでの通話 - 緑色に点灯 |
| 3 | ミュートステータス LED | ヘッドセットがミュートになったときに通知します。 |
| 4 | Bluetoothステータス LED | Bluetooth のステータスを通知します。 <ul style="list-style-type: none"> • 発信元とペアリング済み - 白色に点灯 • ペアリングモード - 白色の点滅 • 発信元を検索中 - 白色の明滅 • Bluetooth がオフ - LED がオフ |

アクティブなソースを管理するには、ベースのソース管理ボタンを使用します。各ソースボタンは、マルチベースの特定の接続に対応しています。

ソースに接続されていても、LED が点灯していない場合があります。ソース LED は、ソースが選択されているか、アクティブコールがある場合にのみ点灯します。たとえば、Bluetooth 経由で Cisco IP Phone、PC、および携帯電話に正しく接続されているとします。ただし、それぞれのソース LED が点灯するのは、それが選択されている、アクティブなコールがある、または着信中のときだけです。ソースボタンを押して、ソースが正しく接続されているか確認してください。接続されていない場合は、ソース LED が 3 回点滅します。


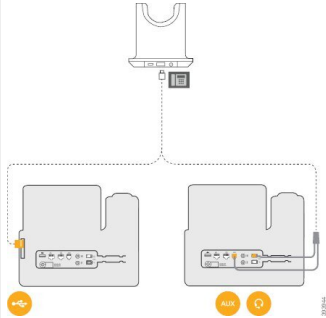

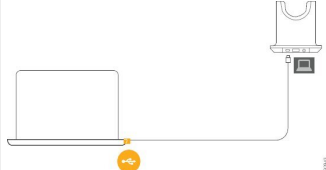
アクティブなコールソースを切り替えることができます。





- (注) 別の発信元に切り替える前に、アクティブなコールを保留にします。ある発信元との通話は、別の通話元に切り替えても自動的に保留にはなりません。

次の表に、複数のマルチベースソースアイコンと、それらに対応する接続を示します。

表 33: マルチベース ソース コンソール

| ソース (Source) | ベースアイコン | 接続 |
|--------------|---|---|
| デスクフォン |  |  <p>USB - USB コードまたは Y 字型ケーブル</p> <p>デスクフォンのアイコンは、マルチベースの背面にある中央の USB ポートに対応しています。Cisco IP 電話 への接続を目的としていますが、互換性のあるコールデバイスであれば正常に動作します。</p> |
| ラップトップ |  |  <p>Micro-USB コード</p> <p>ラップトップのアイコンは、マルチベースの背面にあるマイクロ USB ポートに対応しています。マイクロ USB ポートは、ラップトップまたはデスクトップコンピュータとの接続に使用されます。</p> |

| ソース (Source) | ベースアイコン | 接続 |
|--------------|---|---|
| 携帯 |  |  携帯電話のアイコンは、ベースの背面にある Bluetooth 接続と対応しています。携帯電話のアイコンである場合、ベースは、互換性のある Bluetooth コールデバイスに接続されます。 マルチベースでは、最大 4 台の Bluetooth コールデバイスを保存して記憶できます。 Bluetooth ソース経由で音楽を聴いている場合、ヘッドセットをベースに置くと音楽は一時停止します。 |

シスコヘッドセット 700 シリーズ

シスコヘッドセット 730 は、Bluetooth 接続で Cisco ソフトクライアントと Cisco IP 電話とペアリングするワイヤレスヘッドセットです。ヘッドセットには、雑音の多いオフィス環境で使用するための強力なノイズキャンセレーションおよび周辺オーディオ拡張システムに加えて、完全な呼制御と音楽再生機能が備わっています。

シスコヘッドセット 730 には、信頼性の高い Bluetooth ソリューションを提供しないデバイスで使用するための USB Bluetooth アダプタが付属しています。付属の USB-C から USB-A へのケーブルでヘッドセットをデバイスに接続することもできます。USB-C ケーブルは、充電ケーブルとしても機能し、電源が供給されている USB アダプタに接続できます。USB-C ケーブルを電話機の USB ポートに差し込むと、コール制御、ローカルチューニングとセットアップ、ファームウェアのアップグレードなど、すべての機能を使用できるようになります。

詳細については、次の付録および項を参照してください。 <https://www.cisco.com/c/en/us/products/collaboration-endpoints/headset-700-series/index.html>

シスコヘッドセット 730 ボタンとハードウェア

ヘッドセットのボタンは、基本的な通話機能に使用されます。各カップは、それぞれ異なるボタンと機能を備えています。

図 21: の左側と右側 シスコ ヘッドセット 730

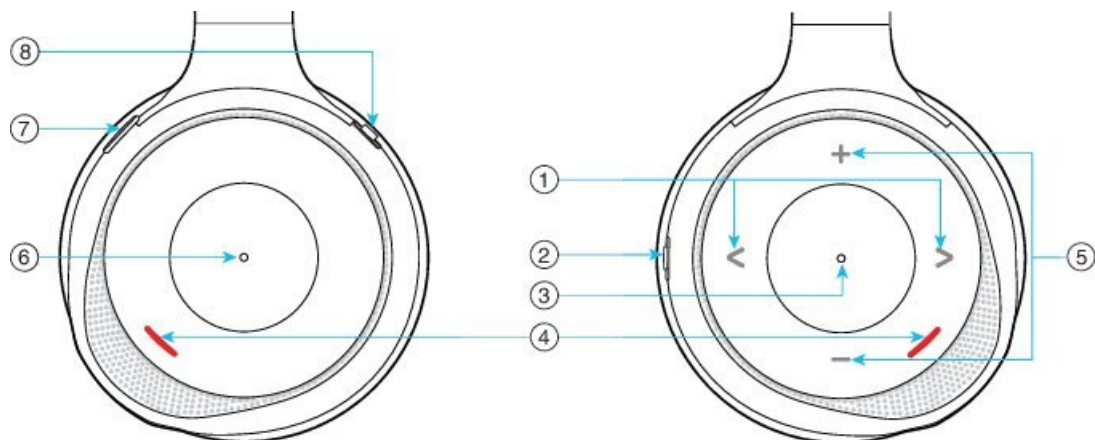









表 34: シスコ ヘッドセット 730 のボタン

| コールアウト番号 | 名前 | 説明 |
|----------|---|--|
| 1 | 音楽トラックのスキップ これは、右のカップフェースの左右です。 | 音楽トラック内の前方または後方にスキップします。音楽を再生できるデバイスにヘッドセットがペアリングされている場合にのみ使用できます。 |
| |  | |
| 2 | AMB と NC ボタン このボタンは、右のカップの裏側にあります。 | 3 方向切換スイッチ: <ul style="list-style-type: none"> • AMB: 上にスライドして、周囲モードを有効にします。 • アンビエントモードやノイズのキャンセル: 中間位置。 • NC: 下にスライドを移動し、ノイズのキャンセルを有効にします。 |
| |  | |

| コールアウト番号 | 名前 | 説明 |
|----------|---|---|
| 3 | 一時停止と再生 これは、右カップの中央にあり、点でマークされています。  | 音楽を再生または一時停止するためにを押します。音楽を再生できるデバイスにヘッドセットがペアリングされている場合にのみ使用できます。 |
| 4 | プレゼンス LED このLEDは、右と左の2つのカップ上にあるカップの表面に配置されています。  | 通話中、または通話中でないときにヘッドセットのミュートボタンを押した場合は、赤色で表示されます。 |
| 5 | ボリューム これは、右のカップフェースの上面と底面になります。  | 音量を上げる、または下げるには、上部または下部を押します。 |

| コールアウト番号 | 名前 | 説明 |
|----------|---|---|
| 6 | <p>通話ボタン</p> <p>これは左のカップの中心であり、点でマークされています。</p> | <p>コールの状態に基づいて、コール機能を制御します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 着信コール <ul style="list-style-type: none"> コールに応答する: 1 回押します。 電話を拒否する: 2 回押します。 アクティブ コール <ul style="list-style-type: none"> 通話を保留にする: 1 回押します。 通話の終了: トーンが聞こえるまで押し続けます。 |
| 7 | <p>ミュート</p> <p>これは左のカップの前面にあるボタンです。</p> | <p>マイクロフォンのオン/オフを切り替えます。</p> <p>ミュート時には、プレゼンス LED が赤色に点灯し、電話機のライトにミュート  ボタンが点灯します。</p> <p>アクティブコール中、IP 電話と Cisco ヘッドセット間のミュートステータスは、自動的に同期されます。この機能は、Cisco ヘッドセット 720 シリーズおよび Cisco ヘッドセット 730 でサポートされています。</p> |
| 8 | <p>Bluetooth と電源ボタン</p> <p>これは左側のカップの裏側にあります。</p>  | <p>3 方向切換スイッチ:</p> <ul style="list-style-type: none"> [Bluetooth]: 上部にスライドし、押したままヘッドセットを電話機にペアリングします。 電源: ヘッドセットをオンにするには、中央の位置までスライドします。ヘッドセットをオフにするには、下にスライドします。 |

Cisco Headset 720 Buttons and Hardware

For more information about シスコ ヘッドセット 720 シリーズ (Webex version) buttons and hardware, see [Get started with your Cisco Headset 720 Series](#).



Note For the headset that is connected with the IP Phones, it supports basic call controls, local settings, and headset serviceability features on Cisco Unified Communications Manager. For more information, see [Cisco Headset Compatibility Guide](#).

Bang & Olufsen Cisco 980 Buttons and Hardware

For more information about Bang & Olufsen Cisco 980 buttons and hardware, see [Get started with your Bang & Olufsen Cisco 980](#).



Note For the headset that is connected with the IP Phones, it only supports basic call controls. For more information, see [Cisco Headset Compatibility Guide](#).

サードパーティ製ヘッドセット

Cisco では、Cisco IP 電話 で使用するサードパーティ製ヘッドセットについて社内でテストを実施しています。しかし、ヘッドセットやハンドセットのベンダーの製品については動作の保証やサポートはしていません。ヘッドセットの製造元に問い合わせて、ご使用の Cisco 電話機で使用できるかどうかを確認してください。

ヘッドセットは、USB ポートまたは補助ポートを使用して電話機に接続します。ヘッドセットのモデルに応じて、ヘッドセットの側音の設定を含め、最適な音声エクスペリエンスのための電話機の音声設定を調整する必要があります。

サードパーティ製ヘッドセットがある場合、新しい側音設定を適用した後で1分間待ってから電話機を再起動すると、フラッシュに設定が格納されます。

ヘッドセットのマイクが検出する背景雑音の一部軽減されます。背景雑音をさらに軽減し、全体的な音声品質を向上させるには、ノイズキャンセルヘッドセットを使用することができます。

サードパーティ製ヘッドセットを検討している場合、不要な無線周波数 (RF) および可聴周波数 (AF) が遮蔽されたヘッドセットなどの高品質な外部デバイスの使用を推奨します。ヘッドセットの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音やエコーが入ることもあります。可聴ハム雑音などのノイズは、相手方だけに聞こえる場合もあれば、Cisco IP 電話 のユーザおよび相手方の両方に聞こえる場合もあります。ハム音またはバズ音は、さまざまな外的な要因、たとえば、電灯、電気モーター、大型の PC モニタなどによって引き起こされる場合があります。

場合によっては、ハム音は、ローカルパワーキューブやパワーインジェクタの使用によって、軽減または解消されることがあります。

Cisco IP 電話が展開される場所によって環境およびハードウェアが異なるため、すべての環境において最適な唯一のヘッドセットは存在しません。

ヘッドセットの購入を決定して大規模な展開を実施する前に、使用を想定している環境でテストし、パフォーマンスを測定することを推奨します。

同時に使用できるヘッドセットは1台のみです。最後に接続されたヘッドセットがアクティブヘッドセットとなります。

推奨されるヘッドセットとその他のオーディオアクセサリのリストについては、http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.htmlを参照してください。

Bluetooth ヘッドセット

電話機がBluetoothに対応している場合、Bluetoothヘッドセットを使用して通話できます。

電話機で Bluetooth ヘッドセットを使用するときには、次の点に注意してください。

- Bluetooth ヘッドセットと標準ヘッドセットの両方が電話機に接続されている場合、動作するのは常に一方のタイプのヘッドセットだけです。一方のヘッドセットを有効にすると、他方は自動的に無効になります。
- USB ヘッドセットを使用する場合、Bluetooth およびアナログ ヘッドセットはどちらも無効になります。USB ヘッドセットを取り外した場合、Bluetooth ヘッドセットまたは標準ヘッドセットを有効にする必要があります。
- ヘッドセットの最適なカバレッジを確保するには、Bluetooth ヘッドセットを電話機から 3 m (10 フィート) 以内の範囲で使用してください。
- 電話機は、Bluetooth ハンズフリー プロファイルをサポートしています。Bluetooth ヘッドセットでサポートされている場合、次の機能を Bluetooth ヘッドセットから実行できます。
 - コールに応答する
 - コールを終了する
 - ヘッドセットのコールの音量を変更する
 - 番号のリダイヤル
 - 発信者IDを表示する
 - 通話を拒否する
 - コールを転送する
 - コールを保留にして着信コールに対応する
 - コールを終了して着信コールに対応する

詳細については、Bluetooth ヘッドセットの製造元から提供されたマニュアルを参照してください。

関連トピック

[電話機でのヘッドセットの設定](#) (150 ページ)

音質

物理的、機械的、および技術的な性能以上に、ヘッドセットの音質がユーザと通話相手の双方にとって良質である必要があります。音質の判断は主観によるため、シスコではどのサードパーティのヘッドセットのパフォーマンスも保証することはできません。ただし、主要なヘッドセット製造業者製のさまざまなヘッドセットは、Cisco IP 電話 で使用した場合のパフォーマンスが優れていることが報告されています。

シスコは、自社製品のサードパーティヘッドセットを推奨またはテストすることはできません。シスコ製品のサードパーティ製ヘッドセットサポートについては、製造元の Web サイトを参照してください。

シスコは、Cisco IP 電話を使用してシスコヘッドセットをテストします。シスコヘッドセットと Cisco IP 電話のサポート詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collaboration-endpoints/headsets/index.html>を参照してください。

有線ヘッドセット

有線ヘッドセットでは、音量ボタンやミュート ボタンも含めて、Cisco IP 電話のすべての機能を使用できます。これらのボタンを使用して、ヘッドセットの音量を調整したり、ヘッドセットマイクからの音声をミュートしたりできます。

有線ヘッドセットを接続するときは、ケーブルを電話機のチャンネルにしっかりと押し込んでください。



注意 電話機のチャンネルにケーブルをきちんと押し込まない場合、ケーブルが損傷を受ける可能性があります。

ワイヤレス ヘッドセット

電話機でほとんどのワイヤレスヘッドセットを使用できます。サポートされるワイヤレスヘッドセットの一覧については、次を参照してください。http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.html

ヘッドセットの接続および機能の使用については、ワイヤレスヘッドセットのマニュアルを参照してください。

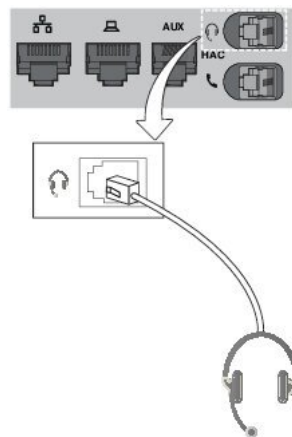
ヘッドセットを電話機に接続する

有線ヘッドセット、アダプタ、またはベースの各タイプは、異なるポートと異なるタイプのコネクタとケーブルを使用して電話機に接続します。一般的なタイプには、RJ コネクタ、USB コネクタ、および Y 字型ケーブルが含まれます。

標準ヘッドセットの接続

デスクの電話機では標準のヘッドセットを使用できます。標準のヘッドセットは、RJ タイプのコネクタで電話機の背面にあるヘッドセットジャックに差し込みます。

図 22: 標準ヘッドセットの接続



注意 電話機のチャンネルにケーブルを押し込むことに失敗すると、電話機内部のプリント回路基板が損傷する可能性があります。ケーブルチャンネルにより、コネクタとプリント回路ボードにかかる負担が軽減されます。

手順

ヘッドセットを電話機の背面にあるヘッドセットジャックに差し込みます。ケーブルをケーブルチャンネルに差し込みます。

USB ヘッドセットの接続

電話機で USB ヘッドセットを使用するときには、次の点に注意してください。

- 同時に使用できるヘッドセットは 1 台のみです。最後に接続されたヘッドセットがアクティブヘッドセットとなります。

- アクティブ コール中に USB ヘッドセットを取り外しても、オーディオパスは自動的に変更されません。Press the **スピーカーフォン (Speakerphone)** ボタンを押すか、ヘッドセットを持ち上げてオーディオを変更します。

モデルに応じて、携帯電話に複数の USB ポートがある可能性があります。Cisco IP 電話 8851 および 8851NR には、電話機の側面に USB ポートが 1 つあります。Cisco IP 電話 8861、8865、および 8865NR には、電話機の側面と背面に USB ポートが 1 つずつあります。

側面の USB ポートにアクセスするには、プラスチック カバーを取り外す必要がある場合があります。

手順

USB ヘッドセットのコネクタを電話機の USB ポートに差し込みます。

Cisco 標準ベースと Y 字型ケーブルの接続

付属の Y 字型ケーブルを使用して、標準ベースを電話機に接続できます。ただし、Y 字型ケーブルには、補助または AUX ポート用とヘッドセット ポート用の 2 つの RJ タイプ コネクタがあります。AUX ポート コネクタはヘッドセット ポート コネクタよりもわずかに大きいため、2 つのコネクタをサイズで区別することができます。



注意 電話機のチャンネルにケーブルを押し込むことに失敗すると、電話機内部のプリント回路基板が損傷する可能性があります。ケーブルチャンネルにより、コネクタとプリント回路ボードにかかる負担が軽減されます。

手順

-
- ステップ 1** 小さい方のコネクタを電話機の背面にあるヘッドセット ジャックに差し込みます。ケーブルをケーブル チャンネルに差し込みます。
 - ステップ 2** 大きなケーブルをヘッドセット ポートの横にある AUX ポートに差し込みます。
-

マルチベースを Bluetooth デバイスに接続する

シスコ ヘッドセット 560 シリーズのマルチベースは、携帯電話やタブレットなどの Bluetooth® デバイスに接続できます。お使いの通話デバイスには、ヘッドセット ベースは **[Cisco ヘッドセット]** とそれに続くヘッドセットのシリアル番号の最後の 3 桁で示されます。



(注) ヘッドセットのシリアル番号は、ベースの底面の右下隅にあります。

マルチベースでは、最大 4 つの Bluetooth デバイスを保存できます。すでにペアリング済みデバイスが 4 つある場合、最も長い間使用されていないデバイスはベースで置き換えられます。

手順

ステップ 1 ペアリングを開始するには、ベースの背面にある **[Bluetooth]** ボタンを 2 回押します。

ステップ 2 デバイスの **[設定 (Settings)]** メニューで、ヘッドセットを選択します。

ペアリングが成功すると、Bluetooth LED が白色に点灯します。

Bluetooth デバイスからマルチベースを切断する

ペアリングされた Bluetooth コールデバイスからマルチベースを切断することができます。

手順

ステップ 1 ベースの背面にある **[Bluetooth]** ボタンを 1 回押します。LED がオフになるまでしばらく時間がかかる場合があります。

ステップ 2 もう一度 **Bluetooth ボタン** を押して、同じコールデバイスに再接続します。

すべての Bluetooth のペアリングを削除

保存された Bluetooth[®] デバイスペアリングをすべて消去することができます。

手順

マルチベースの背面にある **Bluetooth** ボタンを 4 秒間長押しして、メモリを消去します。

電話機でのヘッドセットの設定

ヘッドセットを接続したら、電話機で設定する必要があります。

Cisco ヘッドセットに USB アダプタを使用している場合には、次の手順に従います。 [Cisco ヘッドセットのカスタマイズ \(153 ページ\)](#)

お使いの電話から Cisco ヘッドセットの設定をリセットする

シスコ ヘッドセットをリセットして、カスタム設定を削除することができます。この操作により、ヘッドセットは管理者の設定した元の設定に戻ります。


この機能を動作させるには、電話機がファームウェアリリース 12.5(1)SR3 以降を実行している必要があります。

始める前に

ヘッドセットを電話機に接続します。

- シスコ ヘッドセット 520 シリーズ : USB アダプターで接続
- シスコ ヘッドセット 530 シリーズ : USB ケーブルで接続
- シスコ ヘッドセット 560 シリーズ : USB または Y 字型ケーブルを使用して、標準ベースまたはマルチベースを接続します。

手順

ステップ 1 電話機で、[アプリケーション (Applications)]  を押します。


ステップ 2 [アクセサリ (Accessories)] > [設定 (Setup)] > [リセットの設定 (Reset settings)] を選択します。

ステップ 3 [警告 (warning)] ウィンドウで、[リセット (Reset)] を選択します。

ヘッドセット フィードバックの調整

ヘッドセットを使用するときには、自分の声がイヤホンから聞こえます。これをヘッドセット側音またはヘッドセット フィードバックといいます。電話機のヘッドセット側音のボリュームを制御することができます。


手順

ステップ 1 アプリケーション  を押します。


ステップ 2 [設定 (Settings)] > [ヘッドセットの側音 (Headset sidetone)] を選択します。

ステップ 3 特定の設定を選択します。

Bluetooth をオンまたはオフにする


Bluetooth がアクティブの場合、Bluetooth アイコン  が電話画面のヘッダーに表示されます。

手順

-
- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [Bluetooth] を選択します。
 - ステップ3 [オン (On)]または[オフ (Off)]を押します。
-

Bluetooth ヘッドセットの追加


手順

-
- ステップ1 Bluetooth ヘッドセットを検出可能にします。
 - ステップ2 アプリケーション  を押します。
 - ステップ3 [Bluetooth] > [Bluetooth デバイスを追加 (Add Bluetooth device)] を選択します。
お使いの電話機により、検出可能なアクセサリの検索が行われます。
 - ステップ4 ヘッドセットを選択し、[接続 (Connect)]を押します。
 - ステップ5 (任意) 要求された場合には、ヘッドセットのPINを入力します。
-

Bluetooth ヘッドセットの切断

Bluetoothヘッドセットを別のデバイスで使用するには、いったん接続を解除する必要があります。


手順

-
- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [Bluetooth] を選択します。
 - ステップ3 Bluetooth ヘッドセットを選択します。
 - ステップ4 [切断 (Disconnect)]を押します。
-

Bluetooth ヘッドセットの削除

Bluetoothヘッドセットを電話機で再度使用する予定がない場合は、削除します。

手順

-
- ステップ1 アプリケーション  を押します。


ステップ2 [Bluetooth] を選択します。

ステップ3 Bluetooth ヘッドセットを選択して、[削除 (Delete)] を押します。

ワイドバンド標準ヘッドセットの設定

広帯域オーディオに対応するヘッドセットを使用できます。広帯域オーディオでは、ヘッドセットから聞こえる音声の質が向上します。

手順

ステップ1 アプリケーション  を押します。

ステップ2 [アクセサリ (Accessories)] > [アナログヘッドセット (Analog headset)] > [セットアップ (Setup)] を選択します。

ステップ3 [オン (On)] または [オフ (Off)] を押してアナログヘッドセットのワイドバンドを有効または無効にします。

ステップ4 [戻る (Return)]  を押します。


電話の電子フックスイッチコントロールを有効にする

管理者が Cisco IP 電話の **管理者設定** を有効にしている場合は、電子フックスイッチ制御を有効または無効にしてシスコヘッドセット 560 シリーズベースに接続することができます。電子フックスイッチ制御がデフォルトでは有効になっています。



(注) この機能は、Cisco IP 電話 ファームウェア 12.7 (1) 以降で利用できます。

手順

ステップ1 電話機で、[アプリケーション (Applications)]  を押します。

ステップ2 [管理設定 > AUX ポート] に移動します。

ステップ3 [電子フックヘッドセットに接続] を選択し、電子フックスイッチ制御を有効にします。

Cisco ヘッドセットのカスタマイズ

一部シスコヘッドセット 500 シリーズは、設定をカスタマイズできる USB アダプタが付属しています。電話機を切り替える場合、ヘッドセットでは設定が保持されません。

シスコヘッドセット730ヘッドセットの設定をカスタマイズできます。電話機を切り替える場合、ヘッドセットでは設定が保持されます。現時点では、電話機にUSB-Cケーブルを使用してヘッドセットを接続している場合にのみ、設定をカスタマイズすることができます。

次のCiscoヘッドセットのいずれかを使用している場合は、ヘッドセットの設定をカスタマイズできます。

- Cisco ヘッドセット 521 および 522
- Cisco ヘッドセット 531 および 532
- Cisco ヘッドセット 561 および 562
- シスコヘッドセット 730

関連トピック


[シスコヘッドセット 500 シリーズ](#) (127 ページ)

Cisco ヘッドセット 500 シリーズのカスタマイズ

低音と高音の調節

低音と高音を調整して、ヘッドセットのサウンドをカスタマイズできます。低域が強い音のヘッドセットがお好みの場合、暖かみのある設定の方向に調節します。高域が強い音がお好み場合は、ブライتنا設定の方向に調節します。


手順

-
- ステップ1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ2 [アクセサリ (Accessories)] を選択してからヘッドセットを選択します。
 - ステップ3 [セットアップ (Setup)] > [スピーカー (Speaker)] > [チューニング (Tuning)] に移動します。
 - ステップ4 ナビゲーション クラスターの左右を押して、チューニングを調整します。
-

スピーカーのサイドトーンを調整する

サイドトーンとは、自分のヘッドセットで自分の声が聞こえるときの言い方です。通話中に自分の声が聞こえることに不快感を感じるユーザもいれば、ヘッドセットが動作していることを確認したいユーザもいます。

手順


-
- ステップ1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ2 [アクセサリ (Accessories)] を選択してからヘッドセットを選択します。

- ステップ3** [セットアップ (Setup)] > [スピーカー (Speaker)] > [サイドトーン (Sidetone)] に移動します。
- ステップ4** ナビゲーション クラスタの上または下を押し、サイドトーンを調整します。
- ステップ5** [設定 (Set)] を選択して設定を適用します。

マイク ボリュームの調節

マイクの音量はゲインとも呼ばれ、この設定で通話中の他の人に対する自分の声の大きさが制御されます。


手順

- ステップ1** [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。
- ステップ2** [アクセサリ (Accessories)] を選択してからヘッドセットを選択します。
- ステップ3** [セットアップ (Setup)] > [マイク (Microphone)] > [ゲイン (Gain)] に移動します。
- ステップ4** ナビゲーション クラスタを左右に押して、ゲインを調整します。

ヘッドセットの呼び出し音設定の変更

電話機ファームウェア 14.0 以降の Cisco IP Phone でヘッドセットの着信音の動作を変更できます。設定は電話機に保存され、接続されている シスコヘッドセット 500 シリーズに適用されます。

手順

- ステップ1** [アプリケーション (Applications)]  を押します。
- ステップ2** [初期設定 (Preferences)] > [ヘッドセットの呼出音 (Headset ringer)] の順に選択します。
- ステップ3** 呼出音の設定を選択します。
- デフォルトでは、電話機は呼出音の設定に従います。着信コールがあるときに常に電話の呼び出し音を聞く場合は、**オン**を選択します。**オフ**を選択すると、着信コールがあるときにヘッドセットから呼出音は鳴りません。
- ステップ4** [設定 (Set)] を選択して設定を適用します。

オンドックまたはオフドックの通話動作を変更する

ヘッドセットをベースから持ち上げたとき、またはヘッドセットをベースに下ろしたときの、通話の動作を変更することができます。

手順

ステップ 1 [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。

ステップ 2 [アクセサリ (Accessories)] を選択してからヘッドセットを選択します。

ステップ 3 [Setup] > [ドックで通話を終了] に移動します。

ステップ 4 機能を有効または無効にするには、[オン] あるいは [オフ] を選択します。

[オン] (デフォルト) : ヘッドセットをベースに置くと、アクティブコールが終了します。

[オフ] : ヘッドセットをベースに置いたとき、アクティブコールはまだ継続中です。

ステップ 5 [オフドックで通話に応答] に移動し、[オン] または [オフ] 機能を選択して有効または無効にします。

[オン] (デフォルト) : ヘッドセットをベースから持ち上げると、着信通話に応答します。

[オフ] : ヘッドセットをベースから取り上げている間は、着信通話に応答できません。

常時オンモードを有効にする

デフォルトでは、560 シリーズのヘッドセットとベースは、通話があるとき、または電話からの他の音声再生が行われると、DECT 接続を開始します。常時オンモードは、Cisco ヘッドセット 560 シリーズとベース間の DECT 音声接続を維持します。

デフォルトでは、通話の開始時にヘッドセットがベースとの接続を確立する間に若干の遅延が発生します。[常時オン (Always On)] モードでは、通話中や音楽の再生中でなくても、ヘッドセットとベースの間で音声の接続が維持されます。




- (注)
- ヘッドセット管理者は、通話コントロールシステムを通じて常時オンモードを無効にすることができます。
 - 常時オンモードは、DECT 密度の導入とヘッドセットのバッテリー寿命の両方に影響を与えます。密な DECT 環境でヘッドセットを使用しているかどうかは、管理者に確認してください。
 - 常時オンモードは通話品質に影響を与えませんが、ヘッドセットとベースが低い DECT 頻度で接続を維持するため、ストリーミングの音声品質がわずかに低下します。

始める前に

電話にこの機能をセットアップする権限があるかどうかを確認してください。権限がない場合は、管理者に問い合わせてください。

手順


- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [アクセサリ (Accessories)] を選択してからヘッドセットを選択します。
 - ステップ 3 [セットアップ] > [常時オン] に移動します。
 - ステップ 4 機能を有効または無効にするには、[オン] あるいは [オフ] を選択します。
デフォルトでは、この機能はディセーブルです。
-

Cisco ヘッドセット 700 シリーズのカスタマイズ

ノイズキャンセレーションレベルシスコ ヘッドセット 730の設定

ヘッドセットは、ノイズキャンセレーションのすべてのバックグラウンドサウンドをフィルタリングできます。


手順

- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ 2 [アクセサリ (Accessories)] を選択してからヘッドセットを選択します。
 - ステップ 3 [セットアップ (Setup)] > [オーディオ (Audio)] > [ノイズキャンセレーション (Noise cancellation)] に移動します。
 - ステップ 4 目的の設定を選択し、設定 (Set) を押下します。
-

シスコ ヘッドセット 730側音レベルの設定

サイドトーンとは、自分のヘッドセットで自分の声が聞こえるときの言い方です。通話中に自分の声を聴くと気が散る人もいれば、ヘッドセットが動作していることを確認したい人もいます。


手順

- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ 2 [アクセサリ (Accessories)] を選択してからヘッドセットを選択します。
 - ステップ 3 [セットアップ (Setup)] > [オーディオ (Audio)] > [側音 (Sidetone)] に移動します。
 - ステップ 4 目的の設定を選択し、設定 (Set) を押下します。
-

シスコ ヘッドセット 730 イコライザの設定

ヘッドセット音声の低音と高音のブレンドをカスタマイズすることができます。音声、音楽、シネマなどのプリセットオーディオ設定から選択できます。

手順

-
- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ 2 [アクセサリ (Accessories)] を選択してからヘッドセットを選択します。
 - ステップ 3 [セットアップ (Setup)] > [オーディオ (Audio)] > [イコライザ (Equalizer)] に移動します。
 - ステップ 4 目的の設定を選択し、設定 (Set) を押下します。
-


シスコ ヘッドセット 730 音声通話の設定

ヘッドセットで再生する音声通知をカスタマイズすることができます。デフォルトでは、ヘッドセットは音声による通知を再生し、着信コール、バッテリー充電、および Bluetooth 接続ステータスなどのイベントについてのアラートが送信されます。音声通話は、12 言語のうちのいずれかに変更することもできます。



-
- (注) 音声通話の言語を変更する場合は、ヘッドセットで、関連するファームウェアファイルをダウンロードしてインストールする必要があります。ファームウェアの変更が完了するまでに 7～10 分間かかります。
-


手順


-
- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ 2 [アクセサリ (Accessories)] を選択してからヘッドセットを選択します。
 - ステップ 3 [セットアップ (Setup)] > [オーディオ (Audio)] > [音声通話 (Audio Notifications)] に移動します。
 - ステップ 4 目的の設定を選択し、設定 (Set) を押下します。
-

シスコ ヘッドセット 730 全般設定のセットアップ

お使いの Cisco IP 電話のメニューを使用して、シスコ ヘッドセット 730 の設定をカスタマイズすることができます。

手順


- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
- ステップ 2 [アクセサリ (Accessories)] を選択してからヘッドセットを選択します。
- ステップ 3 セットアップ > 全般を選択します。
- ステップ 4 設定項目を設定します。

| パラメータ | 選択 | 説明 |
|--------------------------------|-----------------------------|---|
| 自動ミュート | オン、オフ デフォルト : [オン (On)] | 自動ミュート機能が有効になっている場合は、ヘッドセットを外して、通話中にマイクをミュートすることができます。ヘッドセットをオンに戻すと、ヘッドセットは自動的にミュート解除されます。 |
| 自動応答コール | オン、オフ デフォルト : [オン (On)] | 自動応答コールが有効になっている場合、ヘッドセットを装着すると着信コールに応答できます。また、ヘッドセットを外す時点で、通話を終了できます。 |
| 自動再生 / 一時停止 | オン、オフ デフォルト : [オン (On)] | 自動再生 / 一時停止が有効になっている場合、ヘッドセットを外すと、音楽の再生を自動的に一時停止したり再生したりすることができます。 |
| 同期 DND ステータス (Sync DND status) | オン、オフ デフォルト : Off | 同期 DND ステータス (Sync DND status) が有効になっているとき、ミュート (mute)  を押すと、通話中でないときにプレゼンス LED の点灯と消灯を切り替えることができます。 |

シスコ ヘッドセット 730 設定のリセット

工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。


手順

- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ 2 [アクセサリ (Accessories)] を選択してからヘッドセットを選択します。
 - ステップ 3 設定 (Settings) > 設定のリセット (Reset settings) の順に選択します。
 - ステップ 4 リセット (Reset) を押して操作を確認します。
-

シスコヘッドセット 730詳細の表示

ヘッドセットについての情報を表示できます。


手順

- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ 2 [アクセサリ (Accessories)] を選択してからヘッドセットを選択します。
 - ステップ 3 詳細表示 (Show details) を押します。
-

ヘッドセットの呼び出し音設定の変更

電話機ファームウェア 14.0 以降の Cisco IP Phone でヘッドセットの着信音の動作を変更できます。設定は電話機に保存され、接続されている シスコヘッドセット 500 シリーズに適用されます。

手順

- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
- ステップ 2 [初期設定 (Preferences)] > [ヘッドセットの呼出音 (Headset ringer)] の順に選択します。
- ステップ 3 呼出音の設定を選択します。

デフォルトでは、電話機は呼出音の設定に従います。着信コールがあるときに常に電話の呼び出し音を聞く場合は、**オン**を選択します。**オフ**を選択すると、着信コールがあるときにヘッドセットから呼出音は鳴りません。

- ステップ 4 [設定 (Set)] を選択して設定を適用します。
-

マイクのテスト

マイクを取り付け、通話を開始する前にマイクを確認してください。

手順

- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
- ステップ 2 [アクセサリ (Accessories)] を選択してからヘッドセットを選択します。
- ステップ 3 [セットアップ (Setup)] > [マイク (Microphone)] > [テスト (Test)] に移動します。
- ステップ 4 [レコード (Record)] を押し、マイクに向かって話します。
- ステップ 5 話し終わったら [レコード停止 (Stop rec)] を押します。
- ステップ 6 [再生 (Play)] を押してテストレコードを確認します。

Cisco IP Phone を使用して Cisco ヘッドセットのファームウェアをアップデートする

サポートされている Cisco IP Phone 上でヘッドセットソフトウェアを更新できます。ヘッドセットのファームウェアのアップグレード中、電話機の画面で進行状況を確認できます。

更新中は、シスコヘッドセット 560 シリーズベースの LED が左から右へ順番に点滅します。ソフトウェアのアップグレードが正常に完了すると、LED はアイドル状態に戻ります。

手順

- ステップ 1 ヘッドセットを Cisco IP Phone に接続する
(注) USB ケーブルを使用して、IP 電話のシスコヘッドセット 730 のみをアップグレードできます。
- ステップ 2 ヘッドセットが自動的に更新されない場合は、電話機を再起動してください。電話機が再起動すると、ダウンロードされた最新バージョンのヘッドセットファイルがヘッドセットにアップロードされます。

通話中にヘッドセットを切り替える

複数のヘッドセットを電話機に接続すると、電話機の [ヘッドセット (Headset)] キーを押すことによって、通話中にヘッドセットを切り替えることができます。電話機は複数のデバイスに接続されていますが、優先されるオーディオデバイスとして特定のヘッドセットが次の優先順位で選択されます。

- 電話機にアナログヘッドセットだけを接続している場合は、アナログヘッドセットを優先オーディオデバイスにします。

手順

ステップ1 発信または応答する前に、[ヘッドセット (Headset)] を押します。

ステップ2 (任意) 発信する場合、番号をダイヤルします。

Cisco ヘッドセットのトラブルシューティング


Cisco ヘッドセットに問題がある場合は、次の基本的なトラブルシューティング手順を実行してください。

- ヘッドセットを再起動します。
- すべてのコードが正しく差し込まれ、正しく機能していることを確認してください。
- デバイスで別のヘッドセットをテストし、問題がワイヤレスヘッドセットにあるか、またはデバイスにあるかを判断します。
- お使いの電話機のファームウェアが最新のリリースであることを確認してください。

ヘッドセットが登録されていることを確認する

手順

ヘッドセットが電話機に登録されているかどうかを確認してください。

ステップ1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。

ステップ2 [アクセサリ (Accessories)] に移動します。[詳細の表示 (Show detail)] を選択します。

ヘッドセットで音がしない

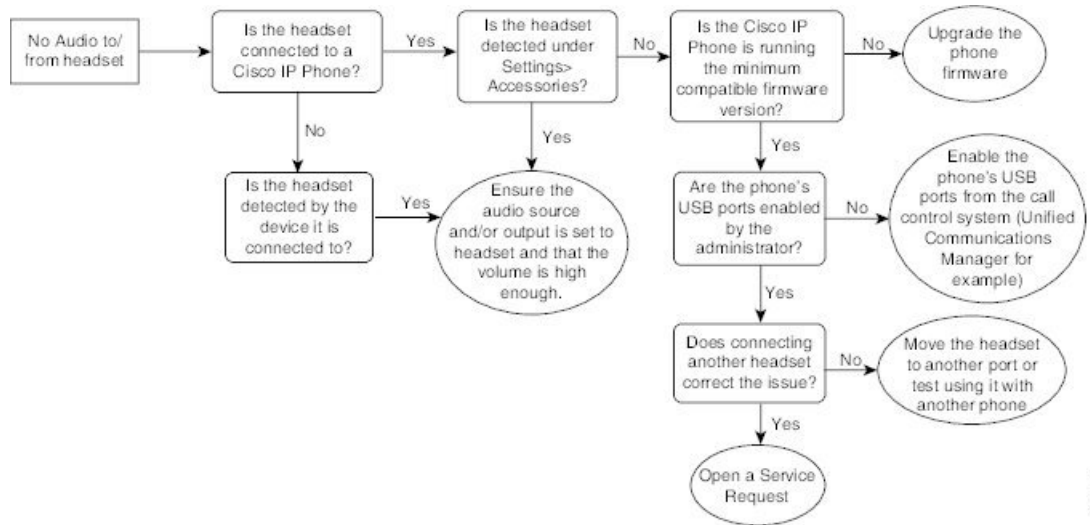
問題

ヘッドセットからほとんど音が聞こえません。

ソリューション

ヘッドセットの音量を確認するには、音量コントロールを押してヘッドセットの音量を確認します。問題が解決しない場合は、次のワークフローを使用して問題のトラブルシューティングを行います。

図 23: オーディオワークフローなし



28/29/37

オーディオ不良

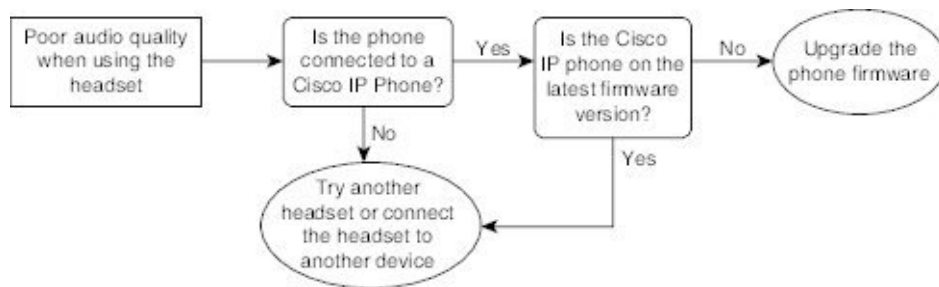
問題

ヘッドセットは機能していますが、音質が不十分です。

ソリューション

次のワークフローを使用して問題のトラブルシューティングを行います。

図 24: オーディオ不良



3/9/2018

マイクが音を拾わない

問題

ヘッドセットを使用しているときには聞こえません。

ソリューション

- マイクがミュートされていないことを確認してください。マイクのミュートとミュート解除をするには、ヘッドセットのミュート ボタンを押します。
- マイクブームが下がっていることを確認してください。最適なサウンドを得るには、ヘッドセット マイクを顔から 1 インチまたは 2.5cm 以上離さないでください。
- ヘッドセットがデバイスに正しく接続されていることを確認してください。
- シスコヘッドセット 560シリーズの場合、ヘッドセットをヘッドセットベースからあまり離れていないことを確認します。ヘッドセットの有効範囲は約 100 フィートまたは 30 メートルです。

ヘッドセットが充電されない

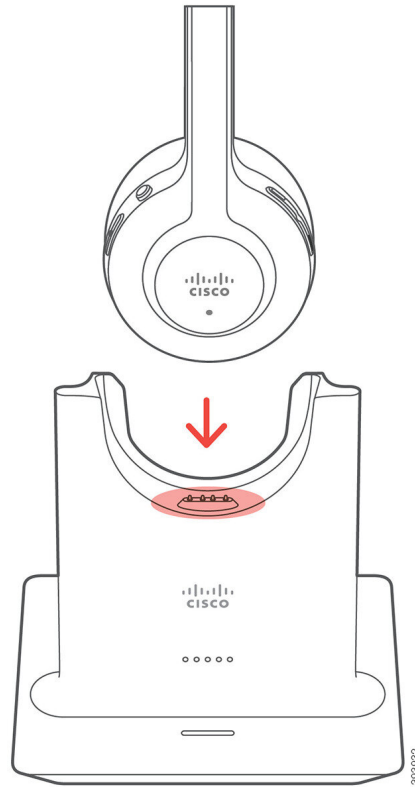
問題

Cisco ヘッドセット 561 および 562 は、ベースに置かれても充電されません。

ソリューション

- ベースが確実な電源に接続されていることを確認してください。
- ヘッドセットがベースに正しく取り付けられていることを確認します。ヘッドセットが正しく装着されると、LED は白色で点灯します。充電すると、ベースの LED が左から右へ順に点灯します。ヘッドセットが完全に充電されると、5つのバッテリーインジケータ LED がすべて白く点灯します。

図 25: Cisco Headset 561 および 562 のヘッドセット配置



ヘッドセットのバッテリーが充電しない

問題

ワイヤレスヘッドセットが十分に充電しません。

ソリューション

Cisco ヘッドセット 561 および 562 を充電すると、最大 8 時間の連続使用が可能です。ヘッドセットのバッテリーが壊れているか不良品である場合は、シスコのサポートに連絡してください。

Cisco IP 電話 8800 キー拡張モジュール

キー拡張モジュールを使用すると、電話機にラインアピアランスまたはプログラム可能ボタンを追加できます。[プログラム可能な機能ボタン (Programmable feature buttons)] は、電話回線ボタン、短縮ダイヤルボタンまたは電話機能ボタンとして設定できます。

拡張モジュールでは簡易ダイヤリングがサポートされません。

使用可能な拡張モジュールが3つあります。

- Cisco IP 電話 8800 キー拡張モジュール：シングル LCD 画面モジュール、18 回線キー、2 ページ、1 列表示または 2 列表示の設定。
- Cisco IP Phone 8851/8861 キー拡張モジュール：音声電話用のデュアル LCD 画面モジュール、14 回線キー、2 ページ、1 列表示のみの設定。拡張回線モードでは、キー拡張回線でコールを受信すると電話機に着信通知が表示され、拡張モジュール回線には発信者 ID が表示されます。
- Cisco IP 電話 8865 キー拡張モジュール：ビデオ電話用のデュアル LCD 画面モジュール、14 回線キー、2 ページ、1 列表示のみの設定。拡張回線モードでは、キー拡張回線でコールを受信すると電話機に着信通知が表示され、拡張モジュール回線には発信者 ID が表示されます。

Cisco IP Phone 8851/8861 キー拡張モジュールを機能させるには、ファームウェア リリース 12.0(1) 以降と、Cisco Unified Communications Manager 10.5(2) 以降が必要です。拡張回線モード (ELM) は、Cisco IP Phone 8851/8861 キー拡張モジュール および Cisco IP 電話 8865 キー拡張モジュールでのみサポートされています。ELM は、単一の LCD 拡張モジュールではサポートされていません。

複数の拡張モジュールを使用している場合は、すべてのモジュールが同じタイプでなければなりません。電話機で異なる拡張モジュールを組み合わせることはできません。

Cisco IP 電話 8800 シリーズデバイスで壁紙を設定すると、デュアル LCD キー拡張モジュールにも表示されます。この機能は単一 LCD 拡張モジュールではサポートされていません。バックグラウンドイメージのカスタマイズはサポートされていません。

次の表では、Cisco IP 電話 8800 シリーズの各モデルがサポートするキー拡張モジュールの台数を説明しています。

表 35: キー拡張モジュール サポート

| Cisco IP 電話 モデル | サポートされる単一の LCD キー拡張モジュール | サポートされるデュアル LCD キー拡張モジュール |
|-----------------------------|--------------------------|---------------------------|
| Cisco IP 電話 8851 および 8851NR | 2、72 の回線またはボタンを提供 | 2。56 の回線またはボタンを提供 |
| Cisco IP 電話 8861 | 3、108 の回線またはボタンを提供 | 3。84 の回線またはボタンを提供 |
| Cisco IP 電話 8865 および 8865NR | 3、108 の回線またはボタンを提供 | 3。84 の回線またはボタンを提供 |

複数のキー拡張モジュールを電話機に取り付けた場合、電話機に取り付けられた順序に従ってそれらに番号が割り当てられます。次に例を示します。

- キー拡張モジュール 1 は電話機の最も近くにある装置です。
- キー拡張モジュール 2 は中央にある装置です。
- キー拡張モジュール 3 は電話機から最も遠い装置です。

図 26: Cisco IP 電話 8861 および 3 つの Cisco IP 電話 8800 キー拡張モジュール



図 27: Cisco IP 電話 8865 および 3 つの Cisco IP 電話 8865 キー拡張モジュール

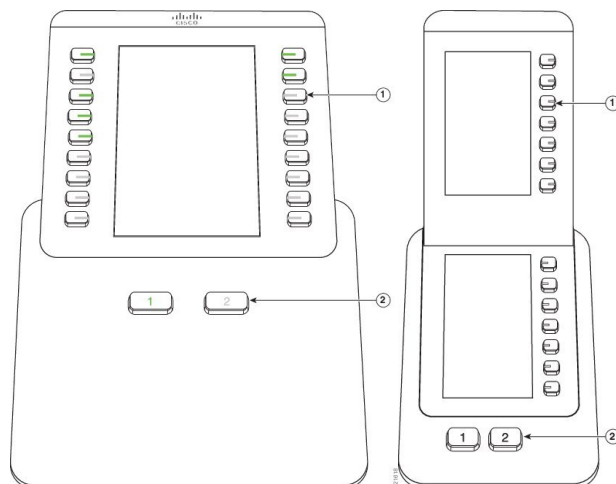


注意 電話機の側面にあるスロットは、キー拡張モジュールのスパイン コネクタ専用です。その他の物を挿入すると、電話機が損傷して回復不能になります。

キー拡張モジュールを使用する場合は、電源要件について管理者に確認してください。





キー拡張モジュールのボタンとハードウェア




図 28: Cisco IP 電話 キー拡張モジュールのボタンとハードウェア



次の表では、キー拡張モジュールの機能について説明します。

表 36: キー拡張モジュールのボタンとハードウェア

| | |
|---|---|
| | <p>LCDスクリーン：電話番号、短縮ダイヤル番号（または名前などのテキストラベル）、電話機サービス、各ボタンに割り当てられた電話機の機能が表示されます。</p> <p>回線ステータスを示すアイコン（外観と機能）は、キー拡張モジュールが接続されている電話機のアイコンと似ています。</p> |
| 1 | <p>ライト付きボタン：18個の回線ボタン。モードに応じて、各ボタンまたはボタンペアが1つの回線に対応します（電話機の場合と同じです）。詳しくは、この表の後にある1列および2列モードの説明を参照してください。各ボタンの下のライトは、対応する回線の状態を次のように示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> •  消灯：回線が使用可能、または非アクティブページでコールが鳴っています。 •  緑色に LED 点灯：このユーザが回線を使用中、または保留中のコールあり、またはコールを転送中。 •  赤色に LED 点灯：他のユーザが回線を使用しているか、または他のユーザが共有回線でコールを保留しています。 •  オレンジ色に LED 点灯: 回線がなっています。 |

| | |
|---|---|
| 2 | <p>シフト ボタン：2つのボタンがあります。最初のページのボタンには1、第2ページのボタンには2のラベルが付きます。各ボタンのライトは、ページの状態を次のように示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> •  緑に LED 点灯：ページが表示されます。 •  消灯：ページが非表示です。 •  オレンジ色に LED 点灯：ページが非表示で、ページ上にアラート状態のコールが1つ以上あります。 |
|---|---|

1列または2列モードでキー拡張モジュールを表示するよう、管理者が設定します。

1列モード

1列モードでは、表示されている各行が1つの回線に対応します。この回線には、左側または右側のどちらのボタンからでもアクセスできます。この設定では、キー拡張モジュールのページ1に9回線、ページ2に9回線が表示されます。

図 29: キー拡張モジュール (1列の場合)



2列モード

単一LCD画面の拡張モジュールを使用している場合、モジュールを2列モードで設定できます。

2列モードでは、画面左右の各ボタンに、異なる電話番号、スピードダイヤル番号（または名前その他のテキストラベル）、電話機サービス、または電話機の機能が割り当てられます。この設定では、キー拡張モジュールのページ1に最大18項目、ページ2に最大18項目が表示されます。

図 30: キー拡張モジュール (2列の場合)




キー拡張モジュールでのコールの発信

手順

-
- ステップ 1 キー拡張モジュールで、回線ボタンを押します。
 - ステップ 2 電話番号をダイヤルします。
 - ステップ 3 ハンドセットを取り上げます。
-

キー拡張モジュール画面の明るさの調整

手順

-
- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ 2 [設定 (Settings)] > [明るさ (Brightness)] > [明るさ - キー拡張モジュール x (Brightness - Key expansion module x)] を選択します (x はキー拡張モジュールの番号)。
 - ステップ 3 明るくするにはナビゲーションパッドの右矢印を押します。暗くするにはナビゲーションパッドの左矢印を押します。
 - ステップ 4 [保存]を押します。
-

シリコンカバー

Cisco IP 電話のシリコンカバーを使用することで、デスクフォンとハンドセットを保護することができます。

このケースには次の利点があります。

- 低刺激性
- さまざまな洗浄剤による摩耗に強い。



(注) 洗浄力の低い洗浄剤を使用することで、ケースの耐用年数と外観を長く保ちます。

- ハンドセットを落としたときの損傷の軽減。

部品番号およびその他の追加情報については、該当する電話機モデルのデータシートを参照してください。Cisco IP 電話 8800 シリーズのデータシートは、<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-8800-series/datasheet-listing.html>にあります。Cisco IP 電話 7800 シリーズのデータシートについては、<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/datasheet-listing.html>を参照してください。


所有している電話機のモデルをチェックするには、[アプリケーション (Applications)]  を押して、[電話情報 (Phone information)] を選択します。[モデル番号 (Model number)] フィールドに、電話機のモデルが表示されます。

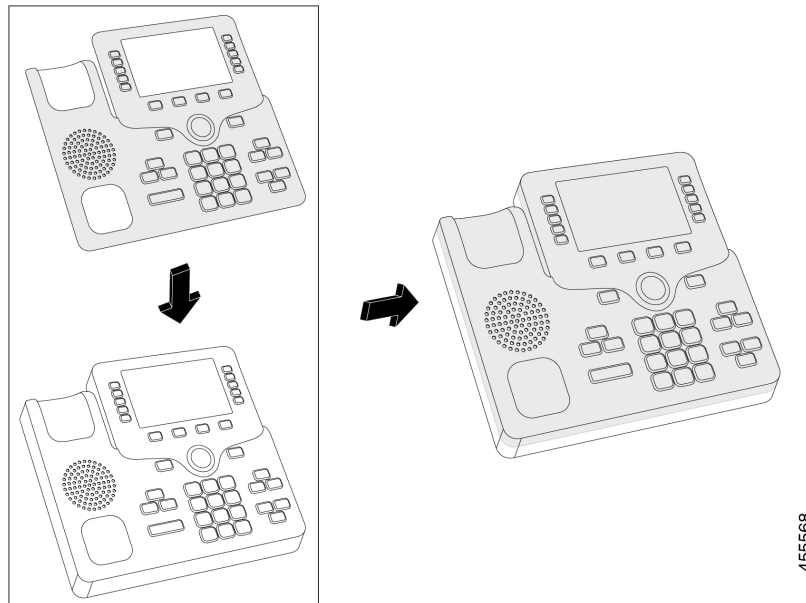
表 37: シリコンカバー

| Cisco IP 電話 | Cisco IP 電話のシリコンカバー | 注意事項 |
|------------------|---|------|
| Cisco IP 電話 7821 | <ul style="list-style-type: none"> • 7821 デスクフォンシリーズ用のシリコンカバー 10 個入り (CP-7821-COVER=) • 7821 デスクフォンシリーズおよびハンドセット用のシリコンカバー 10 個入り (CP-7821-COVER-BUN=) | |

| Cisco IP 電話 | Cisco IP 電話のシリコン カバー | 注意事項 |
|---|--|--|
| Cisco IP 電話 7841 | <ul style="list-style-type: none"> 7841 デスクフォンシリーズ用のシリコン カバー 10 個入り (CP-7841-COVER=) 7841 デスクフォンシリーズおよびハンドセット用のシリコン カバー 10 個入り (CP-7841-COVER-BUN=) | |
| Cisco IP 電話 8811、8841、8851、8851NR、8861 および 8861NR | <ul style="list-style-type: none"> 88X1 デスクフォン シリーズ用のシリコン カバー 10 個入り (CP-88X1-COVER=) 88X1 デスクフォンシリーズおよびハンドセット用のシリコン カバー 10 個入り (CP-88X1-COVER-BUN=) | (注) このシリコンカバーはキー拡張モジュールを保護するものではありません。 |
| Cisco IP 電話 8845、8865、および 8865NR | <ul style="list-style-type: none"> 88X5 デスクフォン シリーズ用のシリコン カバー 10 個入り (CP-88X5-COVER=) 88X5 デスクフォンシリーズおよびハンドセット用のシリコン カバー 10 個入り (CP-88X5-COVER-BUN=) | (注) このシリコンカバーはキー拡張モジュールを保護するものではありません。 |
| Cisco IP 電話 ハンドセット | <ul style="list-style-type: none"> デスクフォン ハンドセット用のシリコン カバー 10 個入り (CP-HS-COVER=) | |

Cisco IP 電話シリコン カバーの取り付け

シリコンカバーは Cisco IP 電話の耐用性を伸ばすのに役立つほか、ボタンと番号パッドを簡単に清潔に保てます。

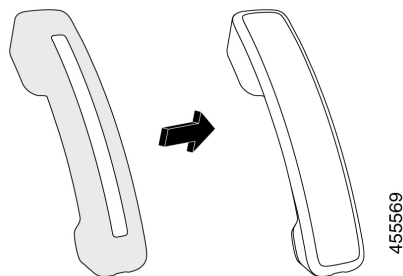


手順

- ステップ1 電話機を自分に向けます。
- ステップ2 クレードルからハンドセットを取り外します。
- ステップ3 ハンドセットを左側にして、カバーを電話機に合わせます。
- ステップ4 カバーを角に合わせて固定し、電話機をスライドさせます。カバーは、大きな抵抗なく電話機にしっかりとフィットするはずです。
- ステップ5 ハンドセットを受け台に戻します。

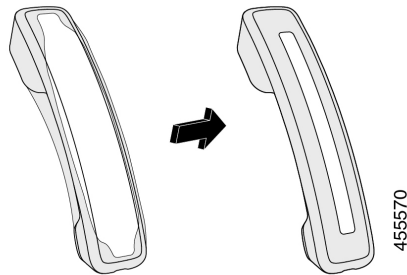
Cisco IP 電話ハンドセットカバーの取り付け

カバーは、損傷からハンドセットを保護するのに役立ち、細菌の拡散を軽減します。



手順

- ステップ1 電話機のクレードルからハンドセットを取り外します。
- ステップ2 ハンドセットからケーブルを取り外します。
- ステップ3 イヤーカップがカバーの中に完全に入るまで、ハンドセットの上にシリコンカバーをスライドさせます。
- ステップ4 ハンドセットのもう一端にカバーを引っ張ります。



- ステップ5 カバーがハンドセットに対しぴったりであり、ケーブルポートが塞がれていない点を確認します。
- ステップ6 ハンドセットを電話機に再接続してクレードルに戻します。

シリコンカバーのクリーニング

汚れがある場合は、カバーをクリーニングします。定期的なクリーニングによって、細菌の拡散を防ぐこともできます。

手順

- ステップ1 シリコンカバーを取り外します。
- ステップ2 カバーをクリーニングします。
(注) 低強度の洗浄剤を使用することで、ケースの耐用年数と外観を長く保ちます。
- ステップ3 カバーをしっかりと乾かします。完全に乾くまで、ケースに電話機を戻さないでください。
- ステップ4 電話機をカバーに入れます。



第 8 章

製品の安全性とセキュリティ

- [安全性とパフォーマンスの情報 \(175 ページ\)](#)
- [準拠宣言 \(178 ページ\)](#)
- [シスコ製品のセキュリティの概要 \(182 ページ\)](#)
- [シスコの循環型経済 \(183 ページ\)](#)
- [重要なオンライン情報 \(184 ページ\)](#)

安全性とパフォーマンスの情報

停電

電話機を経由して緊急サービスにアクセスするには、その電話機が電力を受信する必要があります。停電が発生した場合、電源が復旧するまでは、電話サービスおよび緊急コールサービスダイヤルが機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、電話サービスおよび緊急コールサービスダイヤルを利用する必要があります。

規制区域

この電話機の無線周波数 (RF) は、特定の規制区域用に設定されます。特定の規制区域の外部でこの電話機を使用すると、電話機は適切に機能せず、現地の規制に違反するおそれがあります。

ヘルスケア環境

本製品は、医療機器ではないため、他のデバイスや機器からの干渉を受けやすい、ライセンス不要の周波数帯域を使用します。

外部デバイス

不要な無線周波数（RF）信号および可聴周波数（AF）信号を遮断する高品質の外部デバイスを使用することをお勧めします。外部デバイスには、ヘッドセット、ケーブル、コネクタが含まれます。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次の方法で対処することをお勧めします。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、高品質なシールドおよびコネクタを備えたケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、およびコネクタのパフォーマンスを保証できません。



注意 欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

Bluetoothワイヤレス ヘッドセットのパフォーマンス

ヘッドセットが Bluetooth に対応している場合、Cisco IP 電話は Bluetooth Class 2 テクノロジーをサポートします。Bluetooth を使用すると、10 m（30 フィート）の範囲内で低帯域幅の無線接続が可能になります。最大のパフォーマンスが得られるのは、1～2 m（3～6 フィート）の範囲内です。ヘッドセットは5個まで接続できますが、最後に接続されたヘッドセットだけがデフォルトとして使用されます。

干渉の問題が発生する可能性があるため、802.11b/g デバイス、Bluetooth デバイス、電子レンジ、金属製の大きな物体は、ワイヤレス ヘッドセットから遠ざけてことをお勧めします。

Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットを、電話機から直接見える場所で使用する必要はありません。ただし、壁やドアなどの障害物や、他の電子機器からの干渉により、接続が影響を受けることがあります。

電話機への電力供給方法

次のいずれかの方法で携帯電話に電力を供給できます：

- 電話機に付属している電源アダプタを使用します。

- ネットワークがPower over Ethernet (PoE) に対応している場合、あなたの電話機をネットワークに接続することができます。イーサネットケーブルを、イーサネット電話ポートに差し込み、ネットワークに接続します。

ご使用のネットワークがPoEに対応しているかどうか不明な場合は、管理者に確認してください。

ネットワーク輻輳時の電話機の挙動

ネットワークパフォーマンスの低下の原因となるものは、音声とビデオの品質にも影響を及ぼすため、場合によっては、通話が中断される可能性があります。ネットワークパフォーマンスの低下は、次のような原因が考えられます。

- 内部ポートスキャンやセキュリティスキャンなどの管理タスク。
- サービス拒否攻撃など、ネットワーク上で発生した攻撃。

UL 警告

デバイスに接続されたLAN/イーサネットケーブルは、屋外に延長させないでください。

ENERGYSTAR



次の電話機には EnergyStar 認定があります。

- Cisco IP Phone 8811
- Cisco IP Phone 8841
- Cisco IP Phone 8851
- Cisco IP Phone 8851NR

上のリストに記載されていない電話機モデルは、認定されていません。

製品ラベル

製品ラベルは、デバイス底で確認できます。

準拠宣言

EU への適合宣言

CE マーク

機器および包装に次の CE マークが貼付されています。



EU への RF 被曝に関する宣言

このデバイスは EU EMF 指令 2014/53/EU の制限に従って評価され、準拠が確認されています。

適合宣言（米国）

Part 15 無線デバイス



注意 Part 15 に適合した無線デバイスは、当該周波数で動作する他のデバイスと干渉のない状態で動作します。シスコの明示的な承認を得ることなく当該製品に対する変更を行った場合（シスコ製以外のアンテナの使用を含む）は、このデバイスを操作するためのユーザの権限が無効になる可能性があります。

適合宣言（カナダ）

このデバイスは、カナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 規格に適合しています。次の 2 つの条件に従って動作するものとします。（1）本製品が干渉の原因となることはありません。また、（2）本製品はデバイスの望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、すべての干渉を受け入れる必要があります。この電話機を使用する場合、通信のプライバシーを確保できない可能性があります。

本製品は、該当する技術革新、科学および経済開発に関するカナダの技術仕様を満たしています。

Avis de Conformité Canadien

Cet appareil est conforme aux normes RSS exemptes de licence RSS d'Industry Canada. Le fonctionnement de cet appareil est soumis à deux conditions : (1) ce périphérique ne doit pas causer d'interférence et (2) ce périphérique doit supporter les interférences, y compris celles susceptibles d'entraîner un fonctionnement non souhaitable de l'appareil. La protection des communications ne peut pas être assurée lors de l'utilisation de ce téléphone.

Le présent produit est conforme aux spécifications techniques applicables d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada.

カナダの RF 被曝に関する声明

このデバイスは、電波の被曝に関する ISED RSS-102 R5 で参照されている制限事項を満たしています。

お使いの装置には、無線送信機と受信機が含まれています。RSS-102 で参照されている電波（無線周波数の電磁場）の被曝に関する一般地域（非管理）の制限を超えないことを目的としており、カナダ保健省の安全規則6を基準とし、年齢や健康状態に関係なくすべての人の安全を保証することを目的とした実質的な安全性が含まれます。

このため、システムは、エンドユーザが直接アンテナに触れずに操作できるように設計されています。ユーザーまたはオペレータの全体的な暴露を減らすように設計されている規制のガイドラインに従って、指定されているユーザーからの最低距離を確保できるようにアンテナを設置できる場所にシステムを配置することを推奨します。

デバイスには、無線認証プロセスの一部としてテストが実施され、該当する規制への準拠が確認されています。

Déclaration d'Exposition aux RF Canadienne

CE PÉRIPHÉRIQUE RESPECTE LES LIMITES DÉCRITES PAR LA NORME RSS-102 R5 D'EXPOSITION À DES ONDES RADIO

Votre appareil comprend un émetteur et un récepteur radio. Il est conçu pour ne pas dépasser les limites applicables à la population générale (ne faisant pas l'objet de contrôles périodiques) d'exposition à des ondes radio (champs électromagnétiques de fréquences radio) comme indiqué dans la norme RSS-102 qui sert de référence au règlement de sécurité n°6 sur l'état de santé du Canada et inclut une marge de sécurité importantes conçue pour garantir la sécurité de toutes les personnes, quels que soient leur âge et état de santé.

En tant que tels, les systèmes sont conçus pour être utilisés en évitant le contact avec les antennes par l'utilisateur final. Il est recommandé de positionner le système à un endroit où les antennes peuvent demeurer à au moins une distance minimum préconisée de l'utilisateur, conformément aux instructions des réglementations qui sont conçues pour réduire l'exposition globale de l'utilisateur ou de l'opérateur.

Le périphérique a été testé et déclaré conforme aux réglementations applicables dans le cadre du processus de certification radio.

カナダの高出力レーザに関する声明

5250 ~ 5350 MHz および 5650 ~ 5850 MHz 帯域では高出力レーザが主ユーザ（つまり、優先ユーザ）として割り当てられているため、これらのレーザによる LE-LAN デバイスへの干渉や損傷が生じる可能性がある点に注意してください。

Devraient également être informés des utilisateurs que les radars à haute puissance sont désignés comme utilisateurs principaux (à savoir des utilisateurs prioritaires) des bandes 5250-5350 MHz et 5650 à 5.850 MHz et que ces radars pourraient provoquer des interférences et / ou endommager les périphériques LE-LAN.

ニュージーランドへの適合宣言

接続許可（PTC）一般警告

端末装置の任意の品目に対する Telepermit の付与は、Spark NZ ネットワークに接続するための最低条件をその品目が満たしていることを Spark NZ が同意したことのみを示しています。Spark NZ が製品を推奨するものでも、いかなる種類の保証を提供するものでもありません。特に、ある品目が別のメーカーやモデルの Telepermit 許可済み装置と組み合わせてあらゆる局面で正常に動作することを保証するものではなく、ある製品が Spark NZ の全ネットワークサービスと互換性があることを示すものでもありません。

適合宣言（台湾）

DGT の警告宣言

省電力およびビジュアル警告通知

視力保護警語：使用過度恐傷害視力

低功率射頻電機警語：

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性之功能。

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

4.7.9.1 應避免影響附近雷達系統之操作。

4.7.9.2 高增益指向性天線只得應用於固定式點對點系統。

適合宣言（アルゼンチン）

Advertencia

No utilizar una fuente de alimentación con características distintas a las expresadas ya que podría ser peligroso.

適合情報（ブラジル）

Art. 5º ~ 680

この装置は、有害な干渉から保護を受ける権利はなく、適切な認可システムで干渉を引き起こすことはできません。

詳細は、次のURLを参照してください。 <http://www.anatel.gov.br>

| モデル (Model) | 証明書番号 |
|-------------|----------------|
| 8811 | 3965-14-1086 |
| 8841 | 3965-14-1086 |
| 8845 | 4243-15-9863 |
| 8851 | 3965-14-1086 |
| 8851NR | 3965-14-1086 |
| 8861 | 0463-15-1086 |
| 8865 | 06125-16-01086 |
| 8865NR | 06125-16-01086 |

適合宣言（シンガポール）

**Complies with
IMDA Standards
DB101992**

適合情報（日本）



クラス B 機器の VCCI コンプライアンス

FCC 準拠宣言

Federal Communications Commission (FCC; 連邦通信委員会) は、次の項目に関するコンプライアンスに関する考慮事項を義務付けています。

FCC Part 15.19 宣言

本機器は、FCC ルール Part 15 に準拠しています。次の2つの条件に従って動作するものとします。(1) 本製品が、有害な干渉を発生することはありません。また、(2) 本製品は望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、すべての干渉を受け入れなければなりません。

FCC Part 15.21 宣言

装置に対し、準拠に責任を負う関係者によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、ユーザがこの装置を使用する権利は無効になります。

FCC RF 被曝に関する宣言

この装置は、制御されていない環境に対して規定された FCC 被曝制限に準拠しています。エンドユーザは、特定の操作マニュアルに従い、RF 被曝に関する準拠事項を満たす必要があります。このトランスミッタは、ユーザから 20 cm 以上離して使用する必要があります。他のアンテナまたはトランスミッタと同じ場所に配置したり、同時に操作したりすることはできません。

FCC レシーバーおよびクラス B デジタル装置に関する宣言

この製品はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定されたクラス B デジタル装置の仕様に準拠しています。これらの制限は、住宅地で使用したときに、有害な干渉を防止する適切な保護を規定したものです。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、手順に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合、装置のオン/オフを切り替えると干渉を確認できます。その場合は、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。
- 装置間の間隔を大きくする。
- 装置をレシーバーとは別のコンセントに接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオまたは TV 技術者に支援を要請する。

シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国の法律の対象となります。Cisco の暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意したものと見なされます。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、<https://www.bis.doc.gov/policiesandregulations/ear/index.htm> をご覧ください。

シスコの循環型経済

シスコでは、コンシューマ後のプラスチック製の再生プラスチックの使用を切り分け、製品に円形設計の理念を導入しています。以下に示すモデルでは、自然リソースの使用が削減され、ループを独自の電子廃棄で閉じることができます。

- Cisco IP Phone 8811
- Cisco IP Phone 8841
- Cisco IP Phone 8851 および Cisco IP Phone 8851NR
- Cisco IP Phone 8861

シスコの循環型経済のウェブサイト参照して、その意味の詳細を確認してください。

- Web サイト URL : <https://www.cisco.com/c/en/us/about/circular-economy.html>



- Web サイト QR コード :



重要なオンライン情報

エンドユーザライセンス契約書

エンドユーザライセンス契約書（EULA）は次の場所にあります。 <https://www.cisco.com/go/eula>

法規制の遵守および安全性情報

Regulatory Compliance and Safety Information（RCSI）は次の場所にあります。

https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cuipph/8800-series/regulatory_compliance/RCSI-0313-book.pdf

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。